

御嵩町 子どもの生活実態調査

結果報告書

(小 1 保護者対象)

平成 31 年 2 月

御 嵩 町

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査対象及び調査方法	1
(3)	配布数及び回収結果	1
2	本調査報告書の基本的な事項	1
(1)	数値の基本的な取り扱いについて	1
3	回答者の状況	2
(1)	回答者と子どもの関係	2
II	調査結果	3
1	就労について	3
(1)	母親の就労状況	3
(2)	働いていない状況	3
(3)	母親の職業	4
(4)	母親の勤務時間などについて	4
(5)	雇用期間	6
(6)	父親の就労状況	7
(7)	働いていない状況	7
(8)	父親の職業	8
(9)	父親の勤務時間などについて	8
(10)	雇用期間	10
2	子どものことについて	11
(1)	子どもは小学校入学時点で名前をひらがなで書けたか	11
(2)	現在は名前をひらがなで書けるようになったか	11
(3)	子どもが小学校入学前の1年間に通っていた施設	12
(4)	入学前に通っていた教育・保育施設の月額利用料	13
(5)	子育てについて思っていること	14
(6)	放課後の時間を主に過ごす場所	23
(7)	学童保育月額利用料	24
(8)	学童保育施設を利用していない理由	25
(9)	子ども用のもの	27
(10)	子どもにしていること	33
(11)	子どもは地域のクラブ活動をしているか	39
(12)	参加している地域のクラブ	40
(13)	子どもは習い事をしているか	41
(14)	行っている習い事	42

(15) 負担が大きいと感じている教育費.....	44
(16) 子どもに受けさせたい教育の段階.....	46
3 子どもとの関係について.....	49
(1) 子どもとの関係.....	49
4 地域や友人・知人、社会との関係について.....	53
(1) 回答者自身にあてはまること.....	53
(2) 子どもを預かってくれる人の有無.....	58
5 健康について.....	60
(1) 回答者と子どもの健康状態について.....	60
(2) 回答者の心の状態について.....	62
(3) 子どもを医療機関に受診させなかったこと.....	68
(4) 子どもを受診させなかった理由.....	68
6 人生経験について.....	69
(1) 母親の最終学歴.....	69
(2) 父親の最終学歴.....	70
(3) 回答者が15歳頃の家庭の形態.....	71
(4) 回答者が15歳頃の家庭の暮らし向き.....	72
7 現在の暮らしについて.....	73
(1) 家庭の現在の暮らし向き.....	73
(2) 通常の家計の状況.....	74
(3) 経済的な理由で必要とするものが買えないこと.....	75
(4) 経済的な理由で月々の支払いができないこと.....	77
(5) 料金滞納のため電気、ガス、水道を止められたこと.....	82
(6) 子どものための公的制度の利用.....	83
8 収入について.....	89
(1) 世帯収入（合算値）.....	89
(2) 世帯収入のうち受給しているもの.....	90
(3) 保護者の年収.....	95
9 支出について.....	97
(1) 世帯の月平均支出額.....	97
(2) 1ヶ月の食費.....	98
(3) 1ヶ月の住居費.....	99
(4) 1ヶ月あたりの学校以外の教育費.....	100
10 子どもへの支援について.....	101
(1) 利用したいと思うもの.....	101
(2) 利用したくない理由.....	103
(3) 子育てについての情報の入手先.....	106

I 調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、近年、子どもたちを取り巻く環境が大きく変化している中で、子育て家庭の生活実態や経済状況を把握し、より効果的な子育て支援策を検討することを目的としている。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	御嵩町に居住するすべての小学校1年生の保護者
配布数	142 票
抽出法	全数抽出
調査方法	郵送法
調査時期	平成 30 年 10 月
調査地域	御嵩町全域

(3) 配布数及び回収結果

配布数	142
有効回収数	60
有効回収率	42.3%

2 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱いについて

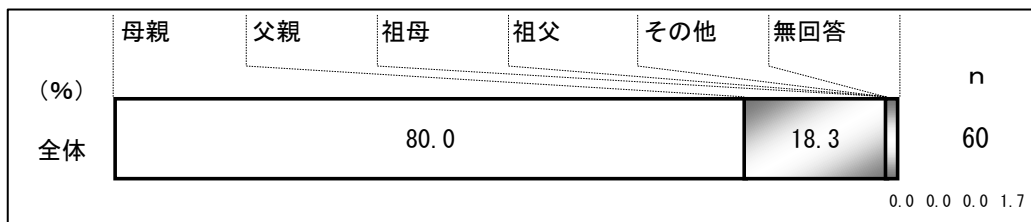
- ①比率はすべて百分率（％）で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。
従って、合計が100％を上下する場合もある。
- ②基数となるべき実数は、“n＝〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100％として算出している。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が2つ以上の回答を出しても良い問であり、従って各回答の合計比率は100％を超える場合がある。

3 回答者の状況

(1) 回答者と子どもの関係

回答者と子どもの関係は、「母親」が80.0%、「父親」が18.3%となっている。

図表 回答者と子どもの関係



Ⅱ 調査結果

1 就労について

(1) 母親の就労状況

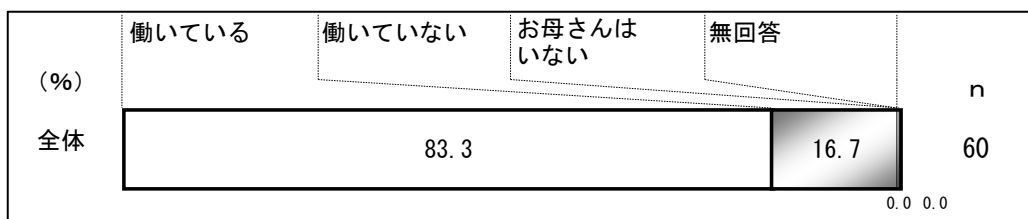
問4 お子さんのお母さん（またはお母さんに代わる方）は、現在働いていますか。（1つに○）



- 「働いている」が8割強を占める。

母親の就労状況については、「働いている」が83.3%、「働いていない」が16.7%となっている。

図表 母親の就労状況



(2) 働いていない状況

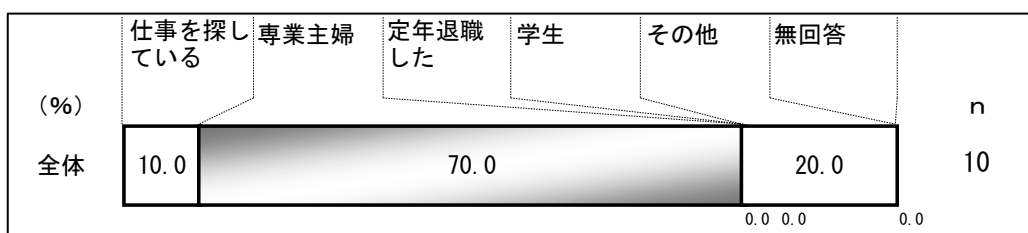
※問4-1は、問4で「2. 働いていない」と回答した方にお伺いします。
問4-1 現在の状況にあてはまるものに○をつけてください。（1つに○）



- 「専業主婦」が7割を占める。

働いていない状況についてたずねたところ、「専業主婦」が70.0%、「仕事を探している」が10.0%となっている。

図表 働いていない状況



(3) 母親の職業

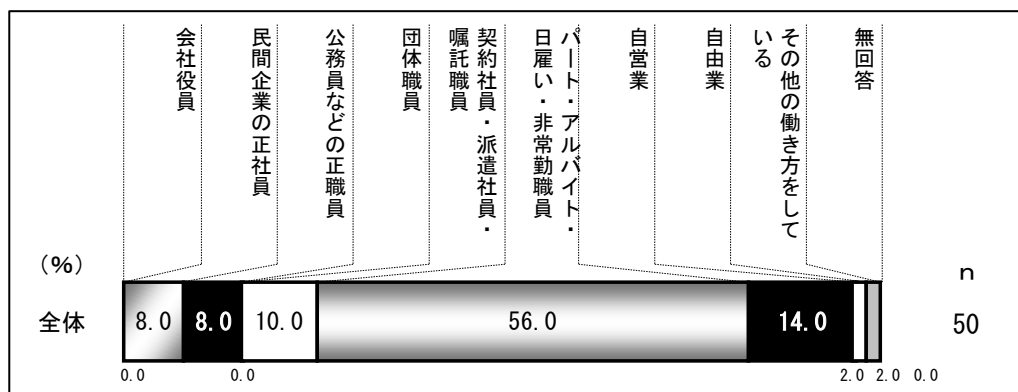
※問 5-1 と問 5-2 は、問 4 で「1. 働いている」と回答した方にお伺いします。

問 5-1 お子さんのお母さん（またはお母さんに代わる方）の現在の職業についてお伺いします。現在のご職業は次のどれに最も近いですか。あてはまるものに○をつけてください。（1つに○）

- 「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が6割強を占める。

母親の職業については、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 56.0%、「自営業」が 14.0%、「契約社員・派遣社員・嘱託職員」が 10.0%、「民間企業の正社員」・「公務員などの正職員」が 8.0%、「自由業」が 2.0%となっている。

図表 母親の職業



(4) 母親の勤務時間などについて

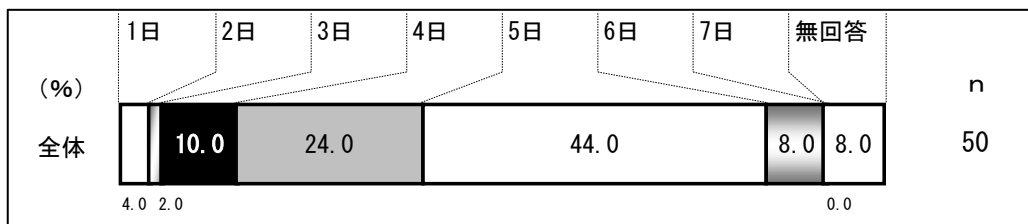
問 5-2 仕事の勤務時間などについてお答えください。A～Cは該当する数字を記入し、D～Gはあてはまるものに○をつけてください。（1つに○）

- 「5日」が4割強、「4日」が2割強を占める。

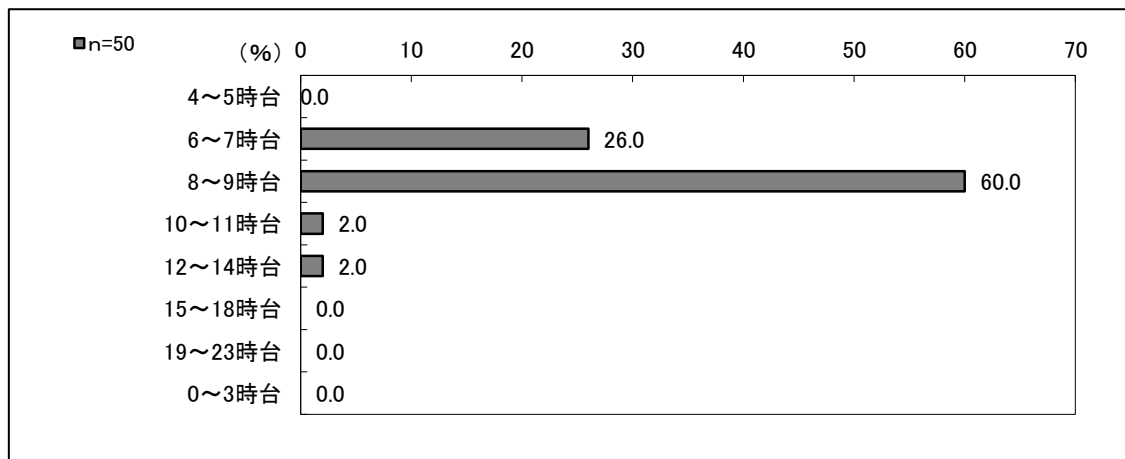
母親の1週間あたりの労働日数については、「5日」が 44.0%、「4日」が 24.0%、「3日」が 10.0%、「6日」が 8.0%、「1日」が 4.0%、「2日」が 2.0%となっている。

土曜出勤、日曜・祝日出勤については、「定期的にあり」がともに 12.0%となっているほか、「不定期にあり」がそれぞれ 30.0%、32.0%となっている。また、副業については、「している」が 12.0%となっている。

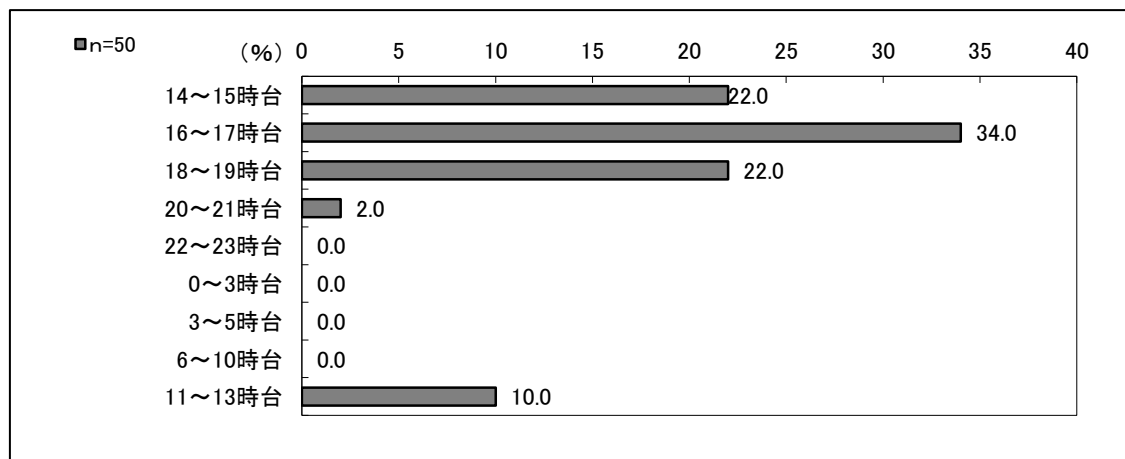
図表 A 1週間あたりの労働日数



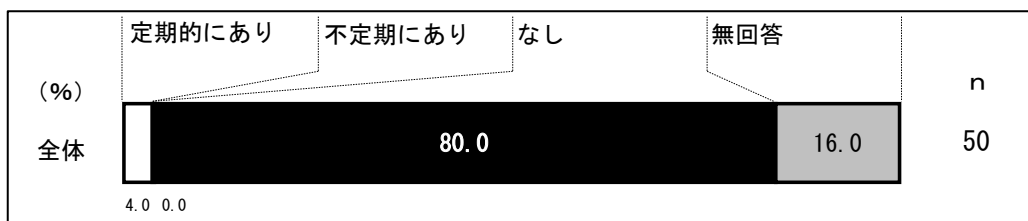
図表 B 平日、家を出る時刻



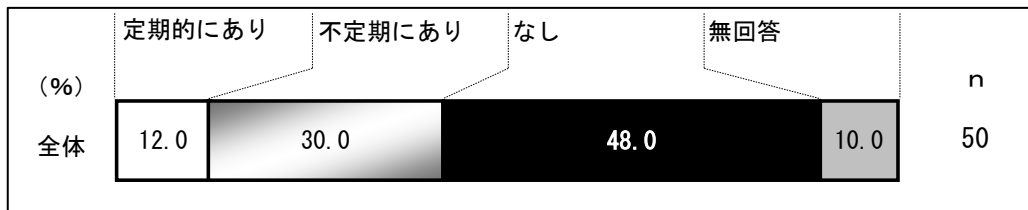
図表 C 平日の帰宅時刻



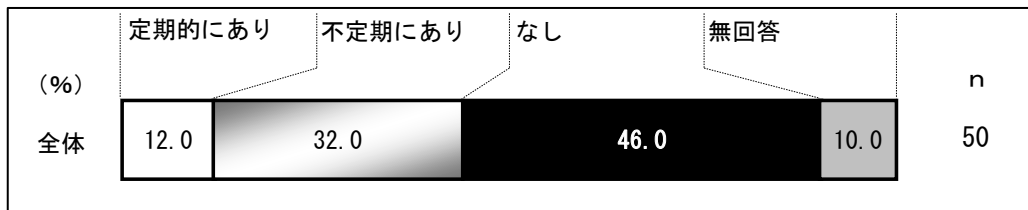
図表 D 深夜労働



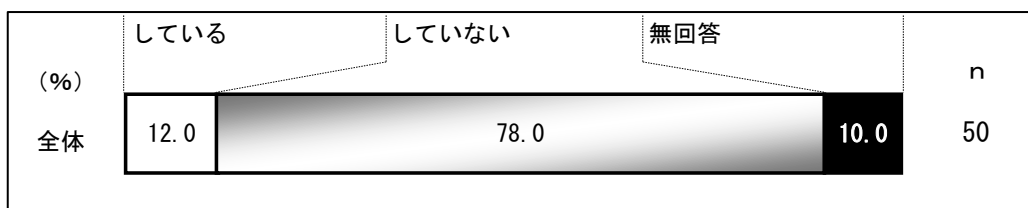
図表 E 土曜出勤



図表 F 日曜・祝日出勤



図表 G 副業



(5) 雇用期間

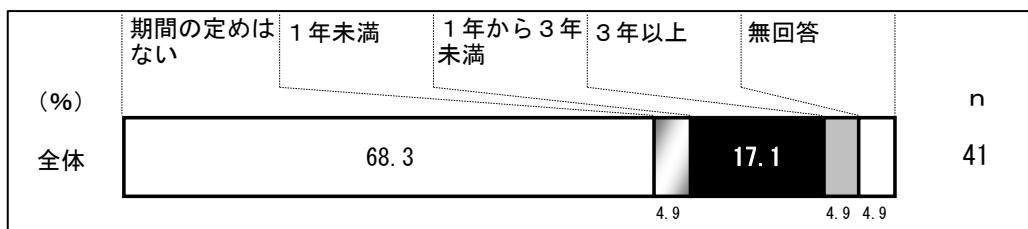
※問 5-3 は、問 5-1 で「2.」～「6.」のいずれかと答えた方にお伺いします。
 問 5-3 現在の仕事に雇用期間はありますか。あてはまるものに○をつけてください。(1つに○)



- 「期間の定めはない」が7割弱を占める。

雇用期間については、「期間の定めはない」が68.3%、「1年から3年未満」が17.1%、「1年未満」・「3年以上」が4.9%となっている。

図表 雇用期間



(6) 父親の就労状況

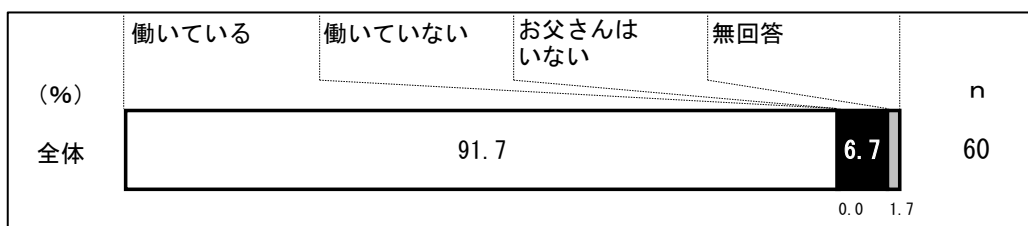
問6 お子さんのお父さん（またはお父さんに代わる方）は、現在働いていますか。（1つに○）



- 「働いている」が9割強を占める。

父親の就労状況については、「働いている」が91.7%、「お父さんはいない」が6.7%となっている。

図表 父親の就労状況



(7) 働いていない状況

※問6-1は、問4で「2. 働いていない」と回答した方にお伺いします。
問6-1 現在の状況にあてはまるものに○をつけてください。（1つに○）

※働いていない状況については回答者なし。

(8) 父親の職業

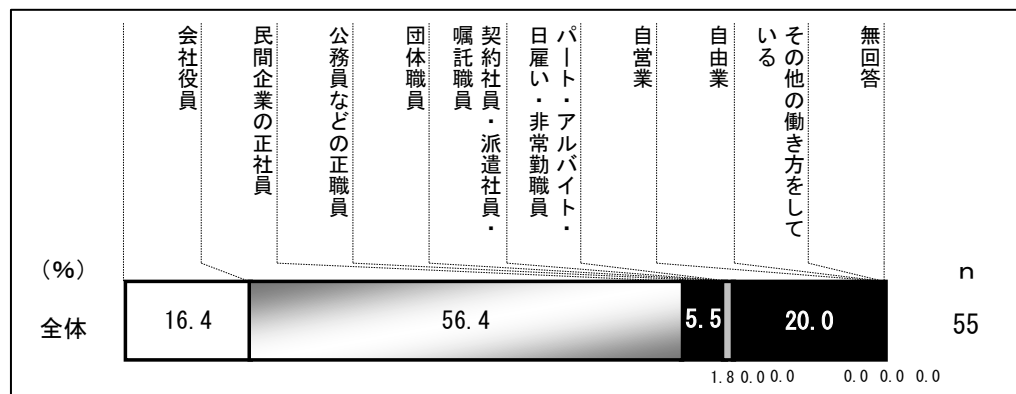
※問 7-1 と問 7-2 は、問 6 で「1. 働いている」と回答した方にお伺いします。

問 7-1 お子さんのお父さん（またはお父さんに代わる方）の現在の職業についてお伺いします。現在のご職業は次のどれに最も近いですか。あてはまるものに○をつけてください。（1つに○）

● 「民間企業の正社員」が6割弱を占める。

父親の職業については、「民間企業の正社員」が 56.4%、「自営業」が 20.0%、「会社役員」が 16.4%、「公務員などの正職員」が 5.5%、「団体職員」が 1.8%となっている。

図表 父親の職業



(9) 父親の勤務時間などについて

問 7-2 仕事の勤務時間などについてお答えください。A～Cは該当する数字を記入し、D～Gはあてはまるものに○をつけてください。（1つに○）

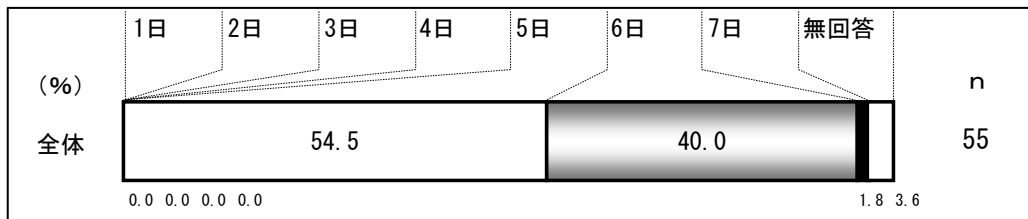
● 「5日」が5割強、「6日」が4割を占める。

父親の1週間の労働日数については、「5日」が 54.5%、「6日」が 40.0%、「7日」が 1.8%となっている。

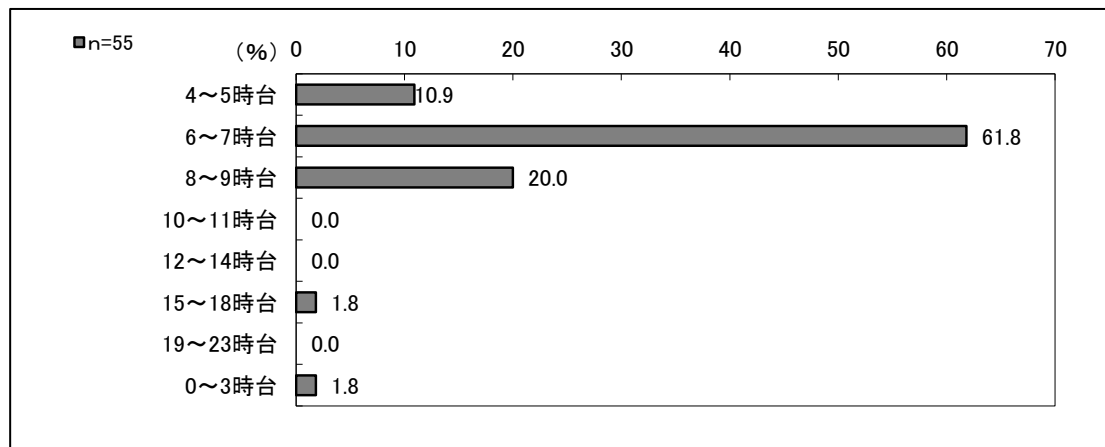
深夜労働については、「不定期にあり」が 20.0%、「定期的にある」が 16.4%となっている。また、土曜出勤は「定期的にある」が 50.9%、「不定期にあり」が 43.6%となっているほか、日曜・祝日出勤は「定期的にある」が 36.4%、「不定期にあり」が 41.8%となっている。

副業については、「している」が 5.5%となっている。

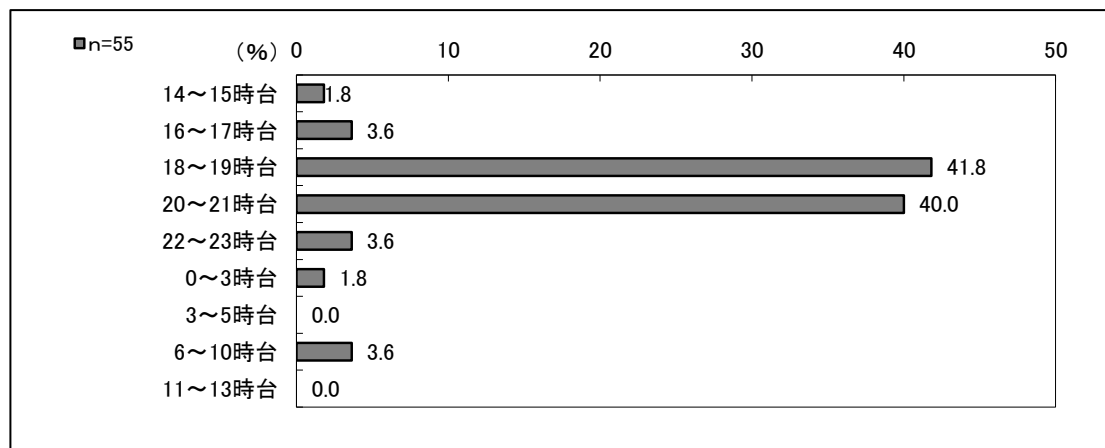
図表 A 1週間あたりの労働日数



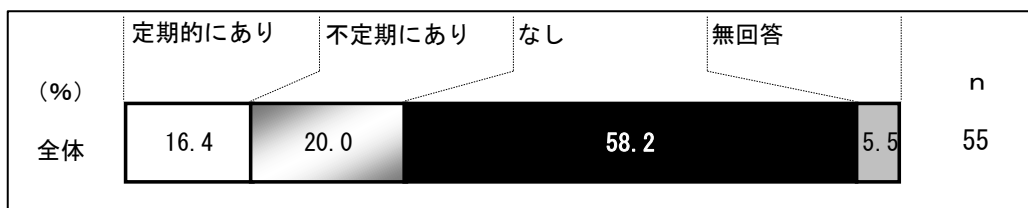
図表 B 平日、家を出る時刻



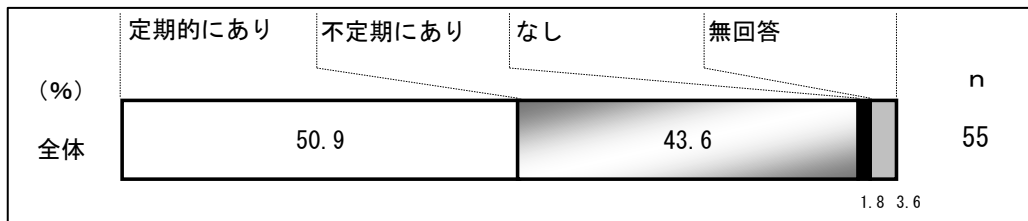
図表 C 平日の帰宅時刻



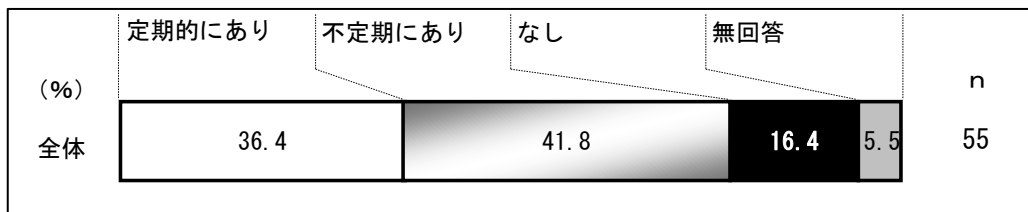
図表 D 深夜労働



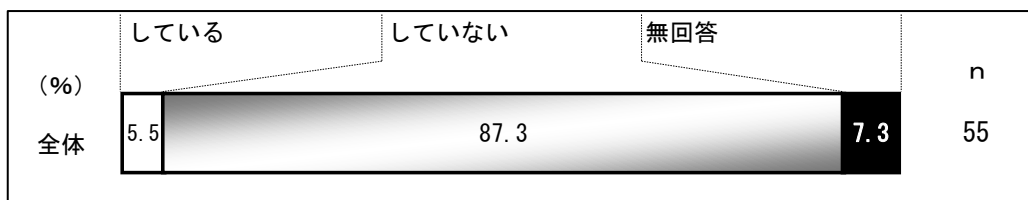
図表 E 土曜出勤



図表 F 日曜・祝日出勤



図表 G 副業



(10) 雇用期間

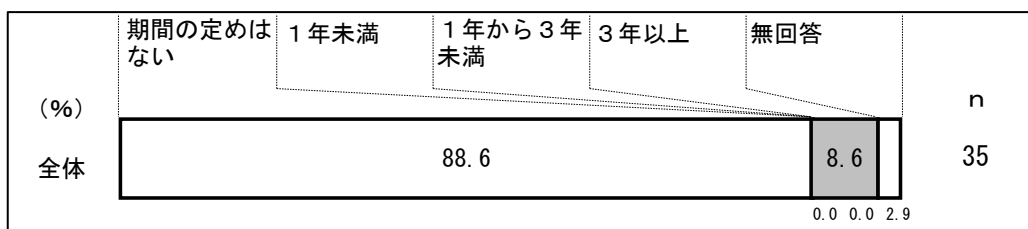
※問 5-3 は、問 5-1 で「2.」～「6.」のいずれかと答えた方にお伺いします。
 問 5-3 現在の仕事に雇用期間はありますか。あてはまるものに○をつけてください。(1つに○)



- 「期間の定めはない」が9割弱を占める。

雇用期間については、「期間の定めはない」が88.6%、「3年以上」が8.6%となっている。

図表 雇用期間



2 子どものことについて

(1) 子どもは小学校入学時点で名前をひらがなで書けたか

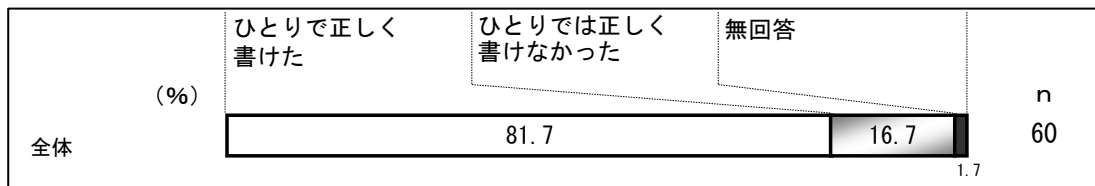
問 8 あなたのお子さんは小学校入学の時点で、自分の名前をひらがなで書けましたか。(1つに○)



- 「ひとりで正しく書けた」が8割強、「ひとりでは正しく書けなかった」が2割弱を占める。

子どもは小学校入学時点で名前をひらがなで書けたかどうかについては、「ひとりで正しく書けた」が81.7%、「ひとりでは正しく書けなかった」が16.7%となっている。

図表 子どもは小学校入学時点で名前をひらがなで書けたか



(2) 現在は名前をひらがなで書けるようになったか

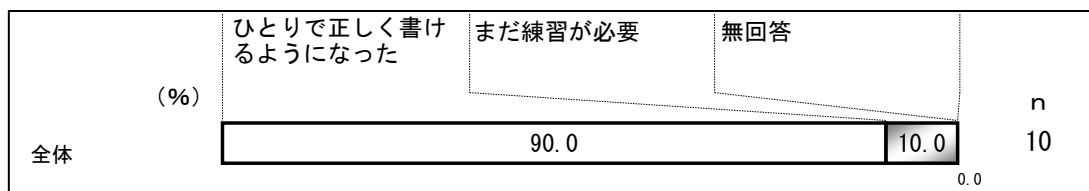
※問 8-1 は、問 8 で「2. ひとりでは正しく書けなかった」と回答した方にお伺いします。
問 8-1 現在、あなたのお子さんは、自分の名前をひらがなで書けるようになりましたか。(1つに○)



- 「ひとりで正しく書けるようになった」が9割を占める。

現在は名前をひらがなで書けるようになったかどうかについては、「ひとりで正しく書けるようになった」が90.0%、「まだ練習が必要」が10.0%となっている。

図表 現在は名前をひらがなで書けるようになったか



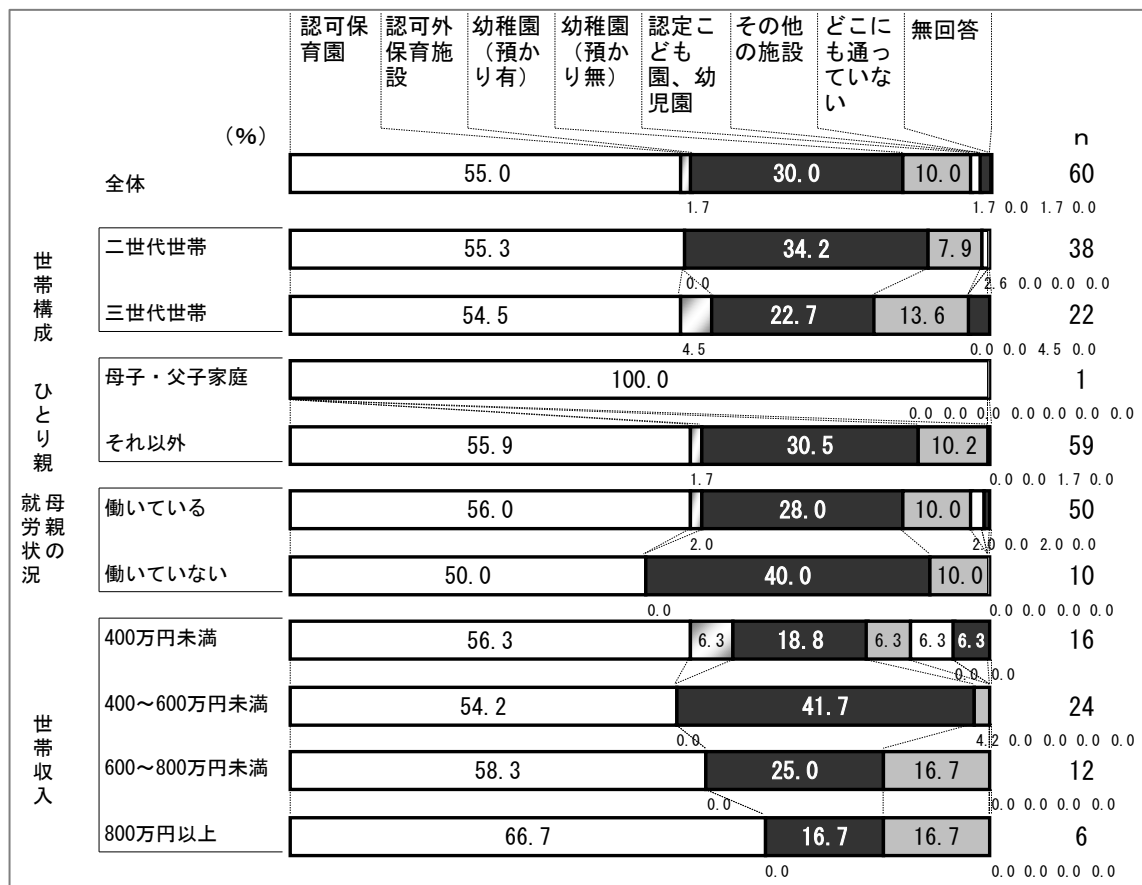
(3) 子どもが小学校入学前の1年間に通っていた施設

問9 あなたのお子さんが小学校入学前の1年間に通っていた施設を教えてください。あてはまるものに○をつけてください。(1つに○)

- 「認可保育園」が6割弱、「幼稚園（預かり有）」が3割を占める。

子どもが小学校入学前の1年間に通っていた施設については、「認可保育園」が55.0%、「幼稚園（預かり有）」が30.0%、「幼稚園（預かり無）」が10.0%、「認可外保育施設」・「認定こども園、幼稚園」が1.7%となっている。なお、「どこにも通っていない」が1.7%となっている。

図表 子どもが小学校入学前の1年間に通っていた施設



(4) 入学前に通っていた教育・保育施設の月額利用料

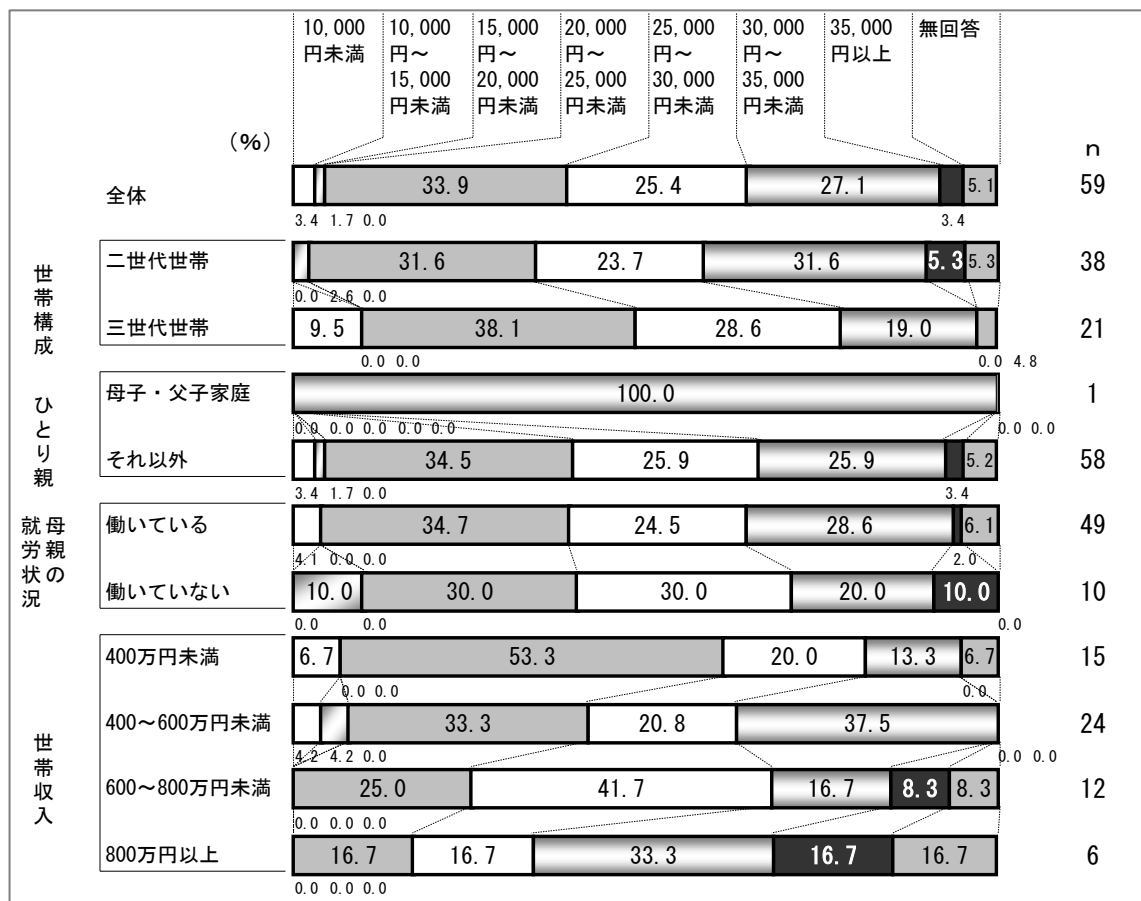
※問9-1は問9で「1.」～「6.」のいずれかと回答した方にお伺いします。
問9-1 お子さんが通っていた施設の、1ヶ月のおおよその利用料を教えてください。

- 「20,000円～25,000円未満」が3割強、「30,000円～35,000円未満」・「25,000円～30,000円未満」が3割弱を占める。

入学前に通っていた教育・保育施設の月額利用料については、「20,000円～25,000円未満」が33.9%、「30,000円～35,000円未満」が27.1%、「25,000円～30,000円未満」が25.4%、「10,000円未満」・「35,000円以上」が3.4%、「10,000円～15,000円未満」が1.7%となっている。

世帯構成でみると、三世帯世帯では「10,000円未満」が9.5%となっているのに対し、二世帯世帯では回答者なしとなっている。

図表 入学前に通っていた教育・保育施設の月額利用料



(5) 子育てについて思っていること

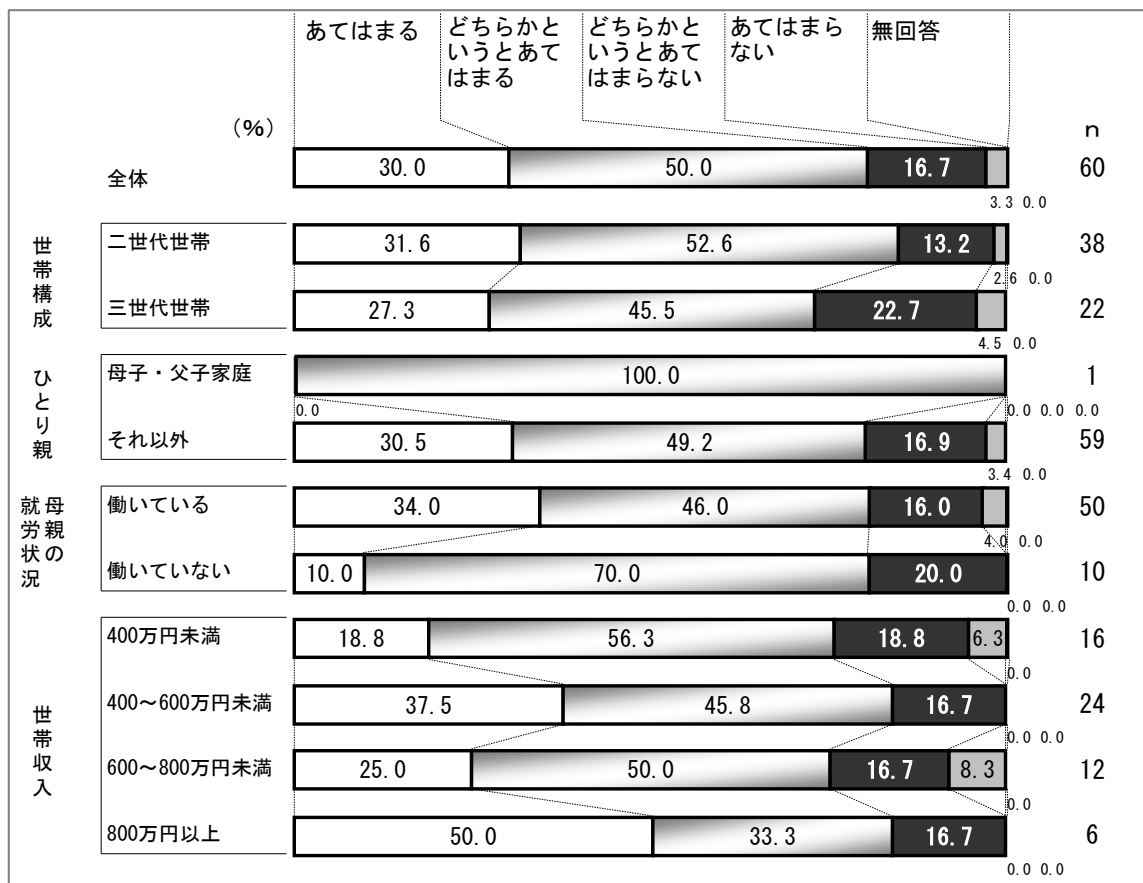
問 10 これまでの子育てについて思っていることをお聞かせください。これまでの子育ての中でA～Iのようなことがあったり、思ったりしたことはありますか。あてはまるものに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

つつい子どもにあたってしまったかについては、「あてはまる」と「どちらかという」とあてはまる」を合わせた“あてはまる”は80.0%、「どちらかという」とあてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた“あてはまらない”が20.0%となっている。

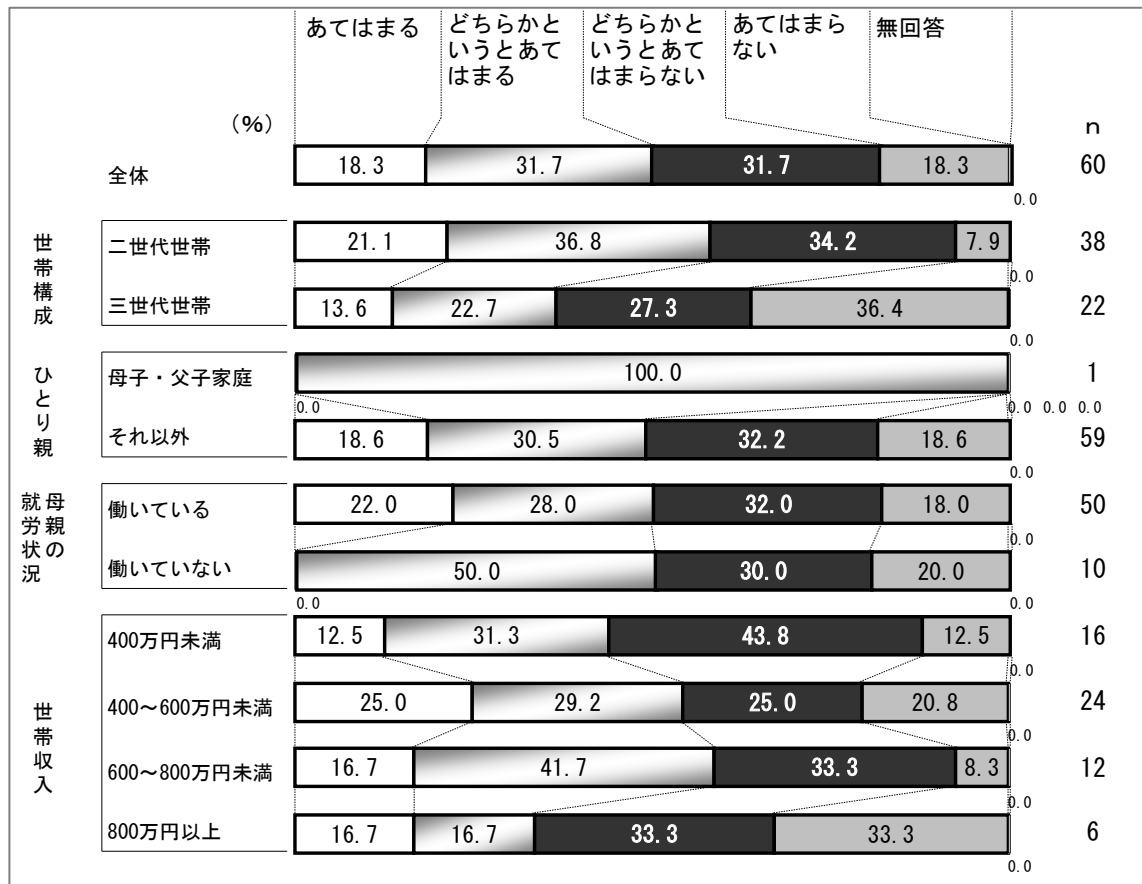
育児から解放されたいは、“あてはまらない”が81.7%、“あてはまる”が18.4%となっている。世帯構成でみると、二世帯世帯では“あてはまる”が3割弱を占めている。

自分一人で育てているという圧迫感を感じるについては、“あてはまらない”が75.0%、“あてはまる”が25.0%となっている。

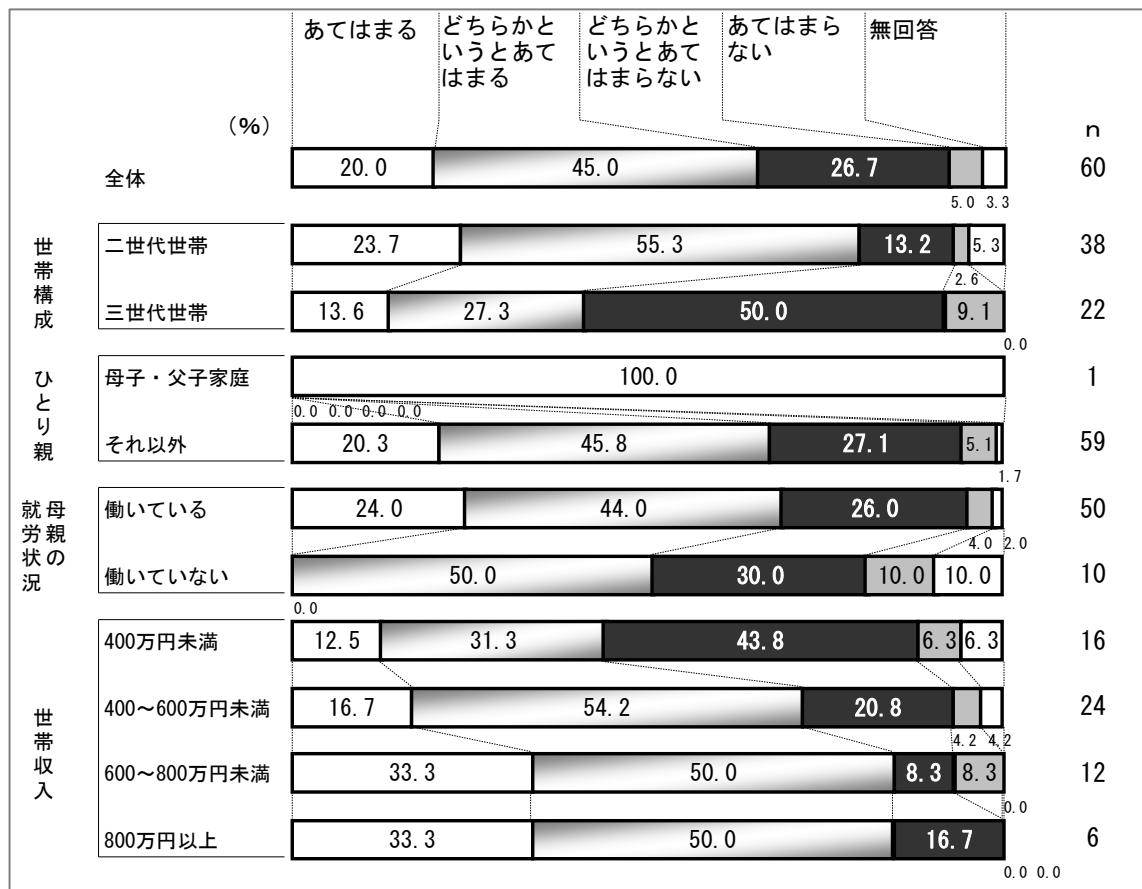
図表 A つつい子どもにあたってしまった



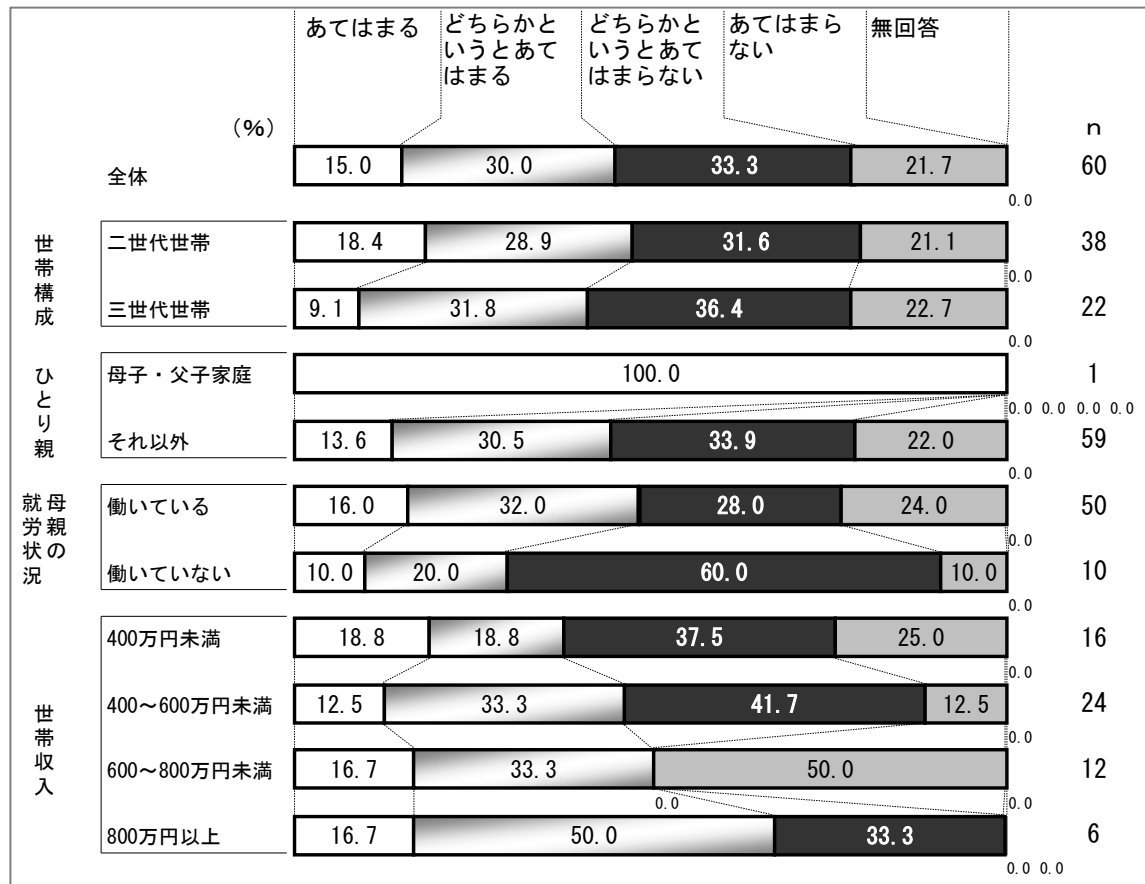
図表 B ついつい子どもを叩いてしまった



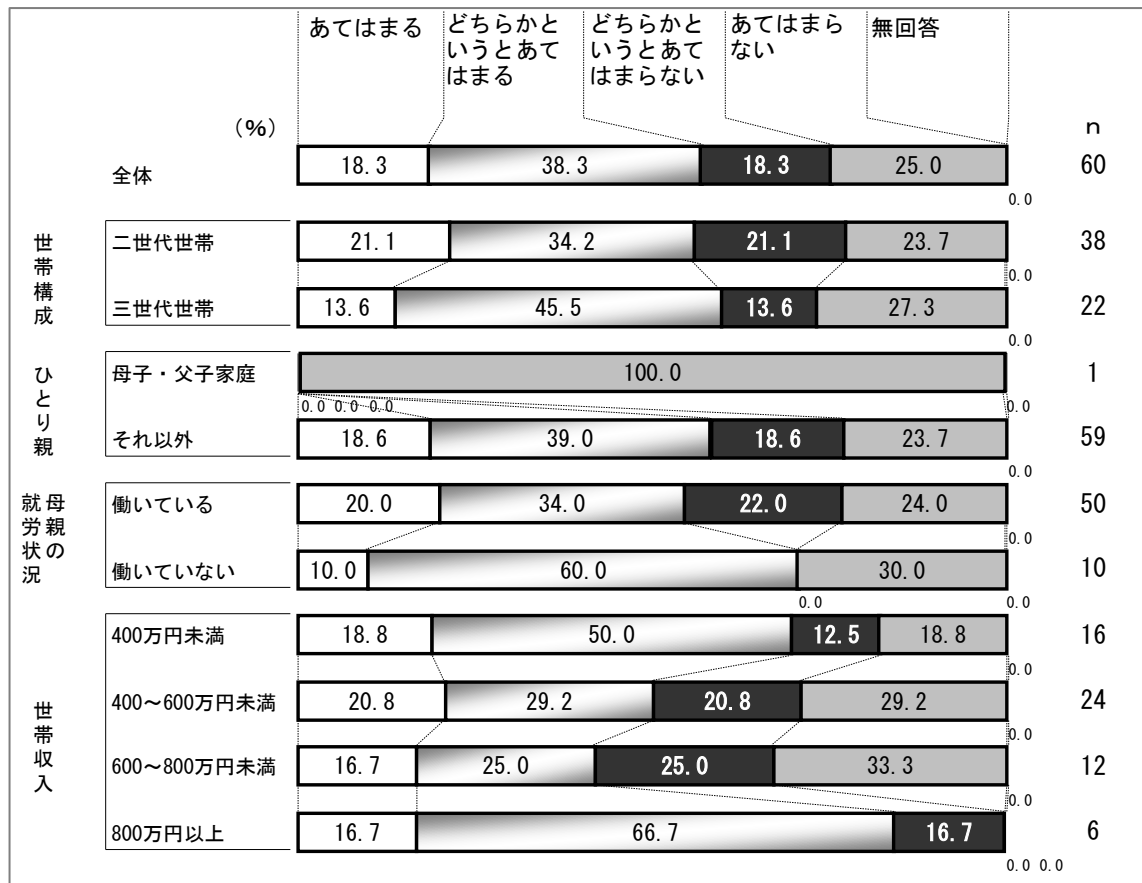
図表 C しつけのためよく厳しく叱った



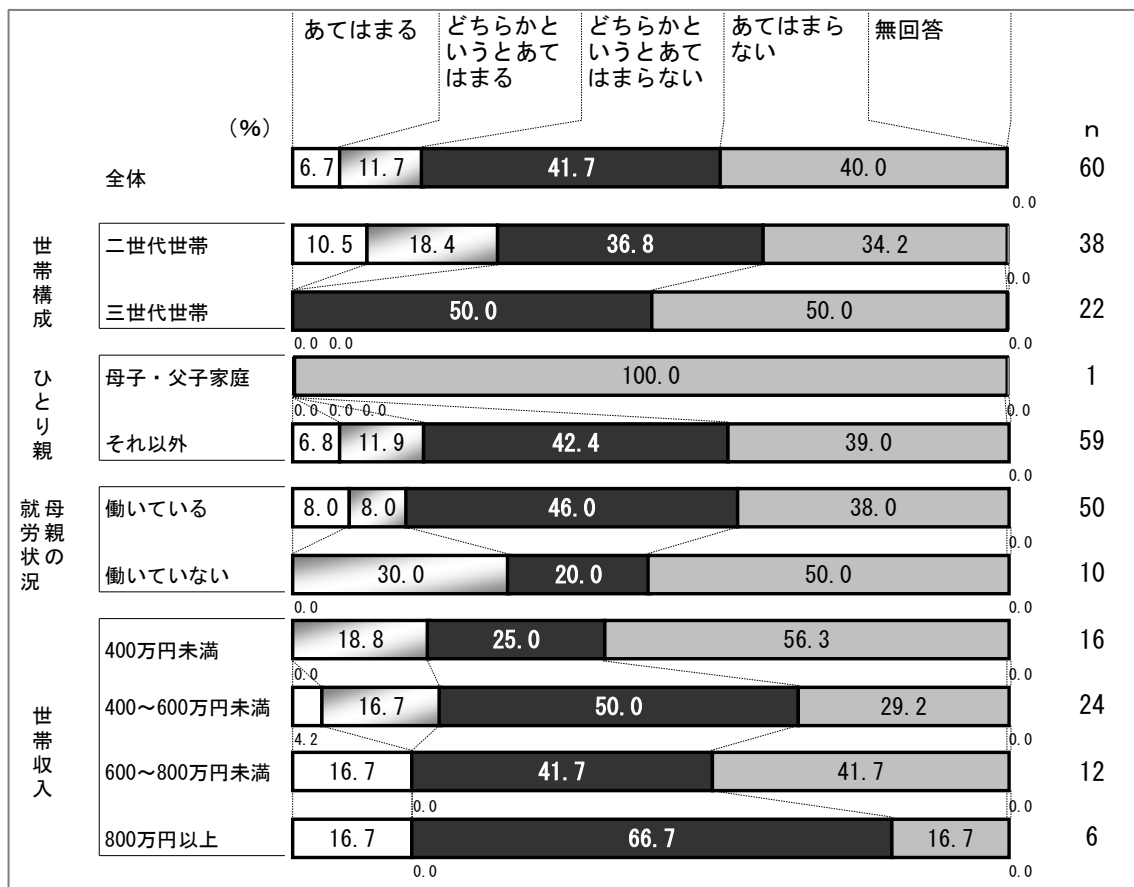
図表 D 子どもがわずらわしくてイライラした



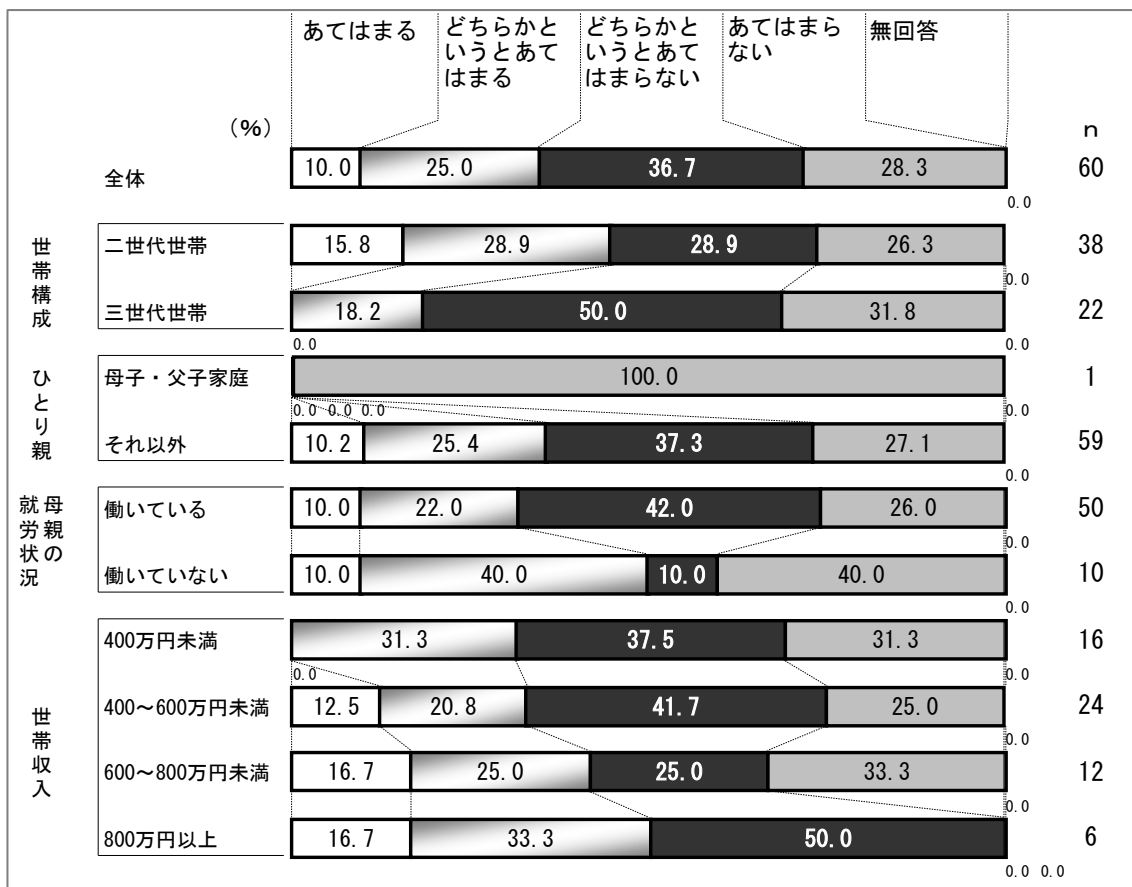
図表 E 毎日毎日同じことの繰り返ししかしていない



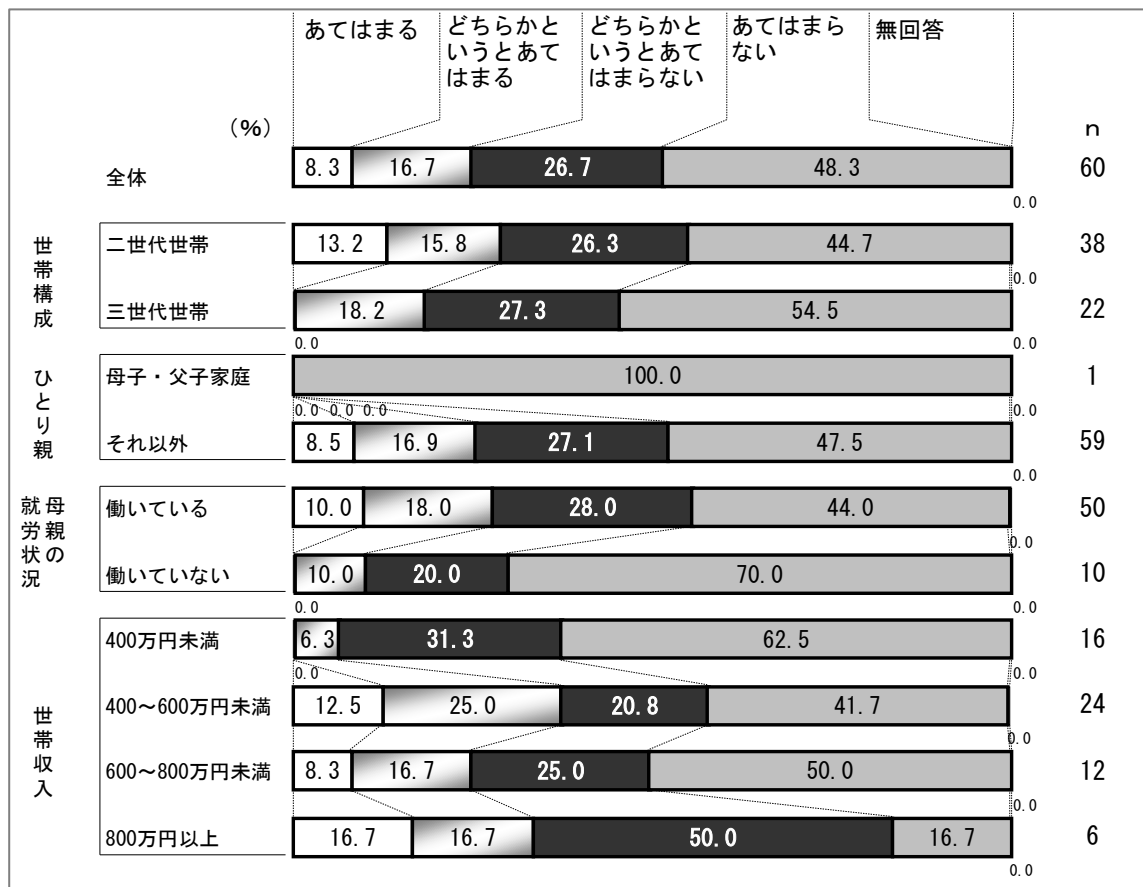
図表 F 育児から解放されたい



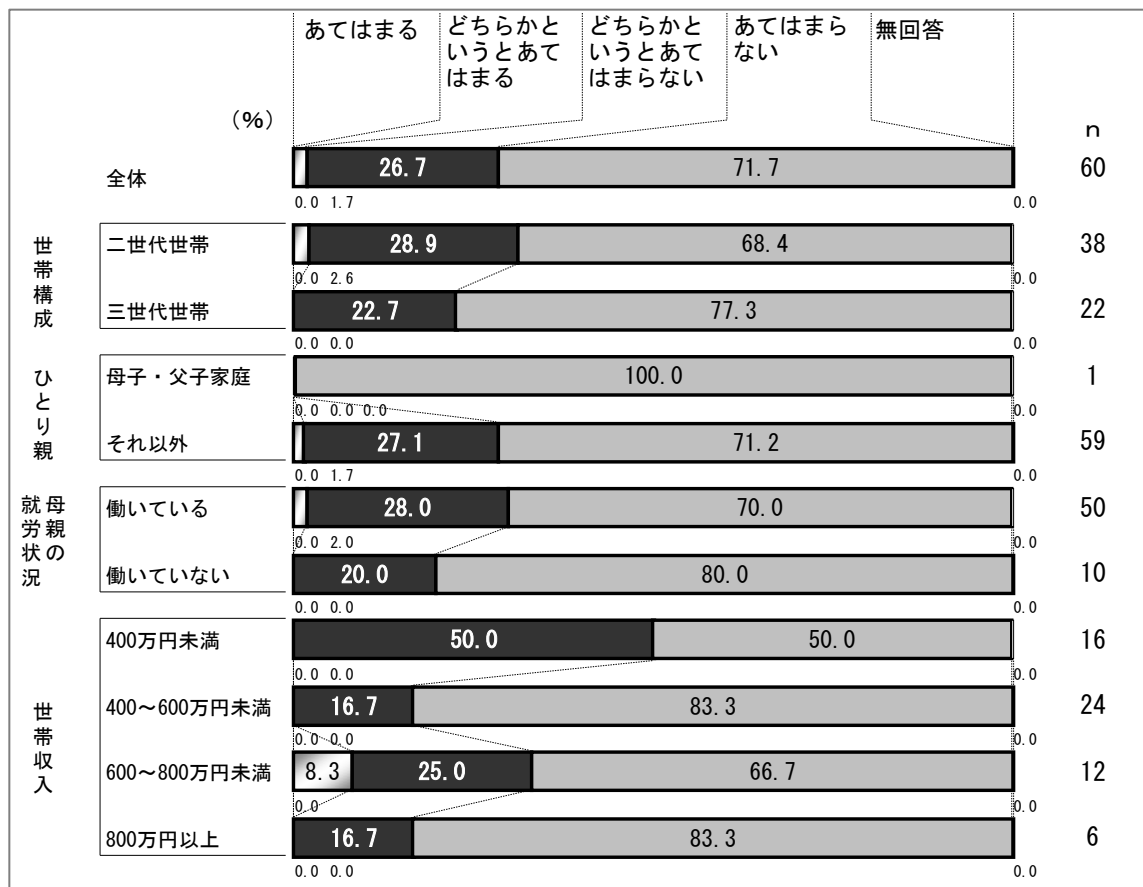
図表 G 子どもを育てるために我慢している



図表 H 自分一人で育てているという圧迫感を感じる



図表 I 子どもの世話にはあまり関心がない



(6) 放課後の時間を主に過ごす場所

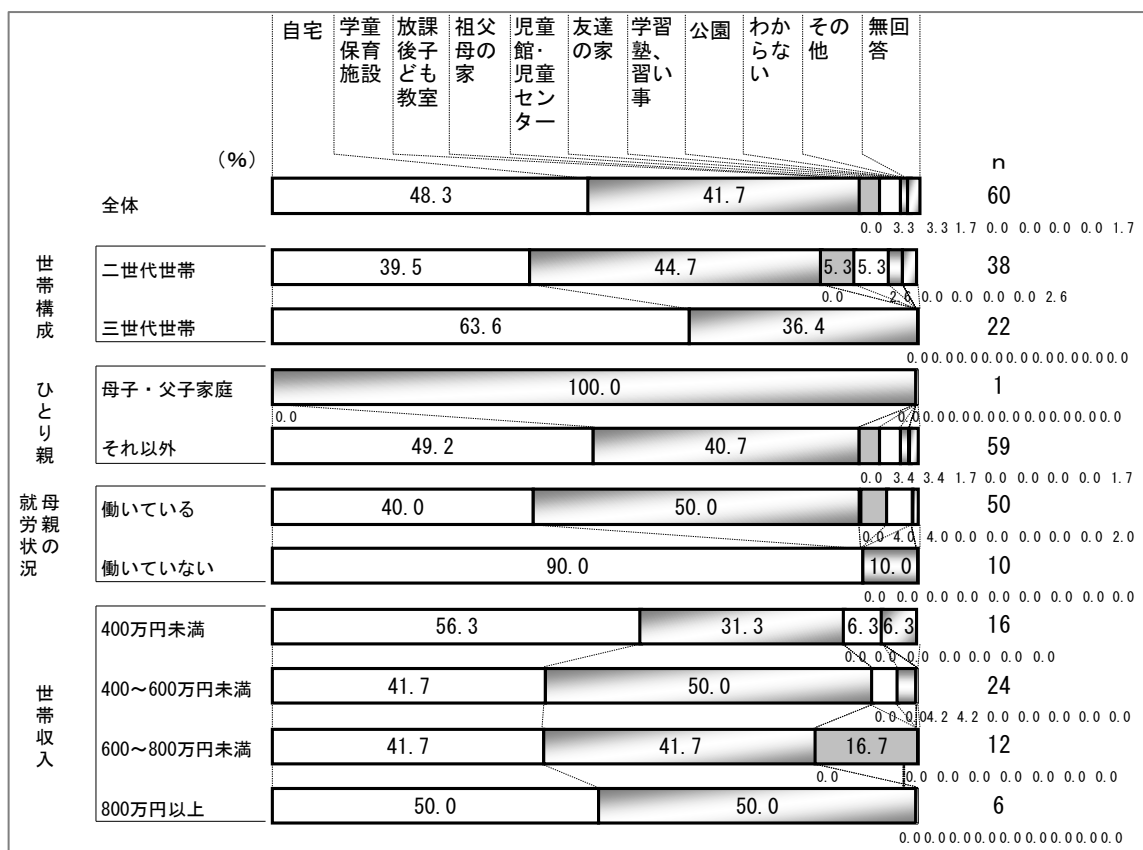
問 11 お子さんは、現在、学校が終わってからの放課後の時間を、主にどこで過ごしていますか。あてはまるものに○をつけてください。(1つに○)

- 「自宅」が5割弱、「学童保育施設」が4割強を占める。

放課後の時間を主に過ごす場所については、「自宅」が48.3%、「学童保育施設」が41.7%、「祖父母の家」・「児童館・児童センター」が3.3%、「友達の家」が1.7%となっている。

世帯構成でみると、二世帯世帯では「自宅」が39.5%となっているのに対し、三世帯世帯では63.6%となっている。

図表 放課後の時間を主に過ごす場所



(7) 学童保育月額利用料

※問 11-1 は、問 11 で「2. 学童保育施設（放課後児童クラブなど）」と回答した方にお伺いします。

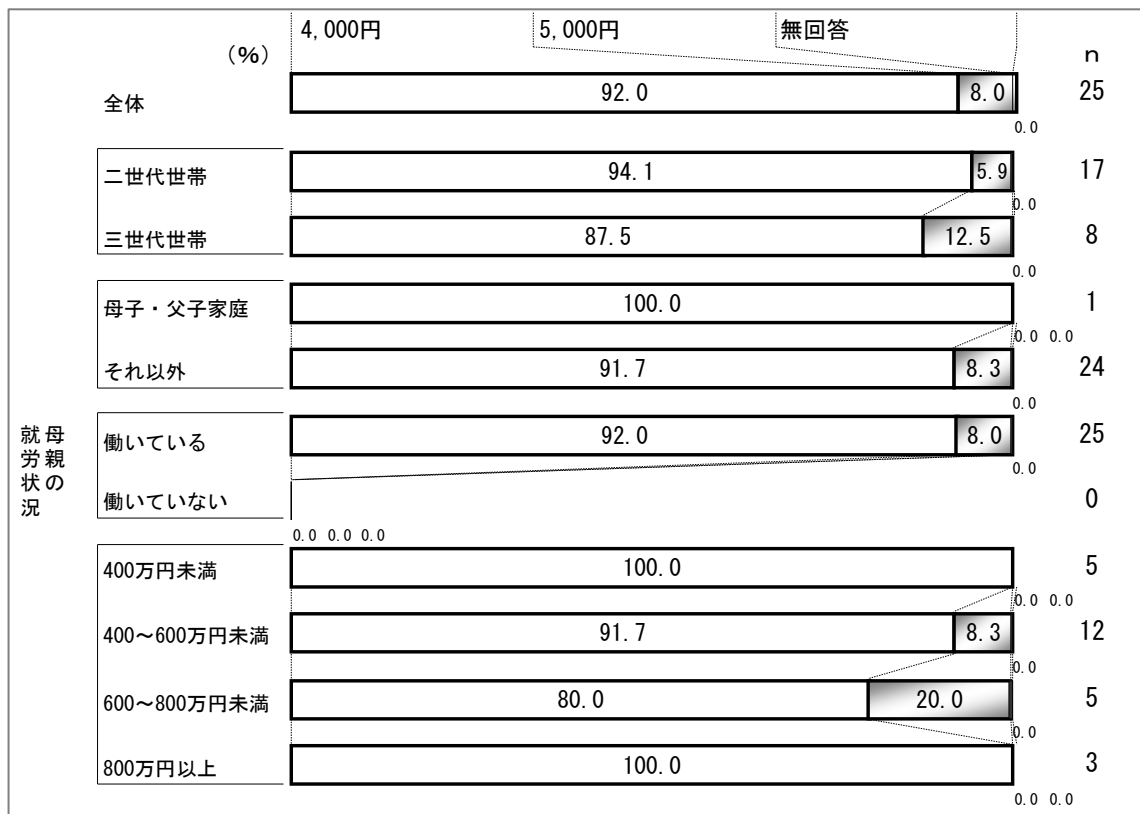
問 11-1 現在利用している学童保育施設のおおよその1ヶ月の利用料を教えてください。



- 「4,000 円」が9割強、「5,000 円」が1割未満となっている。

学童保育月額利用料については、「4,000 円」が 92.0%、「5,000 円」が 8.0%となっている。

図表 学童保育月額利用料



(8) 学童保育施設を利用していない理由

※問 11-2 は、学童保育を利用していないすべての方（問 11 で「2.」以外に○をつけた方）にお伺いします。

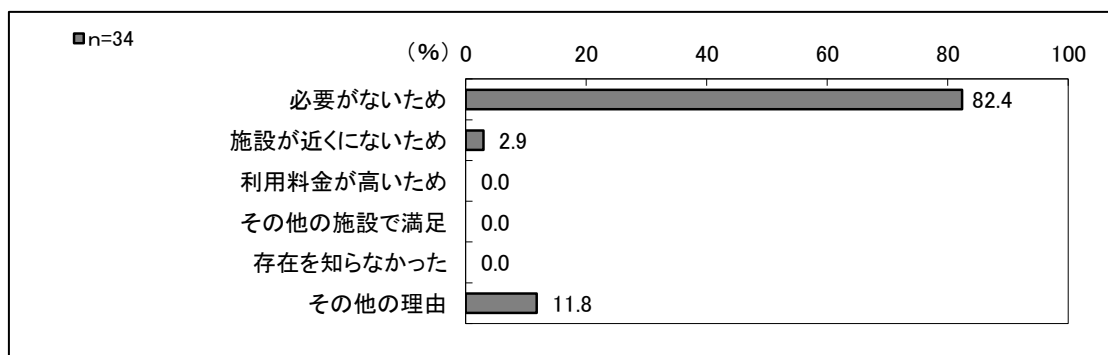
問 11-2 学童保育施設を利用していない理由を教えてください。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）【複数回答】



- 「必要がないため」が大きく差をつけて第1位。

学童保育施設を利用していない理由については、「必要がないため」(82.4%) が第1位となっている。次いで「施設が近くにないため」(2.9%) となっている。

図表 学童保育施設を利用していない理由（全体／複数回答）



図表 学童保育施設を利用していない理由

(全体・世帯構成・ひとり親・母親の就労状況・世帯収入—上位第3位／複数回答)

(単位：％)

		第1位	第2位	第3位
全体		必要がないため 82.4	施設が近くにないため 2.9	
世帯構成	二世代世帯	必要がないため 90.0	施設が近くにないため 5.0	
	三世代世帯	必要がないため 71.4		
ひとり親	母子・父子家庭			
	それ以外	必要がないため 82.4	施設が近くにないため 2.9	
母親の 就労状況	働いている	必要がないため 79.2		
	働いていない	必要がないため 90.0	施設が近くにないため 10.0	
世帯収入	400万円未満	必要がないため 80.0		
	400～600万円 未満	必要がないため 83.3		
	600～800万円 未満	必要がないため 71.4		
	800万円以上	必要がないため 100.0		

(9) 子ども用のもの

問 12 あなたのご家庭ではお子さん用の次のものをお持ちですか。A～Kについて、あてはまるものに○をつけてください。(それぞれ1つに○)



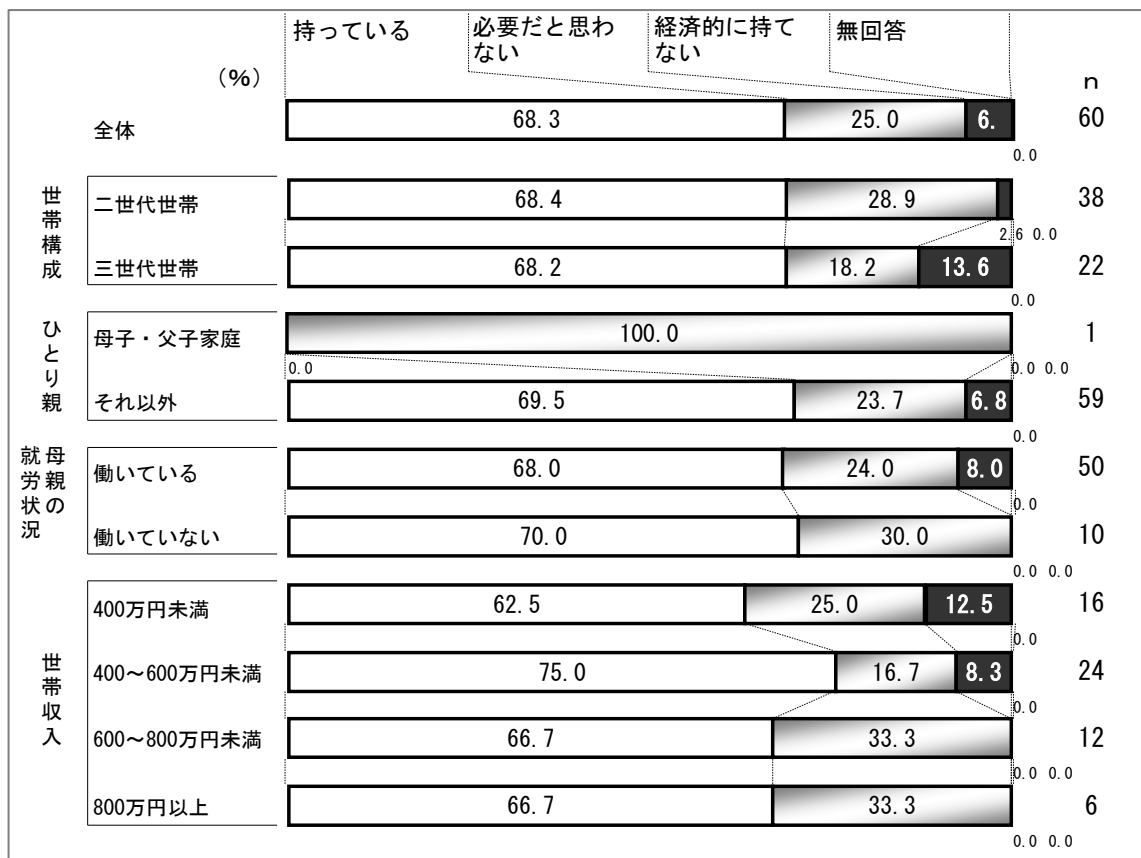
- 「子ども部屋」、「インターネットにつながるパソコン」、「多くの子どもが持っているおもちゃ」は「経済的に持てない」の割合が比較的高い。

子ども用のものについて、「経済的に持てない」の割合が比較的高いのは、「子ども部屋」(6.7%)、「インターネットにつながるパソコン」・「多くの子どもが持っているおもちゃ」(5.0%) などとなっている。

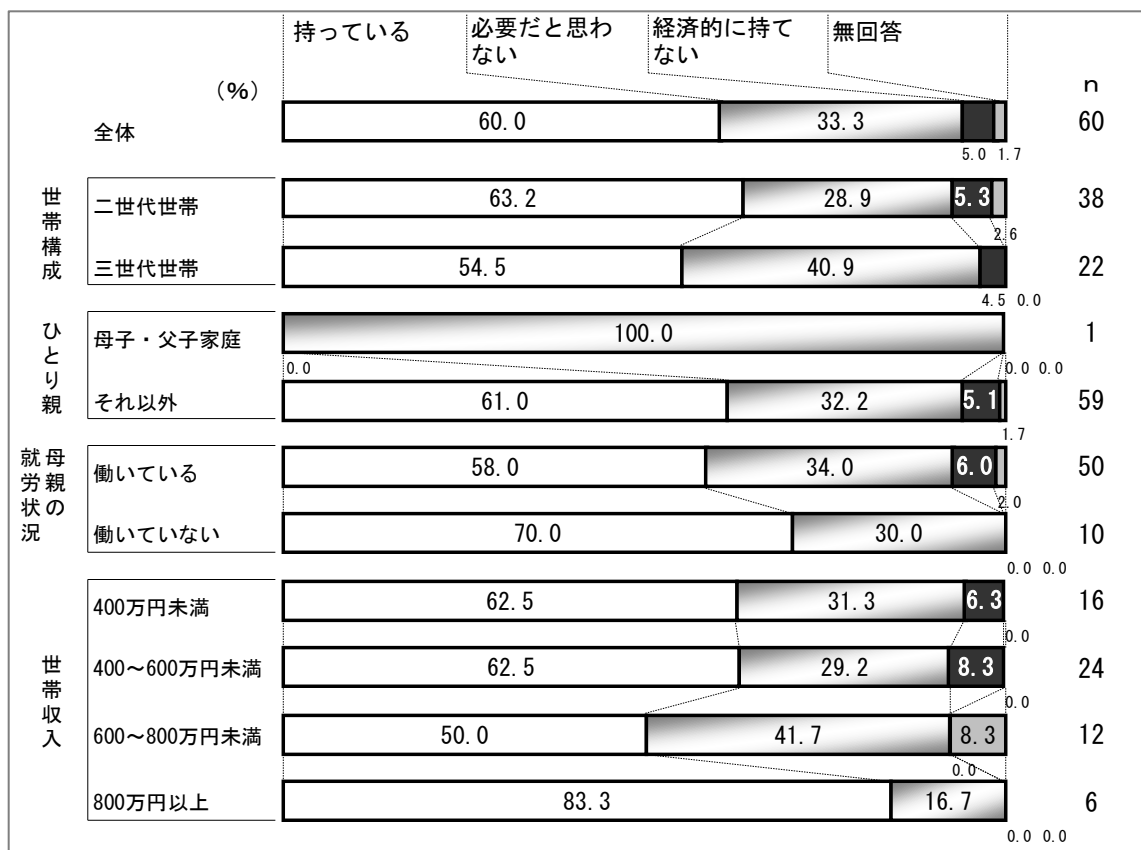
図表 A 子どもの本



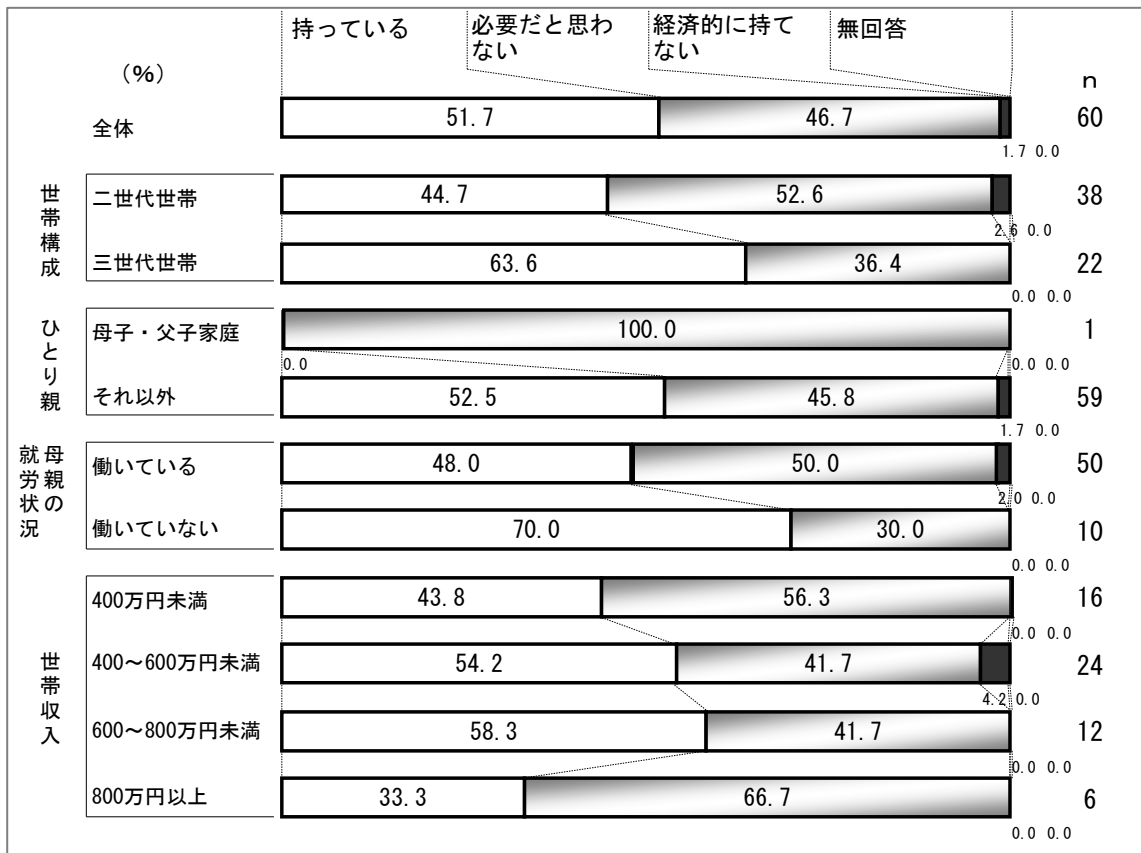
図表 B 子ども部屋



図表 C インターネットにつながるパソコン



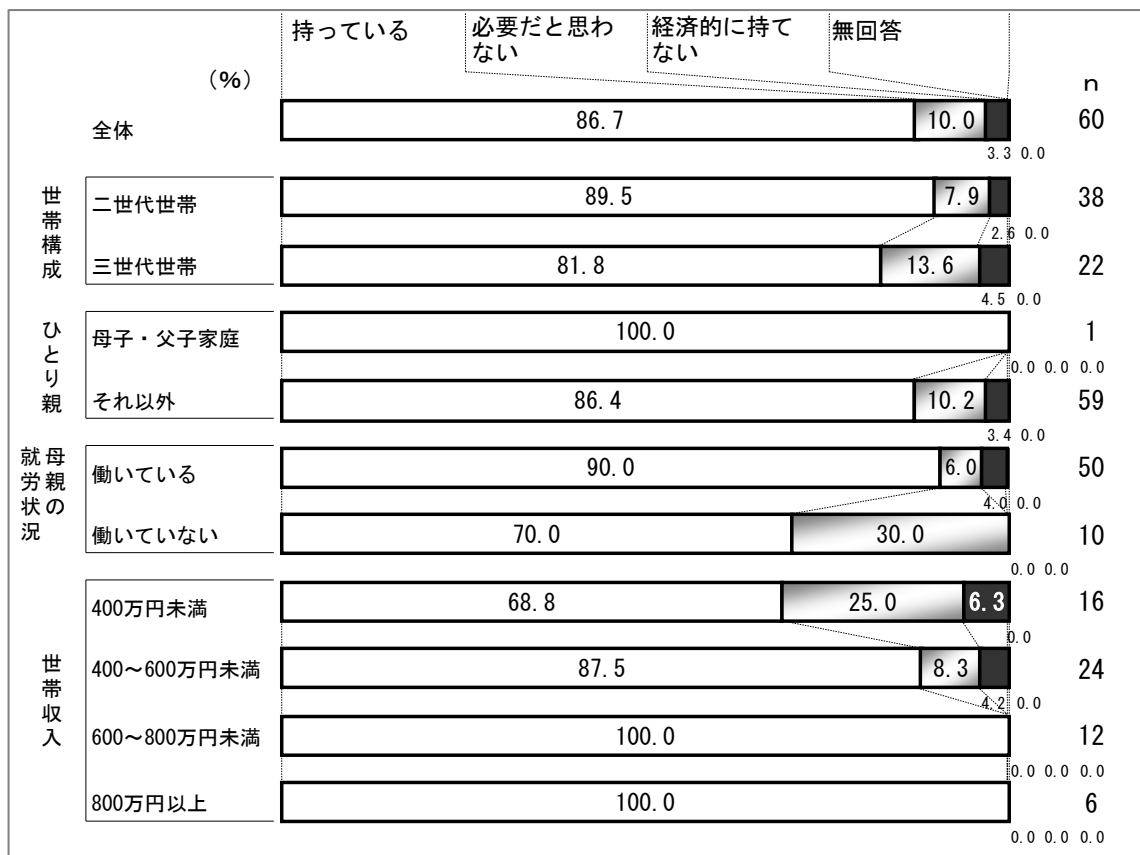
図表 D 子ども専用の勉強机



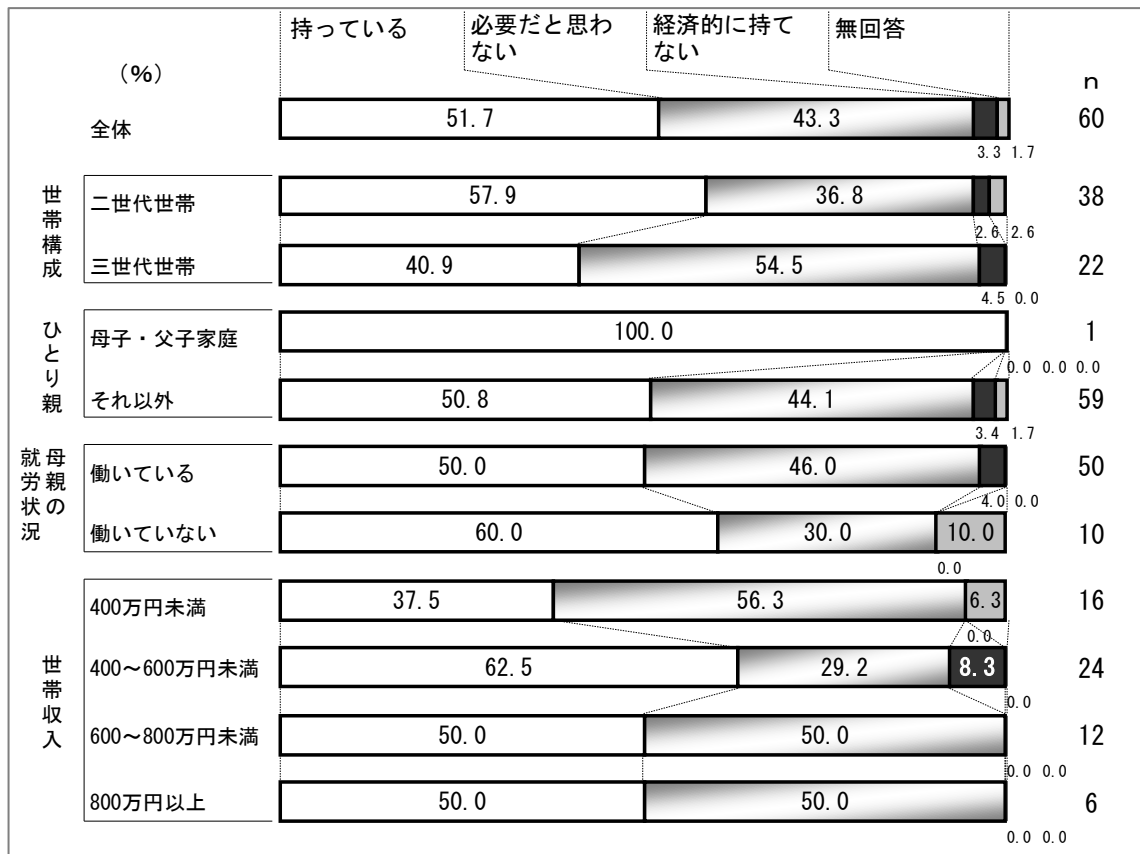
図表 E その子ども専用の文房具



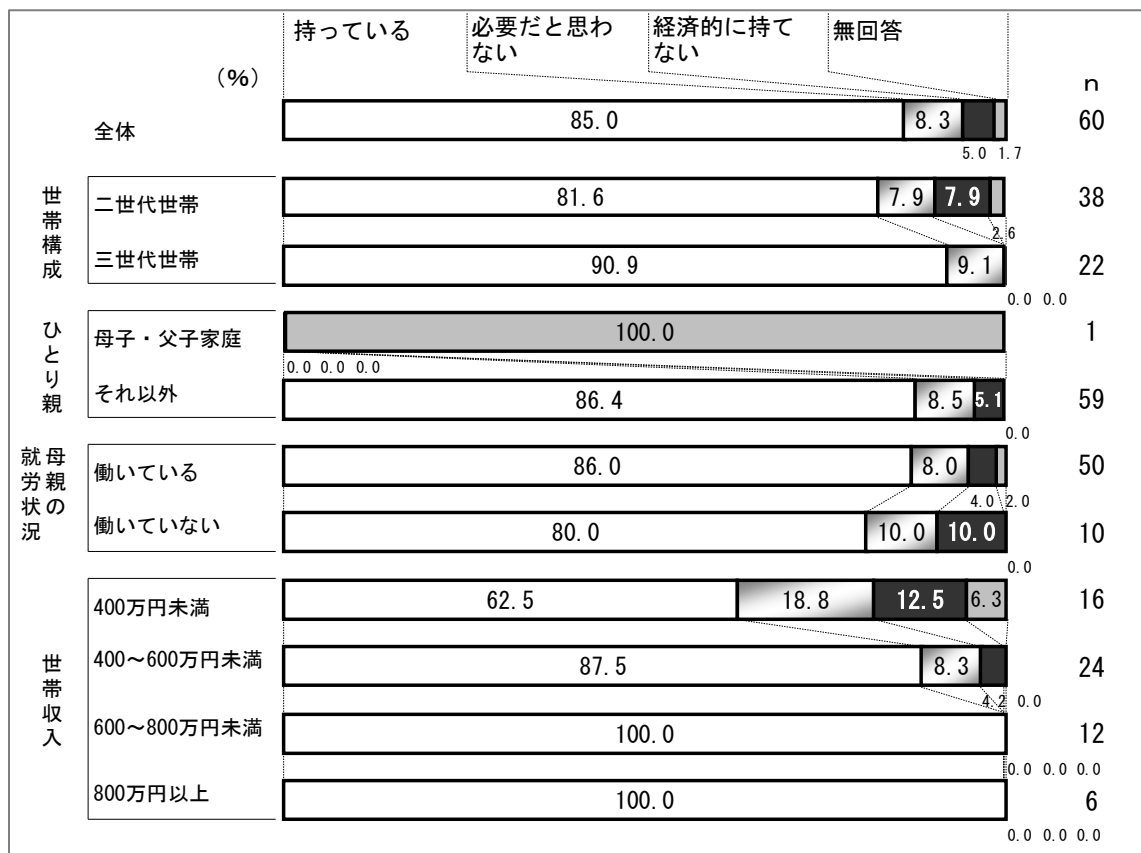
図表 F スポーツ用品



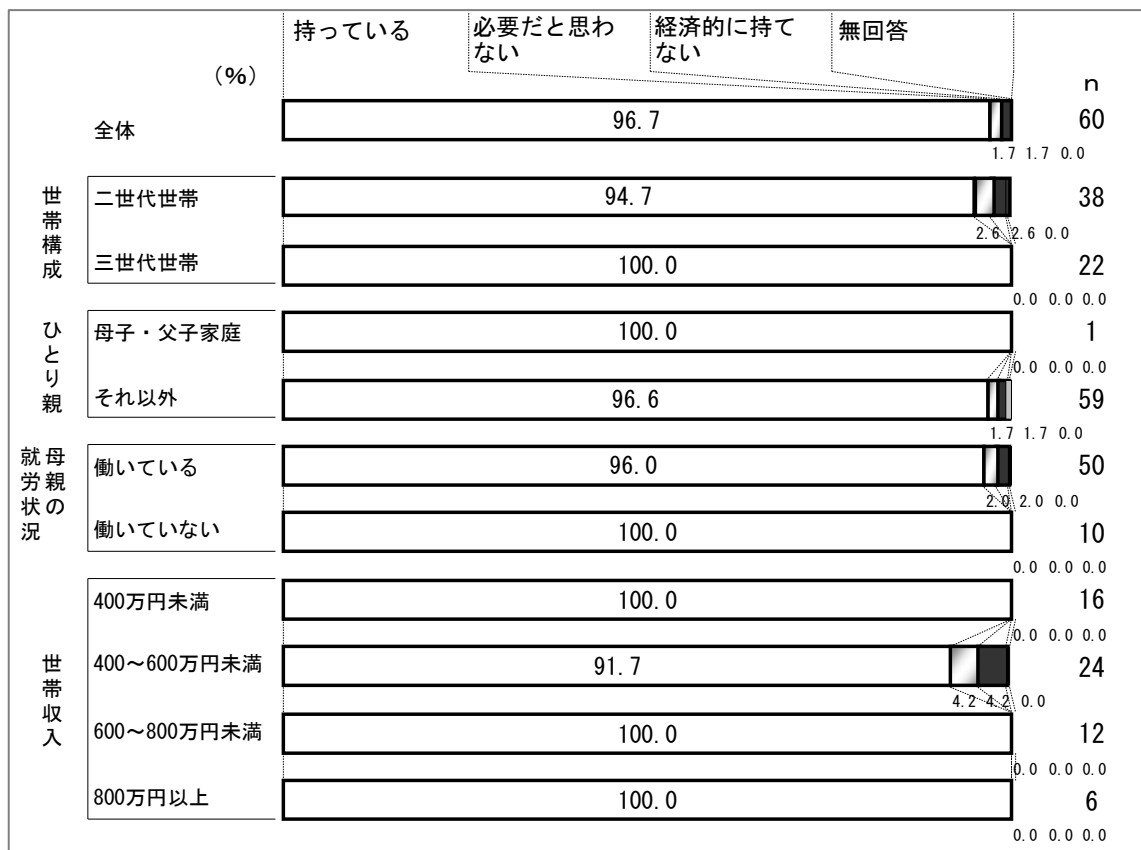
図表 G ゲーム機



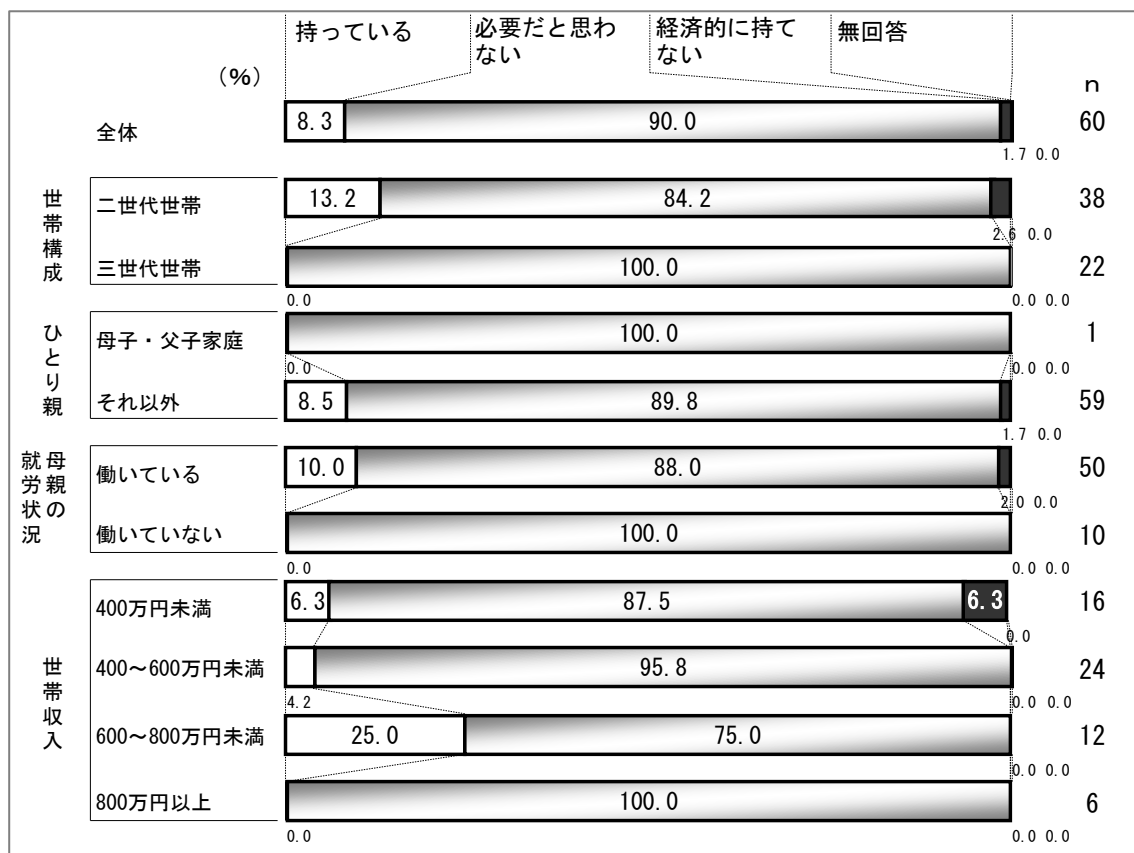
図表 H 多くの子どもが持っているおもちゃ



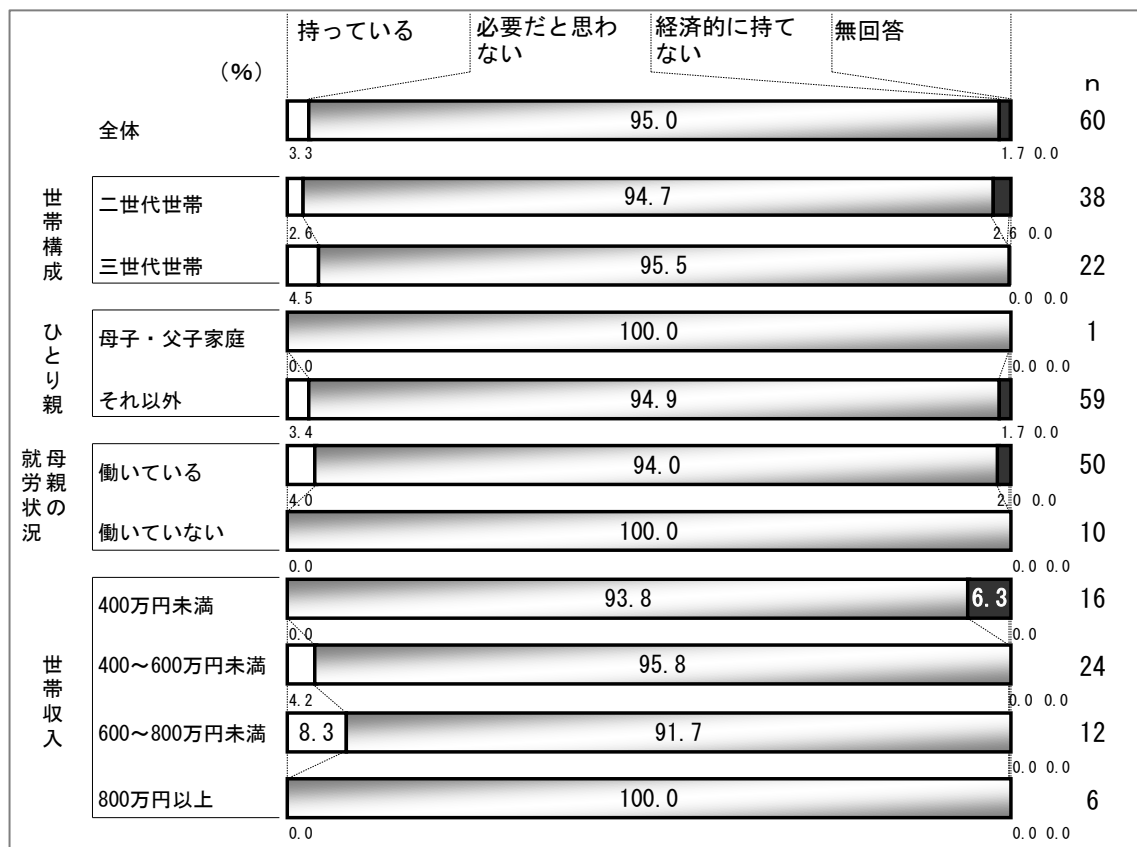
図表 I 自転車



図表 J 携帯電話、スマートフォン



図表 K 携帯音楽プレイヤー等



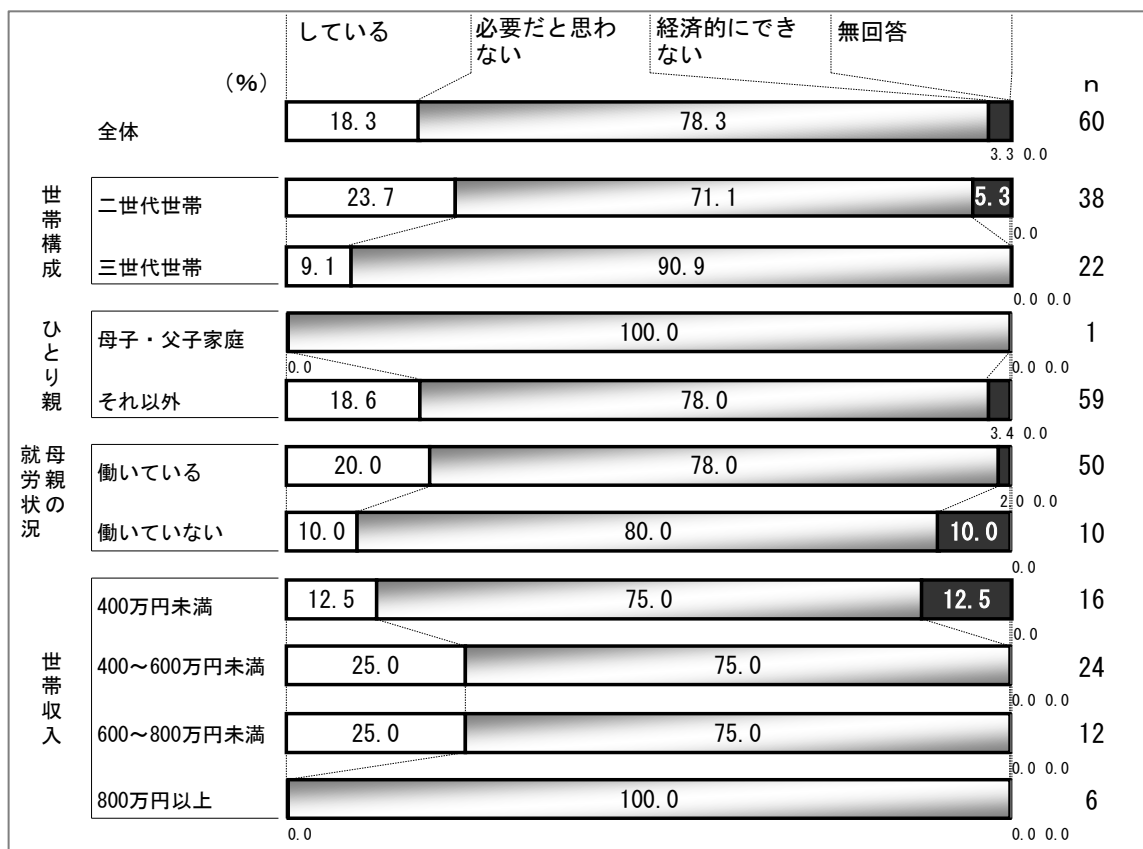
(10) 子どもにしていること

問 12 あなたのご家庭ではお子さん用の次のものをお持ちですか。A～Kについて、あてはまるものに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

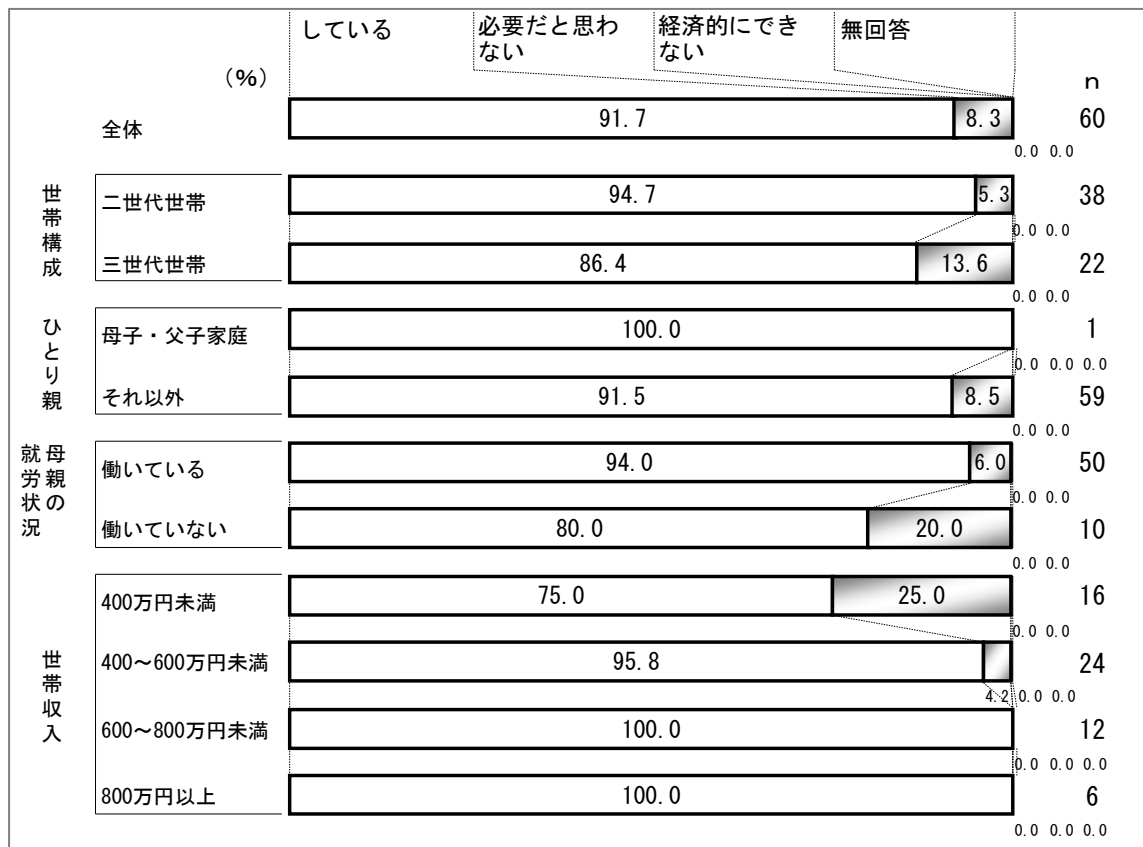
- 「学習塾に通わせる」、「1年に1回くらい家族旅行に行く」、「習い事に通わせる」は「経済的にできない」の割合が比較的高い。

子どもにしていることについて、「経済的にできない」の割合が比較的高いのは、「学習塾に通わせる」(20.0%)、「1年に1回くらい家族旅行に行く」(15.0%)、「習い事に通わせる」(11.7%) などとなっている。

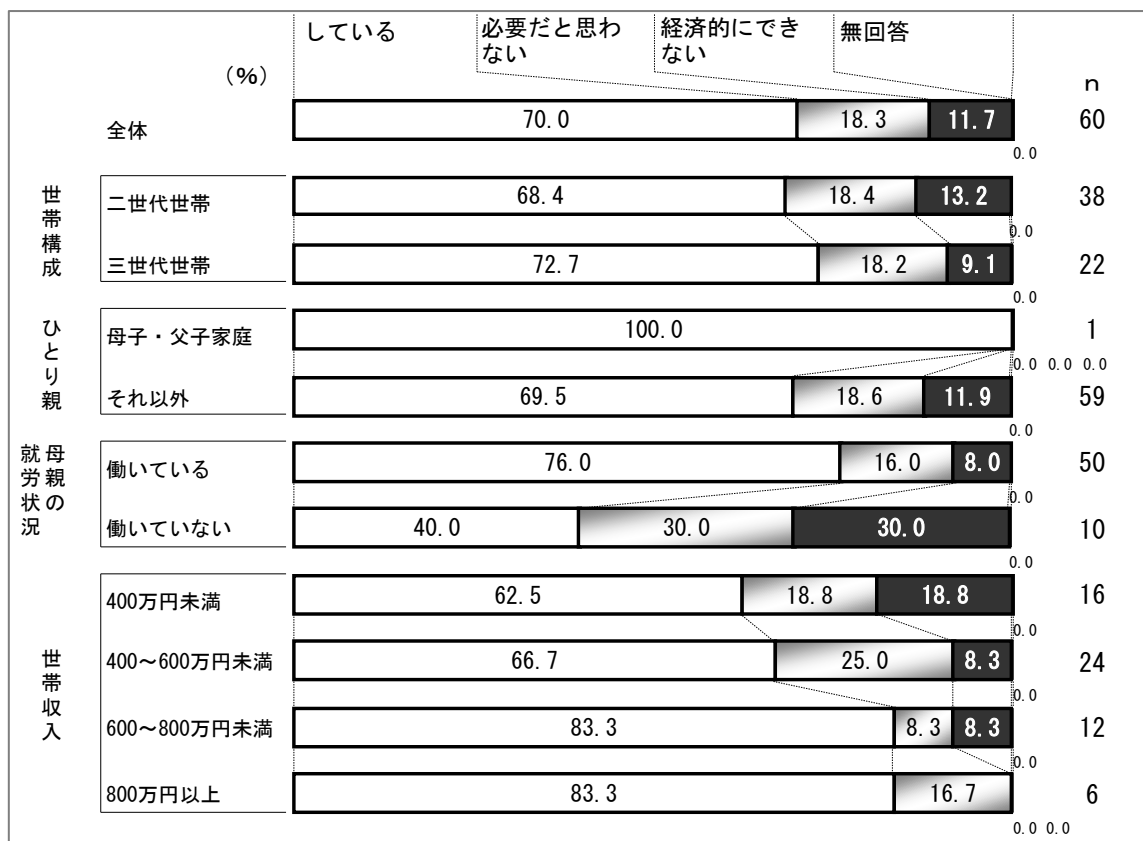
図表 A 毎月おこづかいを渡す



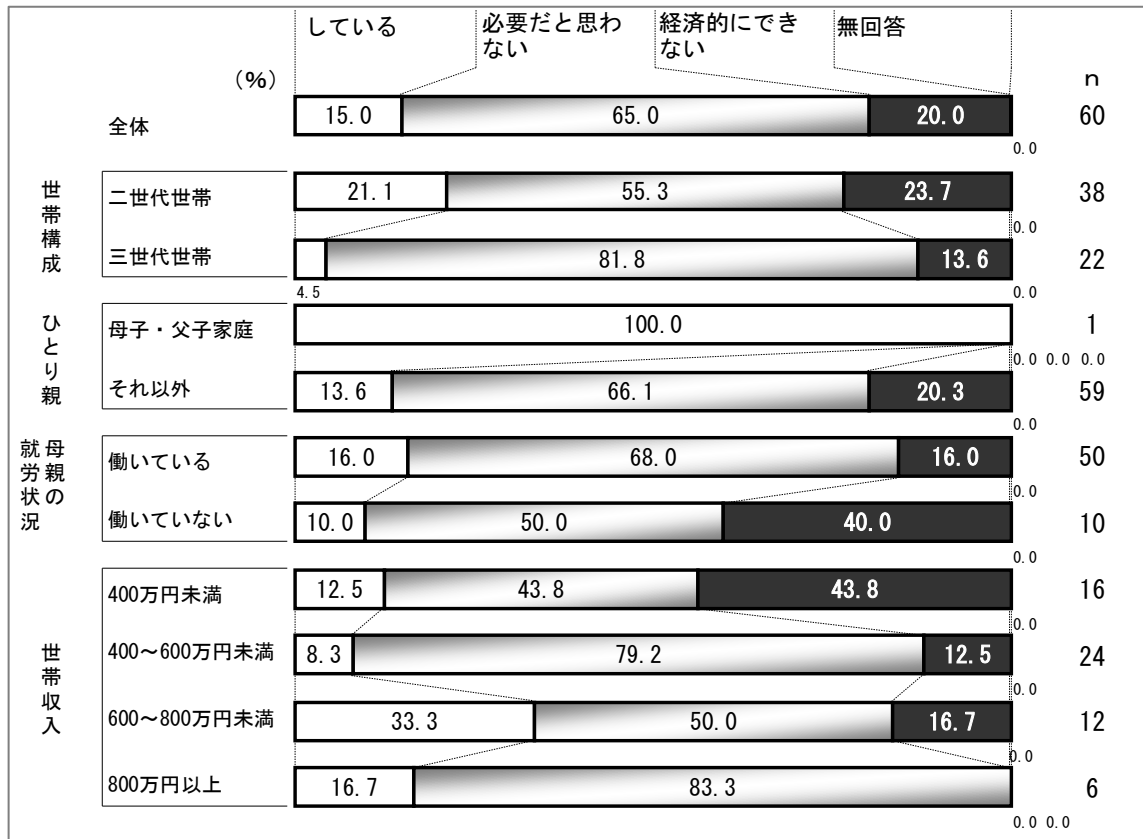
図表 B 毎年新しい洋服・靴を買う



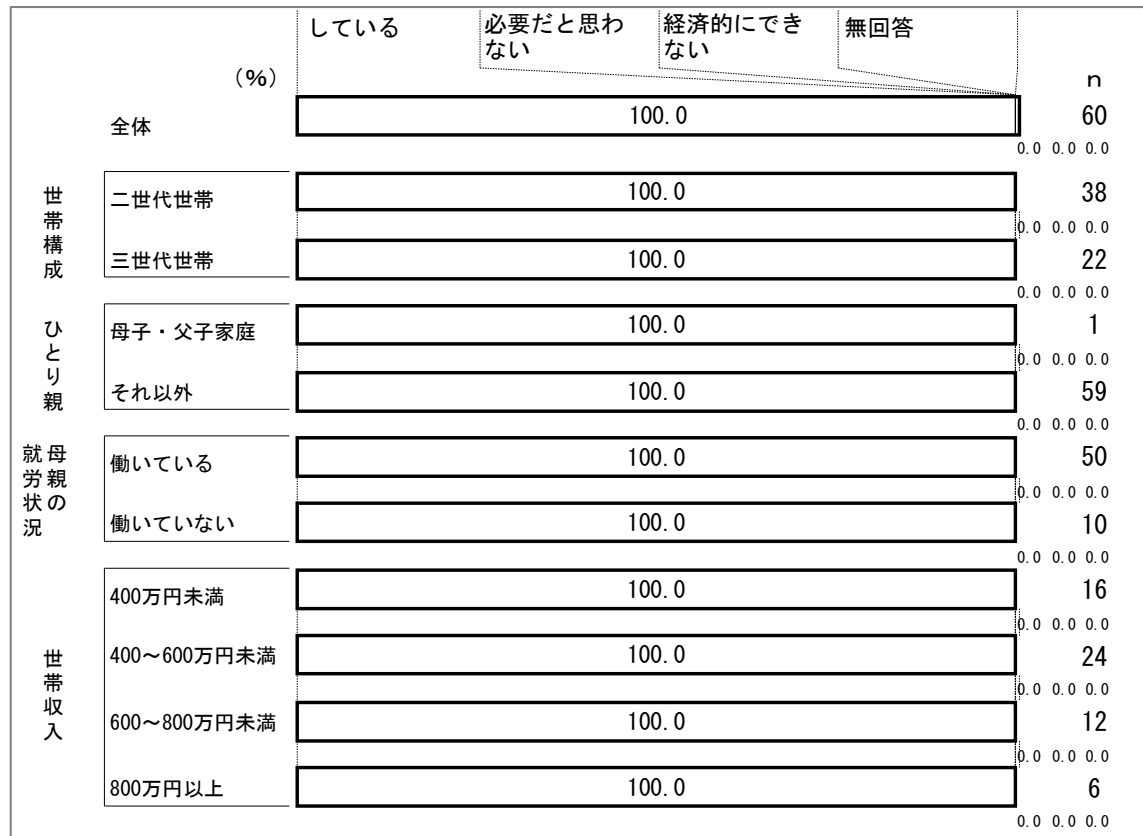
図表 C 習い事に通わせる



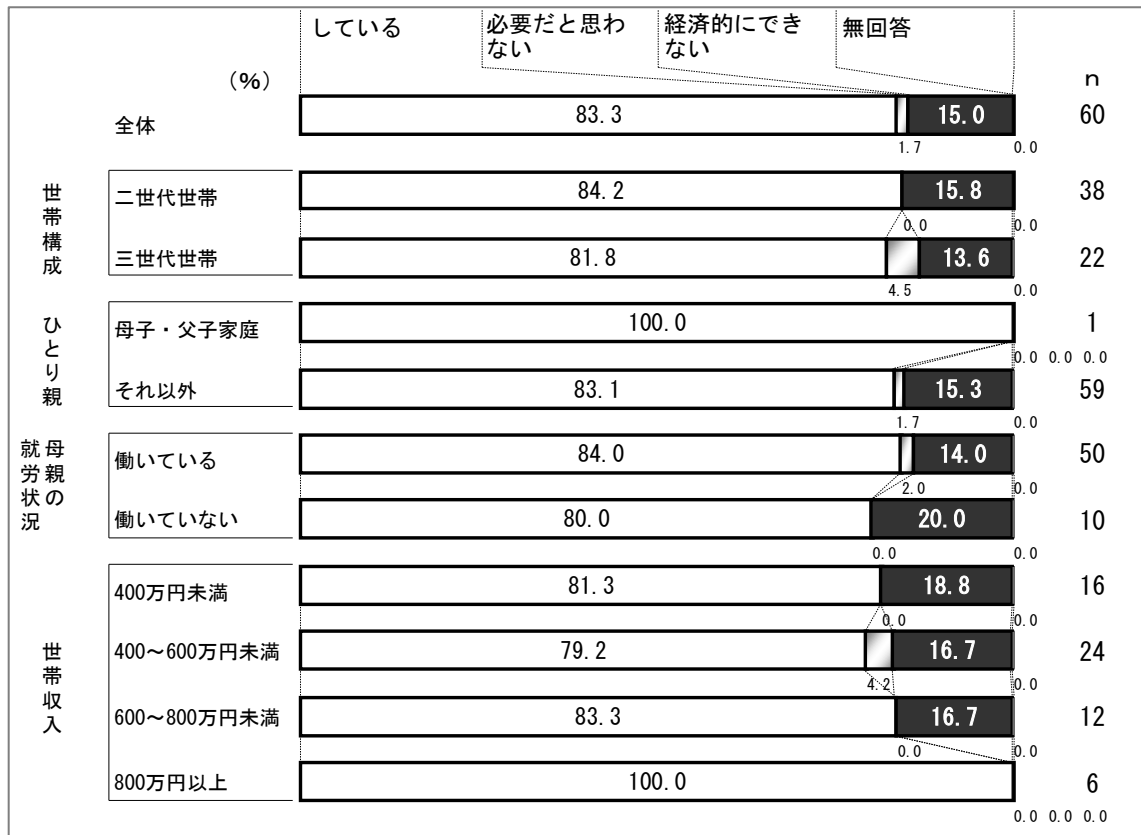
図表 D 学習塾に通わせる



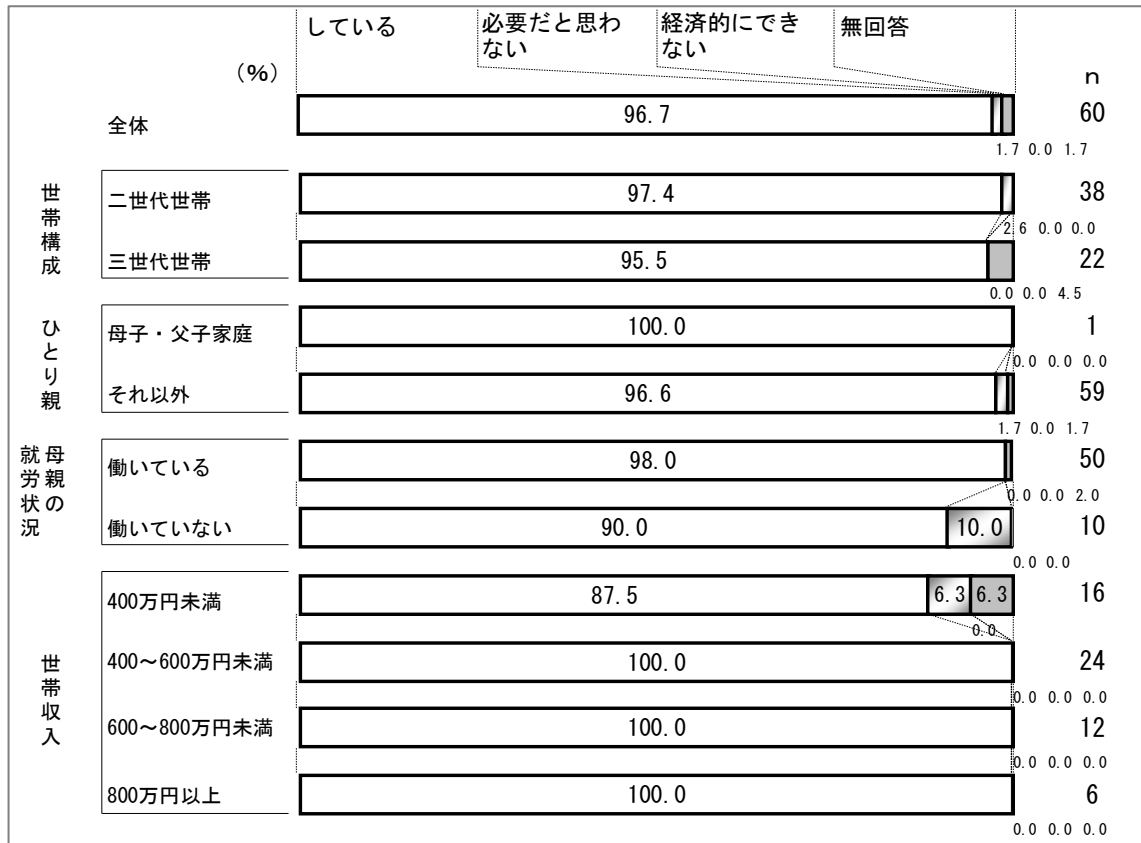
図表 E お誕生日のお祝いをする



図表 F 1年に1回くらい家族旅行に行く



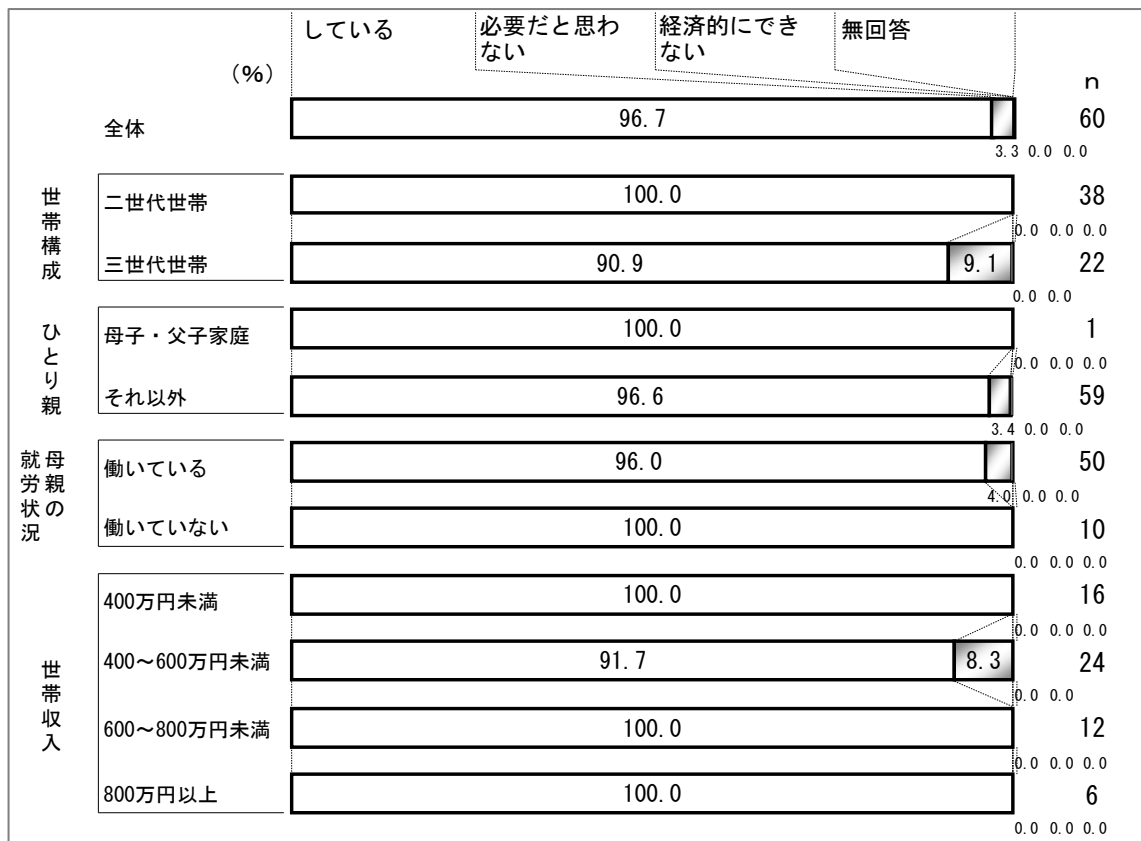
図表 G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる



図表 H 医者に行く



図表 I 歯医者に行く



図表 J 子どもの学校行事などへ親が参加する

		している	必要だと思わ ない	経済的にでき ない	無回答	n
		(%)				
世帯構成	全体	100.0	0.0	0.0	0.0	60
	二世帯世帯	100.0	0.0	0.0	0.0	38
	三世帯世帯	100.0	0.0	0.0	0.0	22
ひとり親	母子・父子家庭	100.0	0.0	0.0	0.0	1
	それ以外	100.0	0.0	0.0	0.0	59
就業状況	働いている	100.0	0.0	0.0	0.0	50
	働いていない	100.0	0.0	0.0	0.0	10
世帯収入	400万円未満	100.0	0.0	0.0	0.0	16
	400～600万円未満	100.0	0.0	0.0	0.0	24
	600～800万円未満	100.0	0.0	0.0	0.0	12
	800万円以上	100.0	0.0	0.0	0.0	6

(11) 子どもは地域のクラブ活動をしているか

問 14 お子さんは地域のクラブ活動をしていますか。あてはまるものに○をつけてください。
(1つに○)

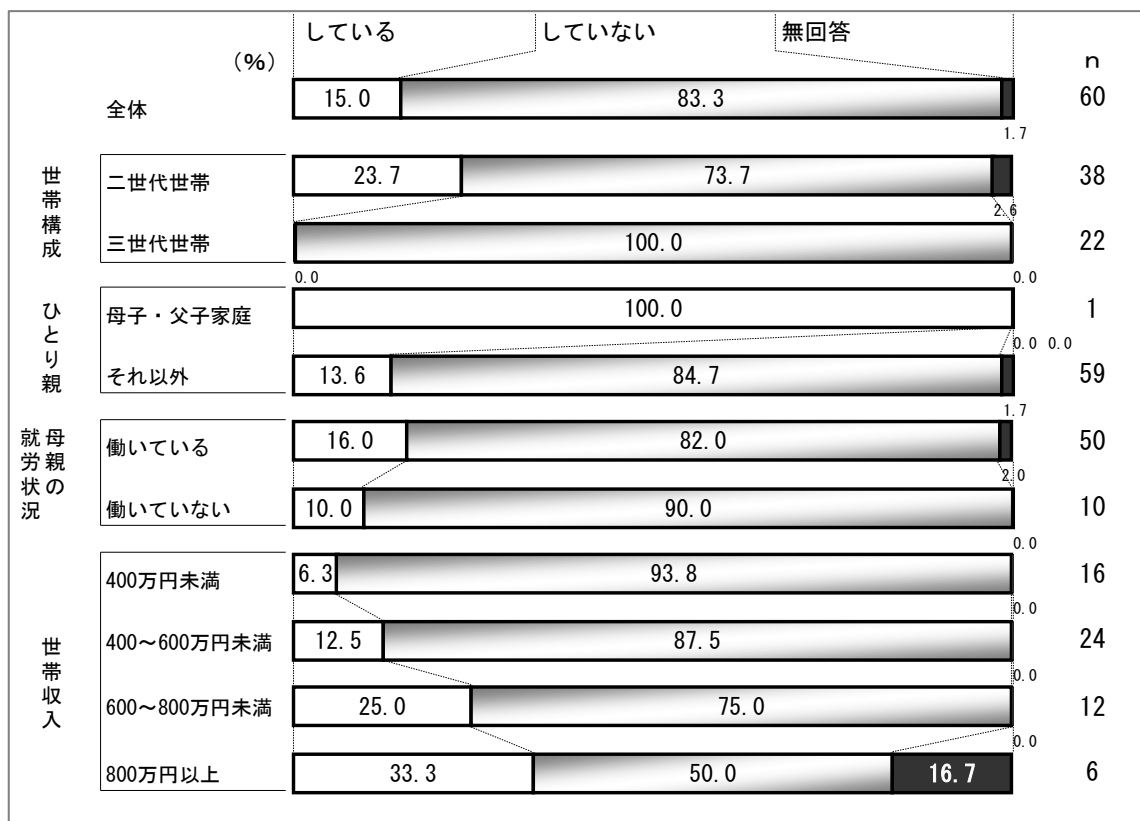


- 「していない」が8割強を占める。

子どもは地域のクラブ活動をしているかどうかについては、「していない」が83.3%、「している」が15.0%となっている。

世帯収入でみると、年収が高くなるにつれて「していない」の割合が低くなり、「している」の割合が高くなる傾向にある。

図表 子どもは地域のクラブ活動をしているか



(12) 参加している地域のクラブ

※問 14-1 は、問 14 で「1. している」と回答した方にお伺いします。

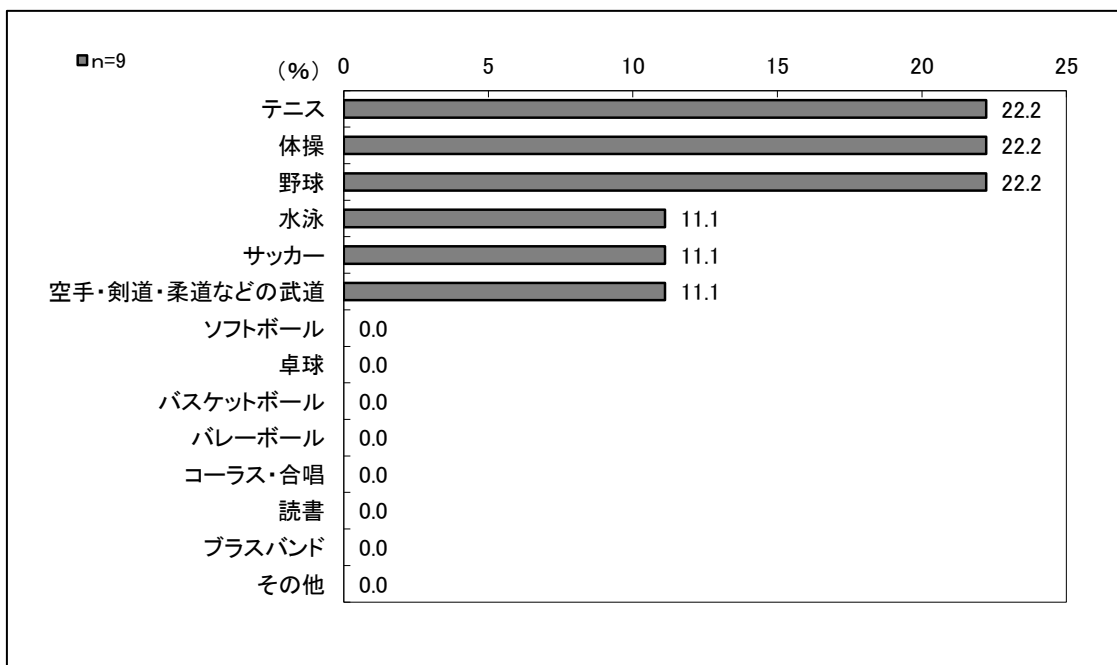
問 14-1 地域のクラブ活動の種類について、あてはまるものすべてに○をつけてください。
(○はいくつでも)



- 「テニス」、「体操」、「野球」が同率で第1位。

参加している地域のクラブについては、「テニス」・「体操」・「野球」（同率 22.2%）が第1位となっており、次いで「水泳」・「サッカー」・「空手・剣道・柔道などの武道」（同率 11.1%）となっている。

図表 参加している地域のクラブ



(13) 子どもは習い事をしているか

問 15 お子さんは、習い事（スポーツクラブ・学習塾を含む）をしていますか。あてはまるものに○をしてください。（1つに○）

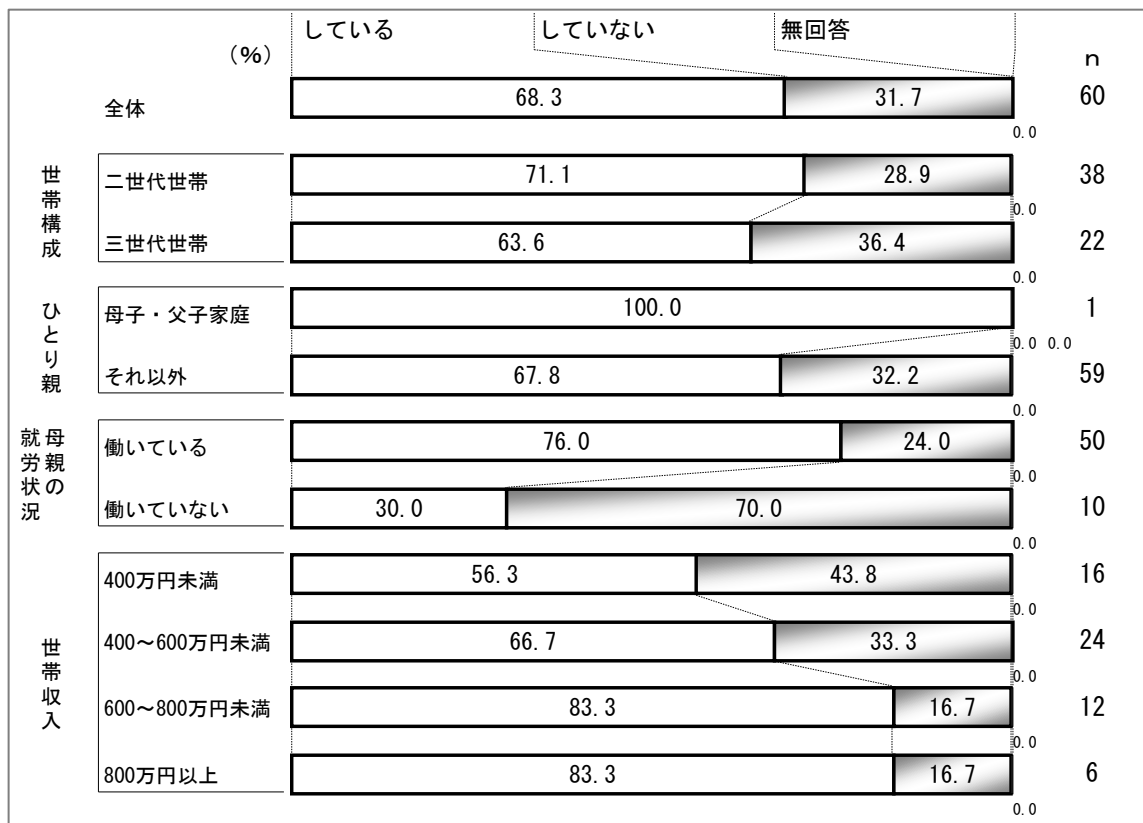


- 「している」が7割弱、「していない」が3割強を占める。

子どもは習い事をしているかどうかについては、「している」が68.3%、「していない」が31.7%となっている。

世帯収入でみると、世帯収入が増えるにつれて「している」の割合が高くなる傾向がうかがえる。

図表 子どもは習い事をしているか



(14) 行っている習い事

※問 15-1 は、問 15 で「1. している」と回答した方にお伺いします。

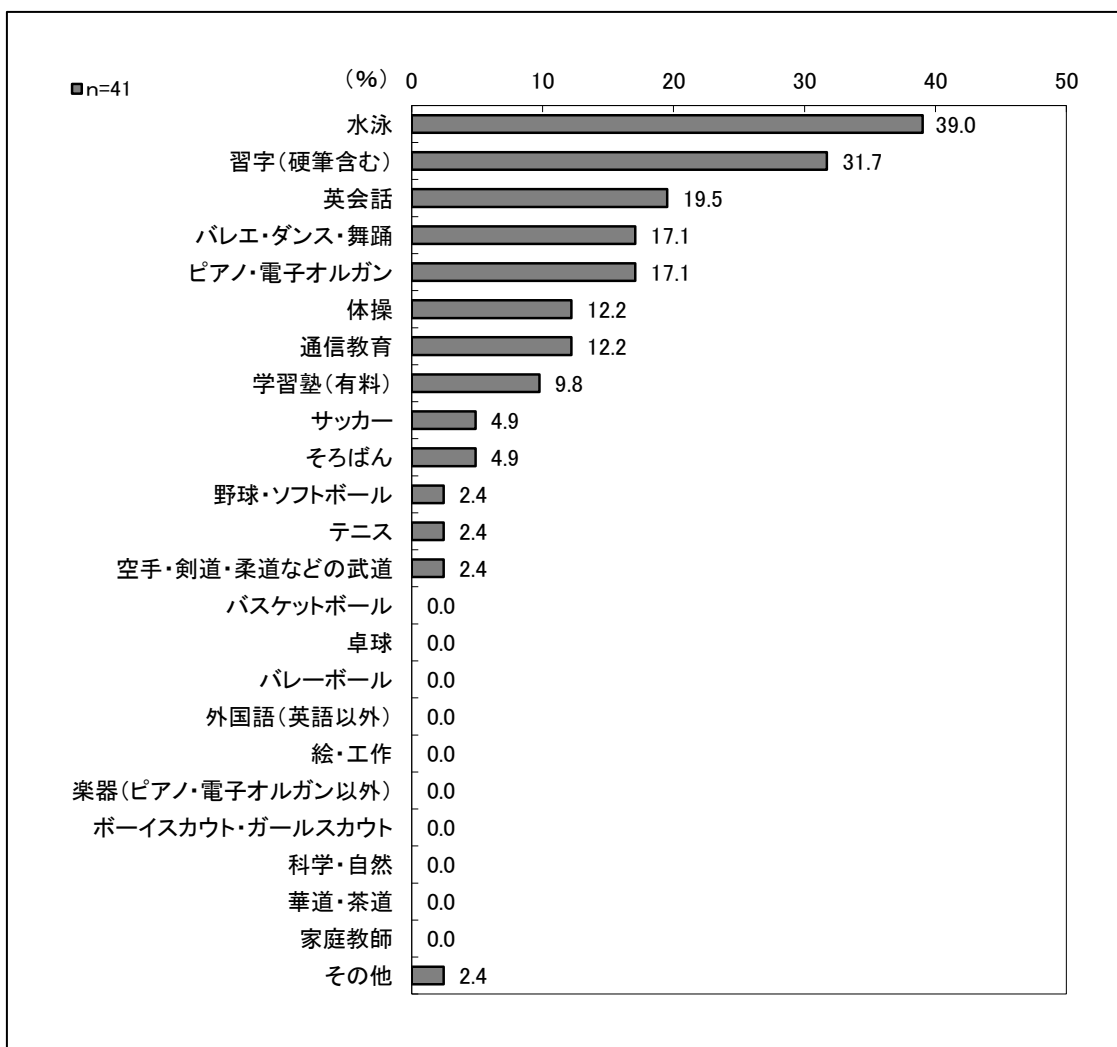
問 15-1 習い事の種類について、あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)【複数回答】



●「水泳」が第1位。

行っている習い事については、「水泳」(39.0%)が第1位、次いで「習字(硬筆含む)」(31.7%)、「英会話」(19.5%)、「バレエ・ダンス・舞踊」・「ピアノ・電子オルガン」(同率 17.1%)、「体操」・「通信教育」(同率 12.2%)、「学習塾(有料)」(9.8%)、「サッカー」・「そろばん」(同率 4.9%)、「野球・ソフトボール」・「テニス」・「空手・剣道・柔道などの武道」(同率 2.4%)となっている。

図表 行っている習い事(全体/複数回答)



図表 行っている習い事

(全体・世帯構成・ひとり親・母親の就労状況・世帯収入—上位第3位／複数回答)

(単位：％)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		水泳 39.0	習字（硬筆含む） 31.7	英会話 19.5
世帯構成	二世帯世帯	水泳 44.4	習字（硬筆含む） 29.6	英会話 18.5
	三世帯世帯	習字（硬筆含む） 35.7	水泳／ピアノ・電子オルガン 28.6	
ひとり親	母子・父子家庭	水泳／野球・ソフトボール／英会話／習字（硬筆含む） 100.0		
	それ以外	水泳 37.5	習字（硬筆含む） 30.0	バレエ・ダンス・舞踊 ／英会話 17.5
母親の就労状況	働いている	水泳 42.1	習字（硬筆含む） 31.6	英会話／ピアノ・電子 オルガン 18.4
	働いていない	バレエ・ダンス・舞踊／英会話／習字（硬筆含む）／通信教育 33.3		
世帯収入	400 万円未満	水泳 55.6	習字（硬筆含む） 44.4	体操／野球・ソフトボール 11.1
	400～600 万円 未満	水泳 37.5	習字（硬筆含む） 31.3	ピアノ・電子オルガン 25.0
	600～800 万円 未満	水泳 40.0	英会話 30.0	習字（硬筆含む）／学 習塾（有料） 30.0
	800 万円以上	体操 40.0	ピアノ・電子オルガン 40.0	水泳／バレエ・ダン ス・舞踊／英会話／そ ろばん／習字（硬筆含 む）／通信教育 20.0

(15) 負担が大きいと感じている教育費

問 16 お子さんの教育にかかる経費について、負担が大きいと感じているものはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)【複数回答】

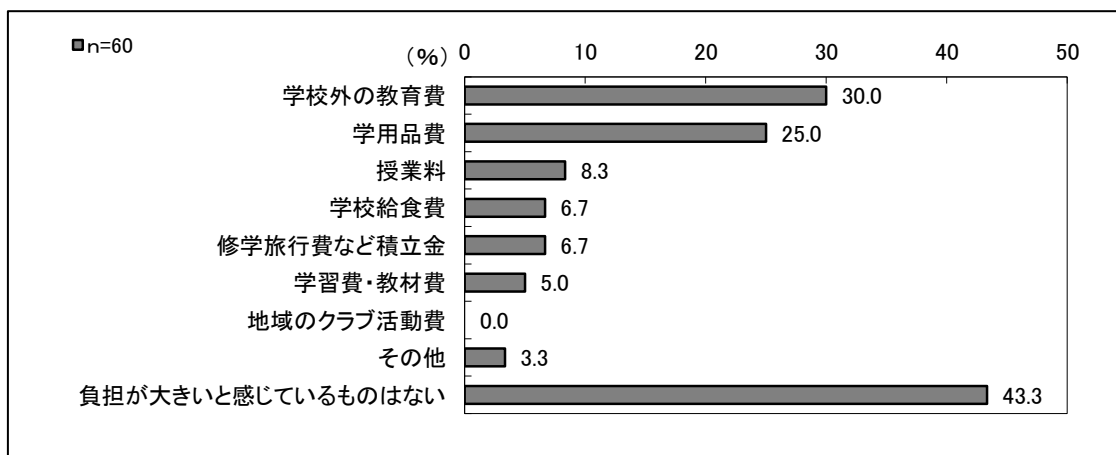


- 「学校外の教育費」が第1位。ただし、「負担が大きいと感じているものはない」は43.3%で最も多い。

負担が大きいと感じている教育費については、「学校外の教育費」(30.0%)が第1位となっており、次いで「学用品費」(25.0%)、「授業料」(8.3%)、「学校教育費」・「修学旅行費など積立金」(同率6.7%)、「学習費・教材費」(5.0%)となっている。なお、「負担が大きいと感じているものはない」は43.3%となっている。

世帯収入でみると、400～600万円未満では「学用品費」が第1位となっているのに対し、それ以外は「学校外の教育費」が第1位となっている。

図表 負担が大きいと感じている教育費（全体／複数回答）



図表 負担が大きいと感じている教育費

(全体・世帯構成・ひとり親・母親の就労状況・世帯収入—上位第3位／複数回答)

(単位：％)

		第1位	第2位	第3位
全体		学校外の教育費 30.0	学用品費 25.0	授業料 8.3
世帯構成	二世帯世帯	学校外の教育費 36.8	学用品費 18.4	修学旅行費など積立金 10.5
	三世帯世帯	学用品費 36.4	授業料／学校外の教育費 18.2	
ひとり親	母子・父子家庭	学用品費／学校外の教育費 100.0		
	それ以外	学校外の教育費 28.8	学用品費 23.7	授業料 8.5
母親の就労状況	働いている	学校外の教育費 32.0	学用品費 22.0	授業料／修学旅行費など積立金 8.0
	働いていない	学用品費 40.0	学校給食費／学校外の教育費 20.0	
世帯収入	400万円未満	学校外の教育費 43.8	学用品費 37.5	授業料 25.0
	400～600万円未満	学用品費 25.0	学校外の教育費 16.7	学習費・教材費／学校給食費 8.3
	600～800万円未満	学校外の教育費 25.0	学用品費 16.7	
	800万円以上	学校外の教育費 66.7	授業料 16.7	

(16) 子どもに受けさせたい教育の段階

問 17 あなたのご家庭では、お子さんにどの段階までの教育を受けさせたいですか。A～Cについて、あてはまるものに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

- 「経済的に受けさせられない」は「短大・高専・専門学校」で2割弱、「大学・大学院」で2割強となっている。

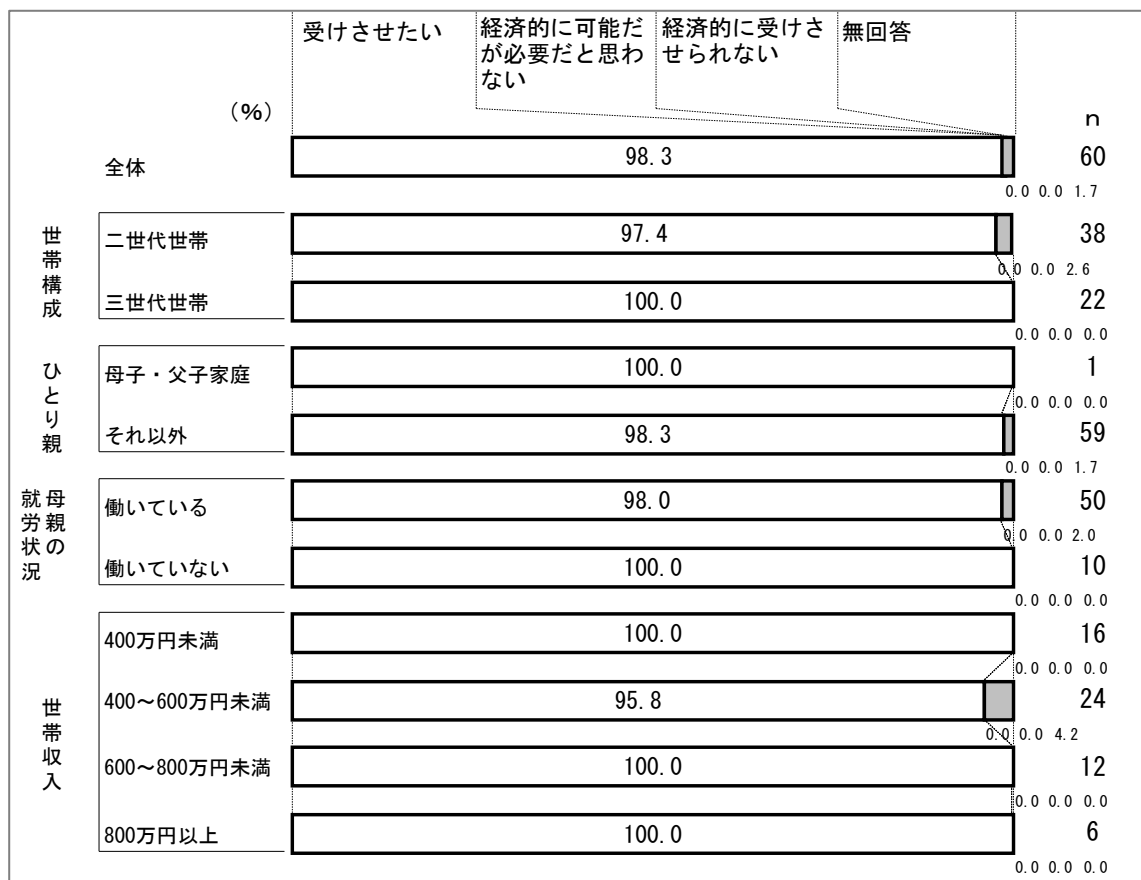
子どもに受けさせたい教育の段階は、高校についてみると、「受けさせたい」が98.3%となっている。

短大・高専・専門学校についてみると、「受けさせたい」は65.0%、「経済的に受けさせられない」が15.0%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が11.7%となっている。

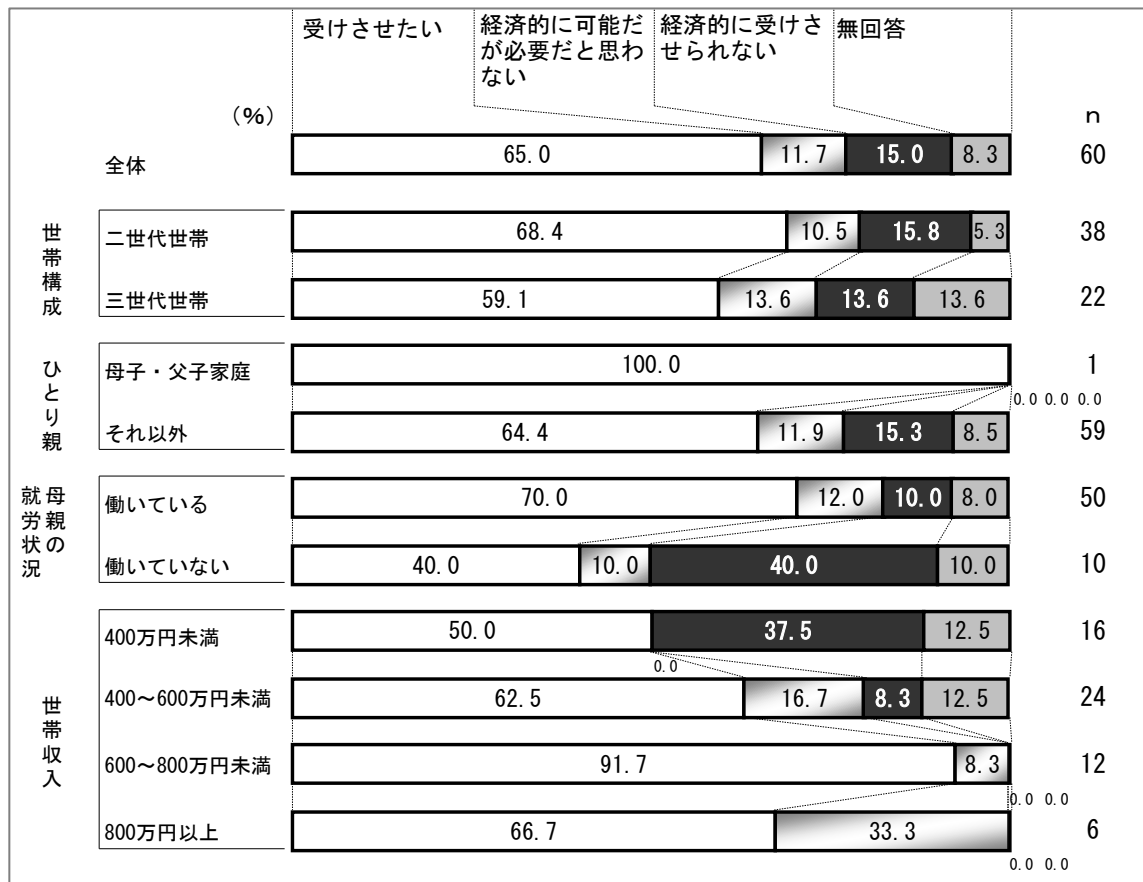
大学・大学院についてみると、「受けさせたい」は51.7%、「経済的に受けさせられない」が21.7%、「経済的に可能だが必要だと思わない」が18.3%となっている。

世帯収入でみると、400万円未満では、「経済的に受けさせられない」が短大・高専・専門学校で37.5%、大学・大学院で56.3%となっている。

図表 A 高校



図表 B 短大・高専・専門学校



図表 C 大学・大学院

		受けさせたい	経済的に可能だが 必要だと思わない	経済的に受け させられない	無回答	n
(%)						
全体		51.7	18.3	21.7	8.3	60
世帯構成	二世帯世帯	57.9	15.8	21.1	5.3	38
	三世帯世帯	40.9	22.7	22.7	13.6	22
ひとり親	母子・父子家庭	100.0				1
	それ以外	52.5	18.6	20.3	8.5	59
就労状況	働いている	58.0	18.0	16.0	8.0	50
	働いていない	20.0	20.0	50.0	10.0	10
世帯収入	400万円未満	25.0	6.3	56.3	12.5	16
	400～600万円未満	50.0	29.2	12.5	8.3	24
	600～800万円未満	75.0	16.7	8.3	0.0	12
	800万円以上	83.3	16.7	0.0	0.0	6

3 子どもとの関係について

(1) 子どもとの関係

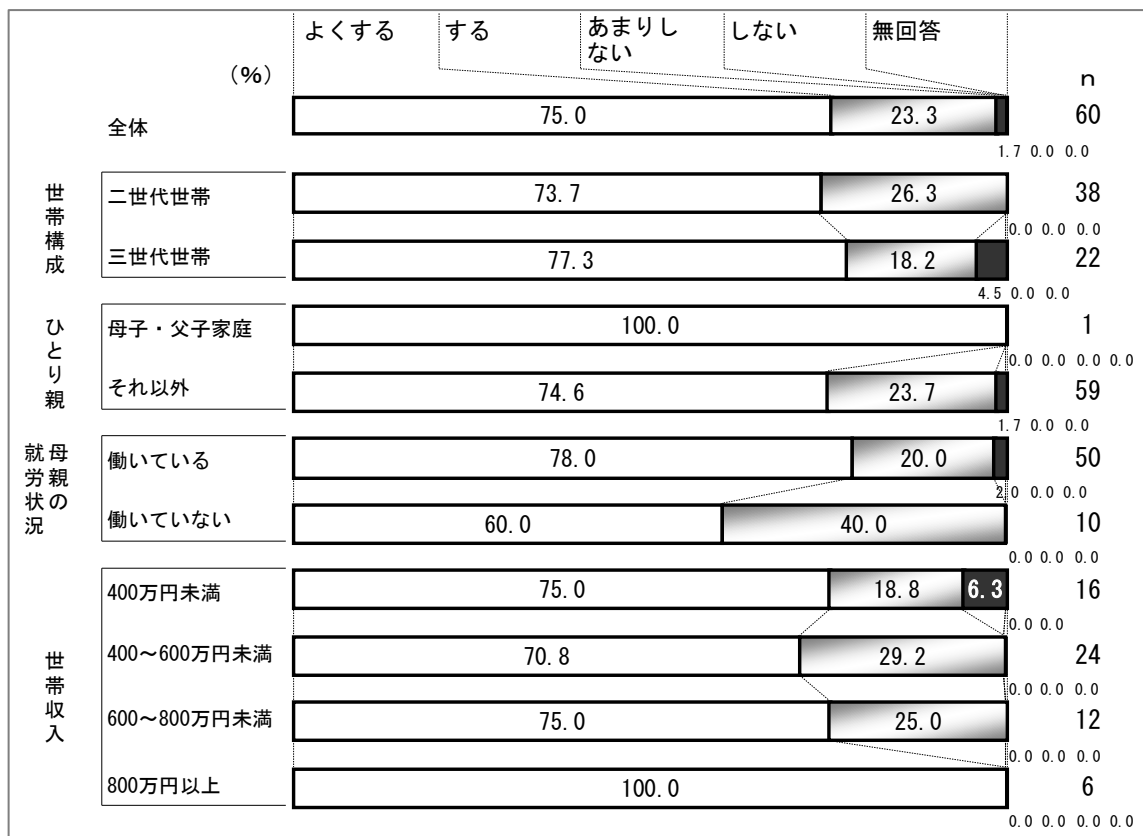
問 18 あなたとお子さんの関係について、最も近いもの1つに○をつけてください。(それぞれ1つに○)



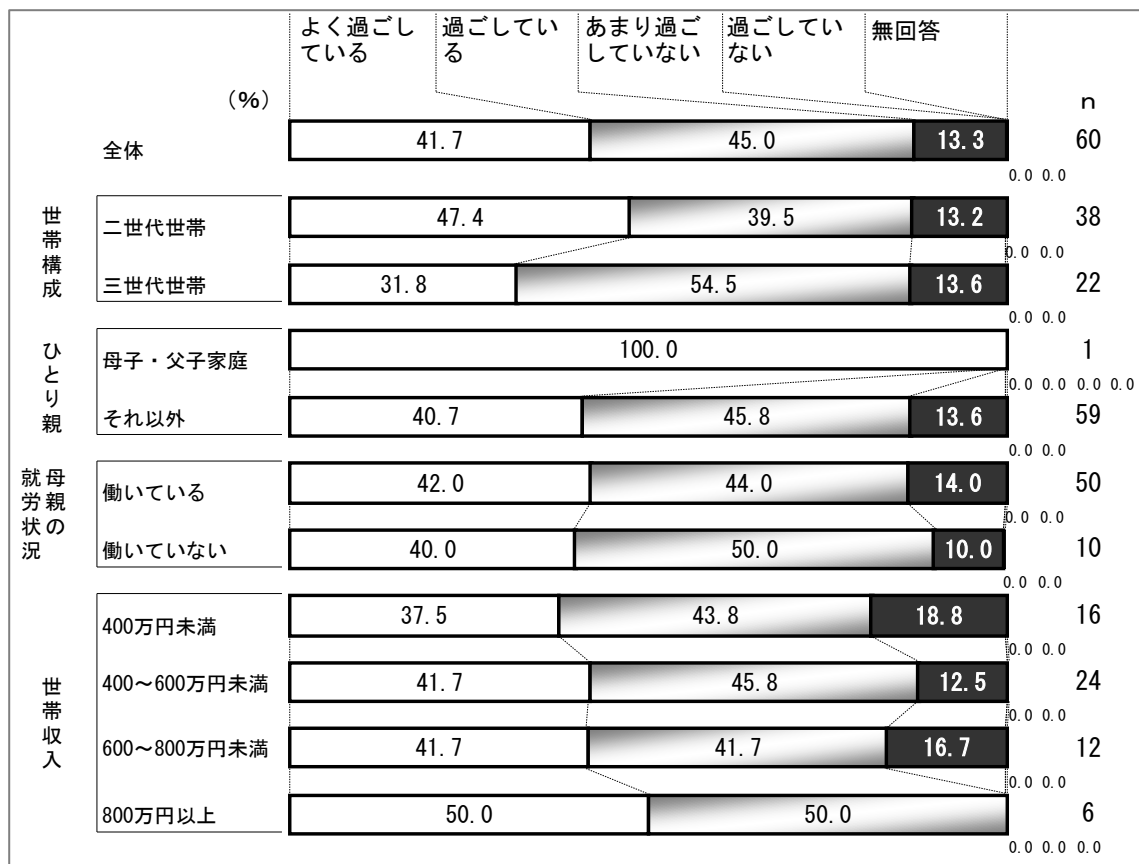
- 「子どもを信頼しているか」では「あまり信頼していない」が5.0%を占める。

子どもとの関係について、「子どもと十分時間を過ごしているか」では「あまり過ごしていない」が13.3%を占めるほか、「子どもの将来の夢を知っているか」では「あまり知らない」が20.0%、「知らない」が3.3%を占める。また、「子どもを信頼しているか」では「あまり信頼していない」が5.0%となっている。

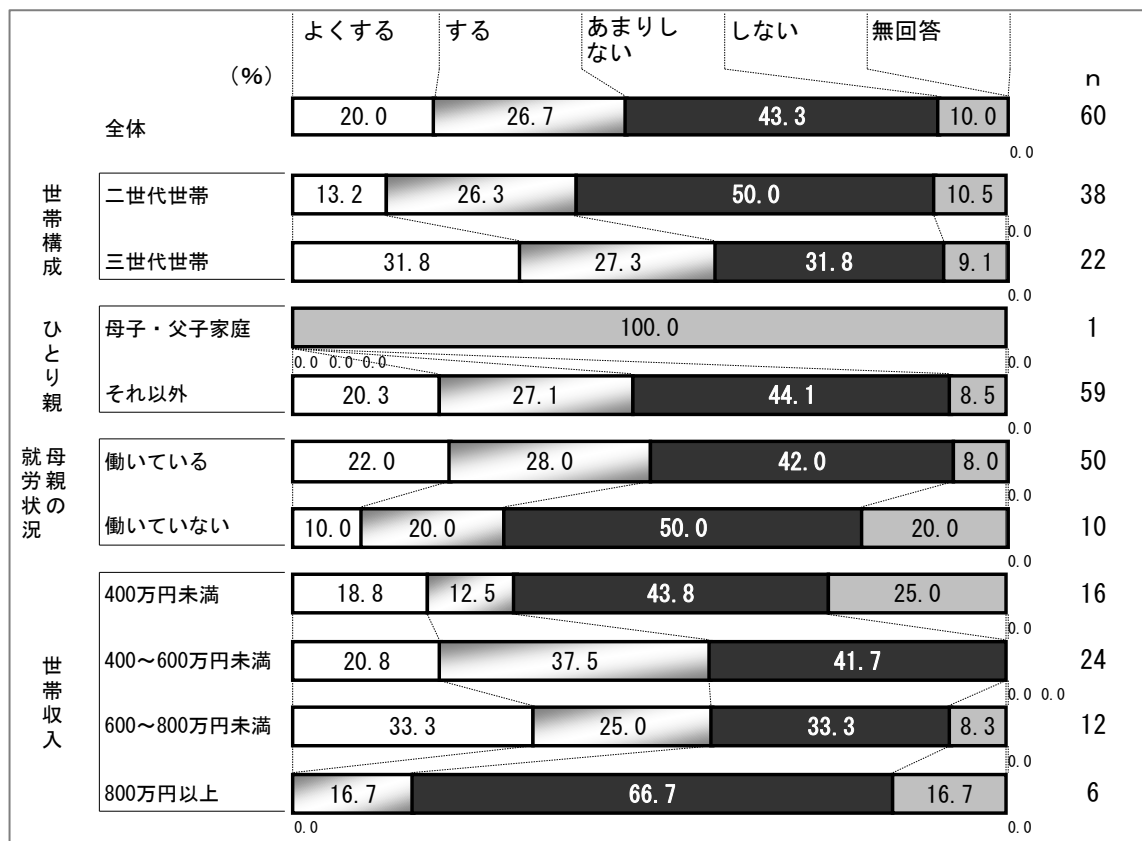
図表 A 子どもとよく会話をするか



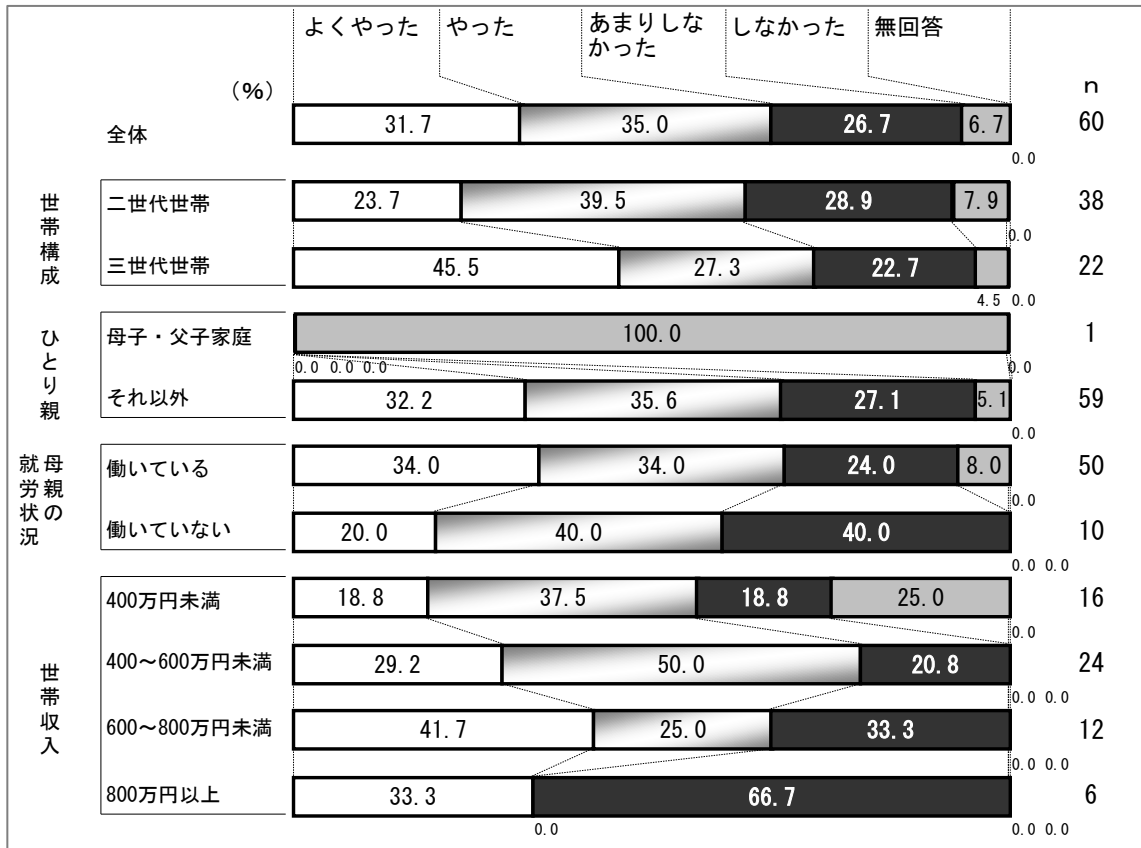
図表 B 子どもと十分時間を過ごしているか



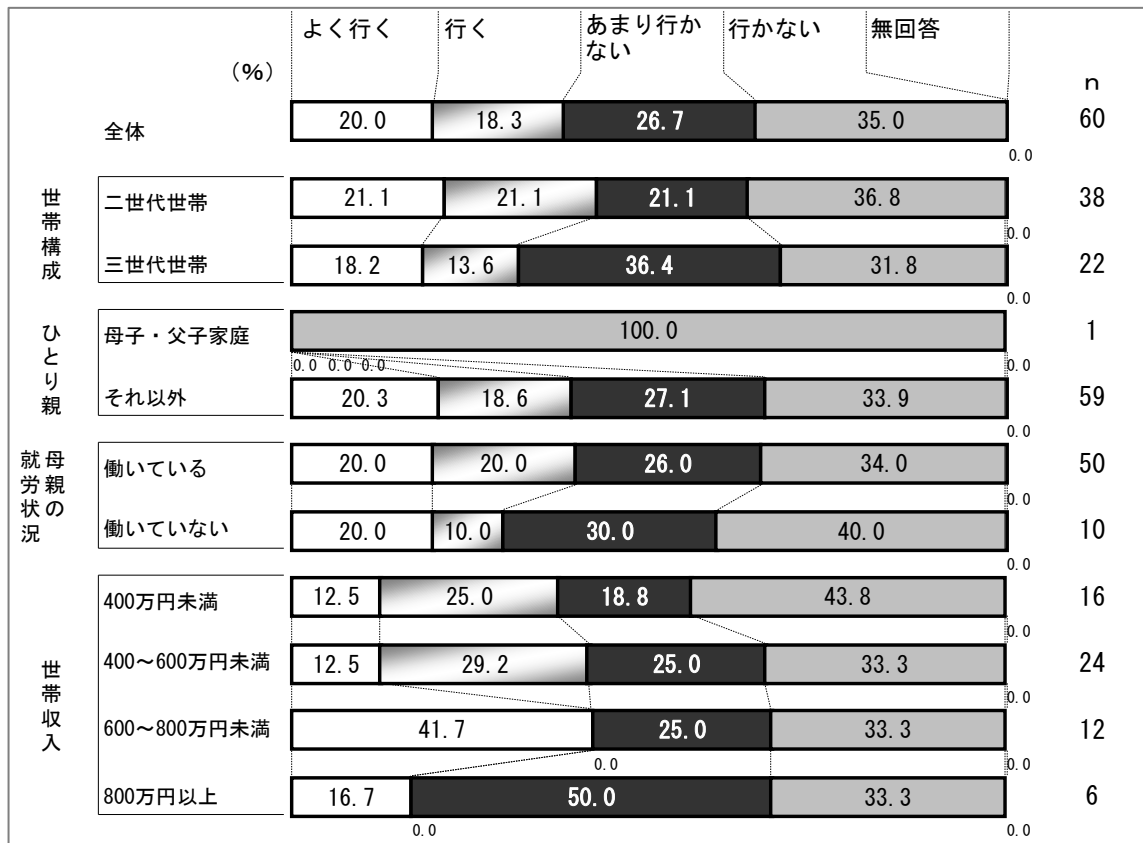
図表 C 子どもと読んだ本の感想をはなし合うか



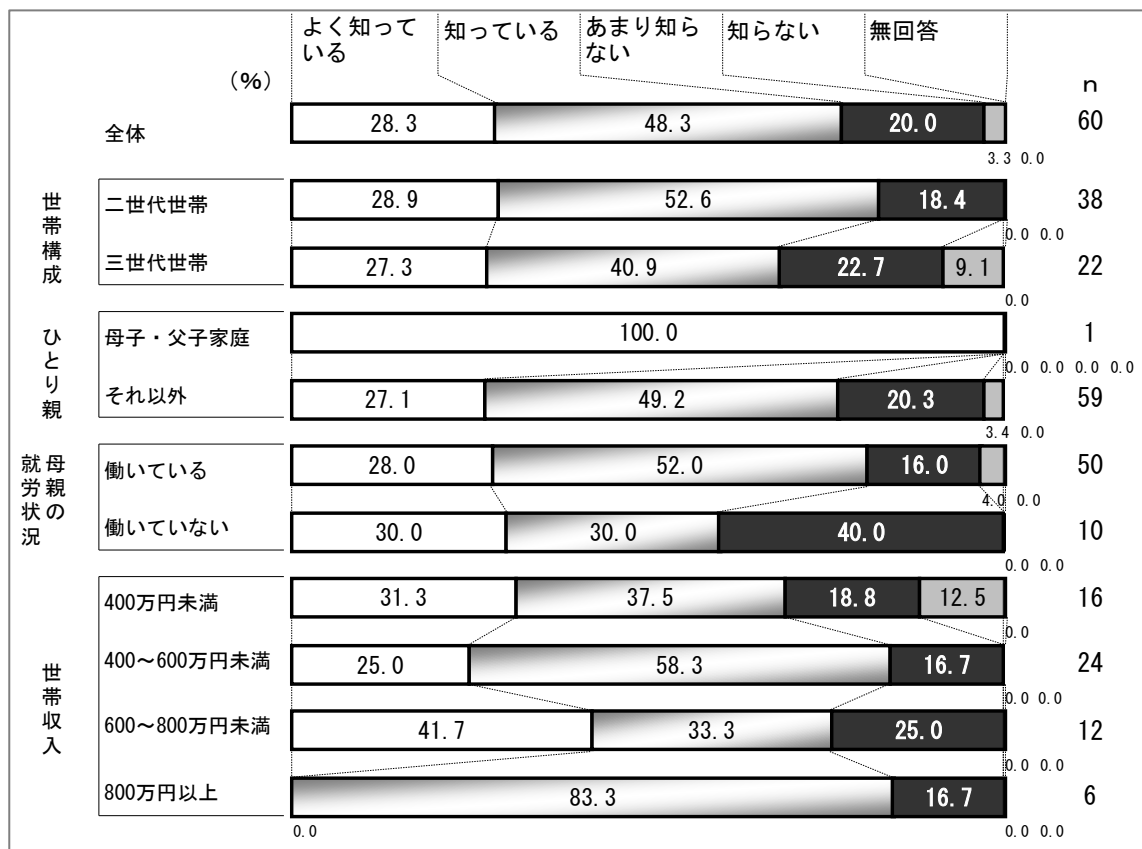
図表 D 小さいころ絵本の読み聞かせをしたか



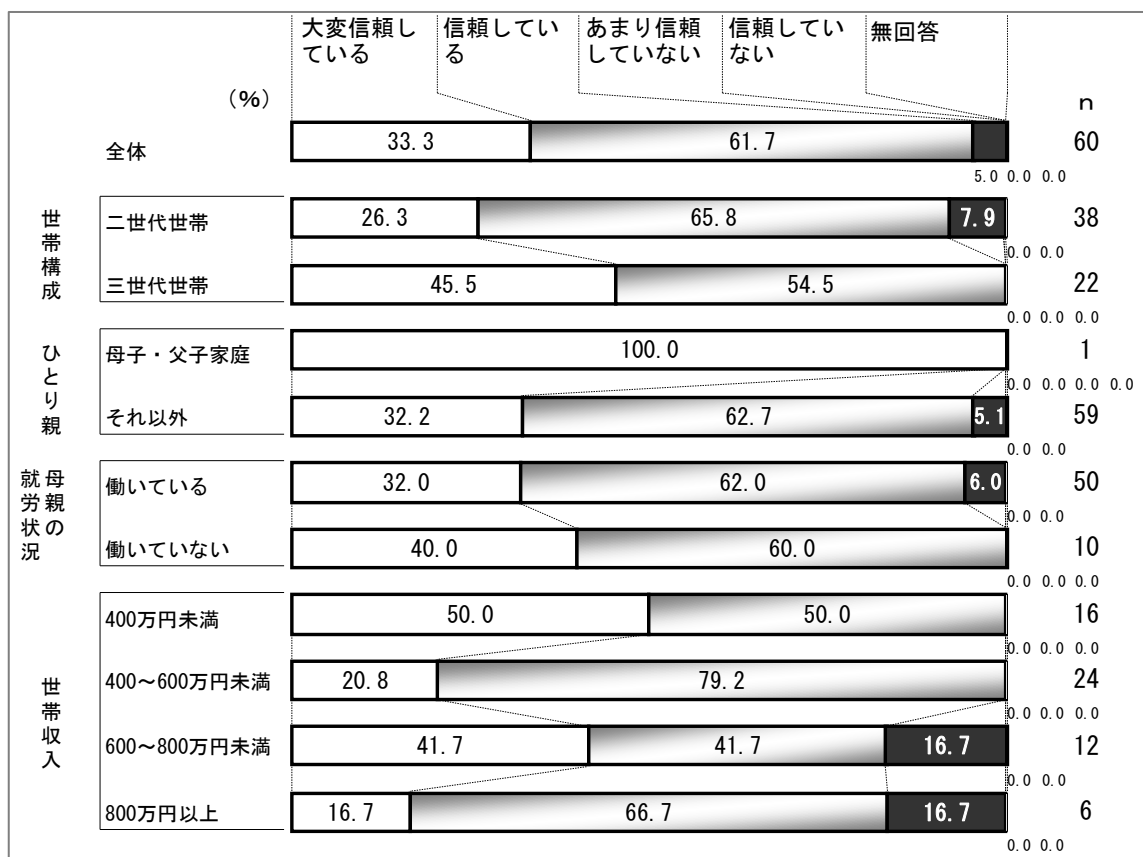
図表 E 子どもと一緒に図書館に行くか



図表 F 子どもの将来の夢を知っているか



図表 G 子どもを信頼しているか



4 地域や友人・知人、社会との関係について

(1) 回答者自身にあてはまること

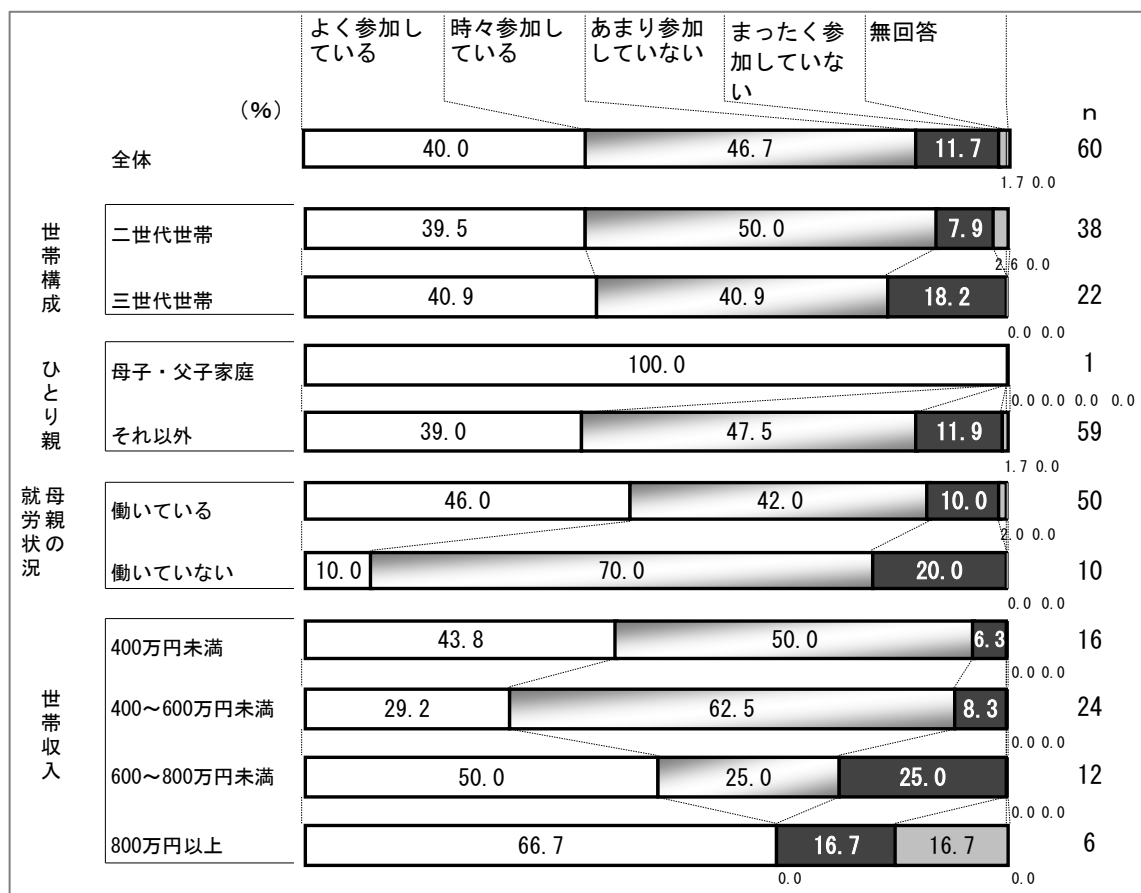
問 19 次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。最も近いもの1つに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

- 「悩みを相談したり頼ったりできる親戚はいるか」では“いない”が2割を占める。また、「悩みを相談したり頼ったりできる友人・知人はいるか」では「あまりいない」が2割弱を占めている。

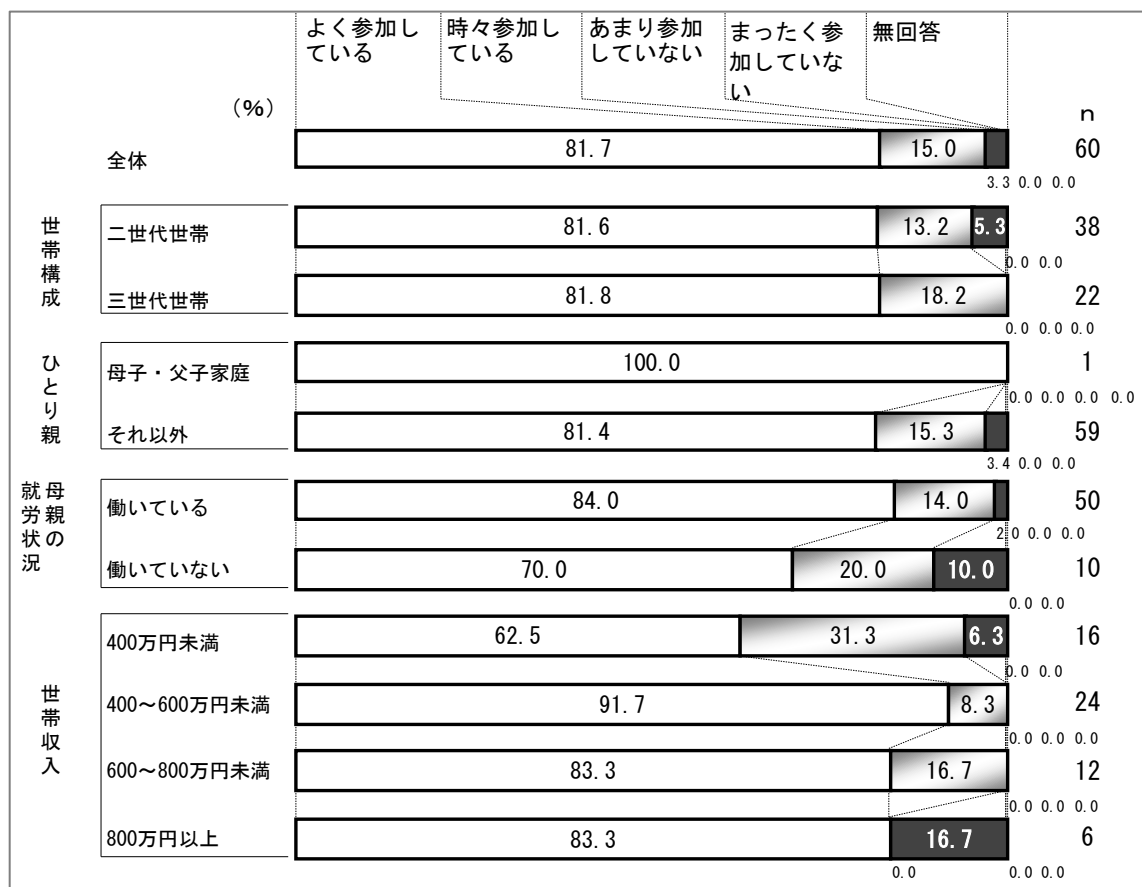
回答者自身にあてはまることについて、「悩みを相談したり頼ったりできる親戚はいるか」では、「あまりいない」(18.3%)と「まったくいない」(1.7%)を合わせた“いない”が20.0%となっている。

また、「悩みを相談したり頼ったりできる友人・知人はいるか」では「あまりいない」が15.0%を占めている。

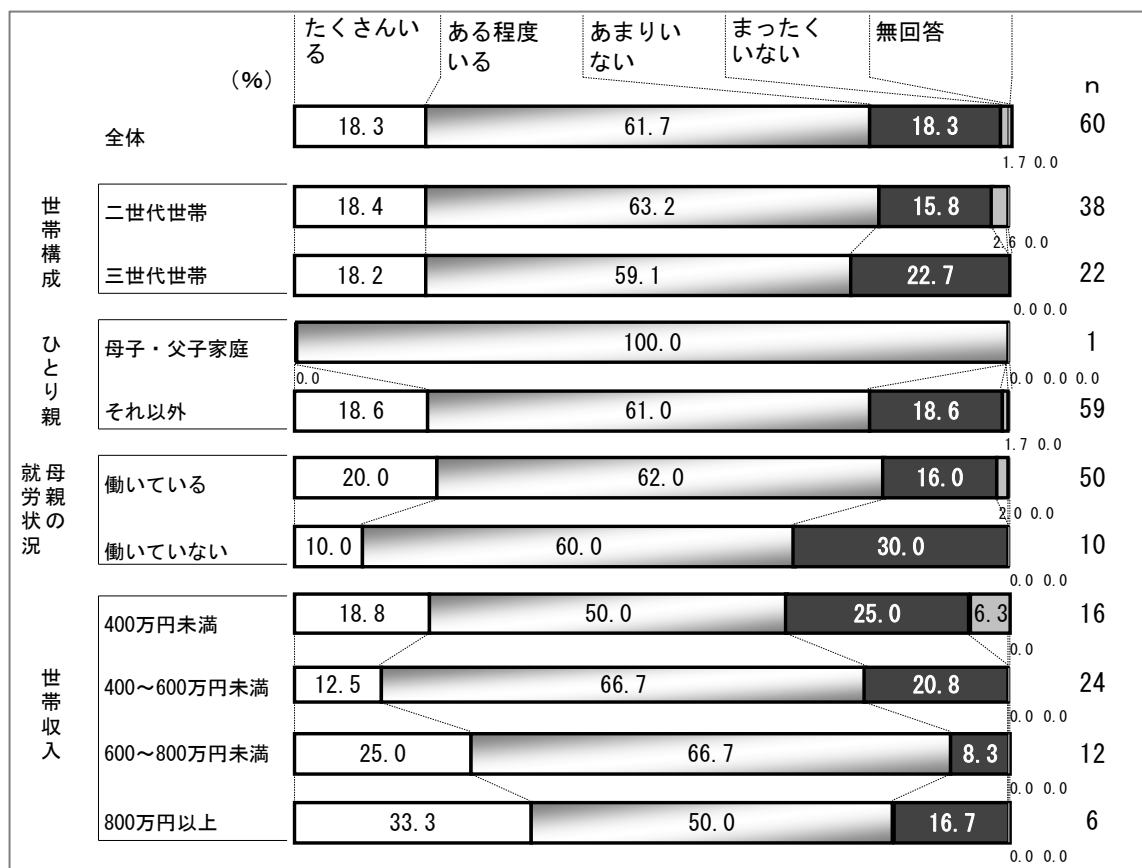
図表 A 地域の行事に参加しているか



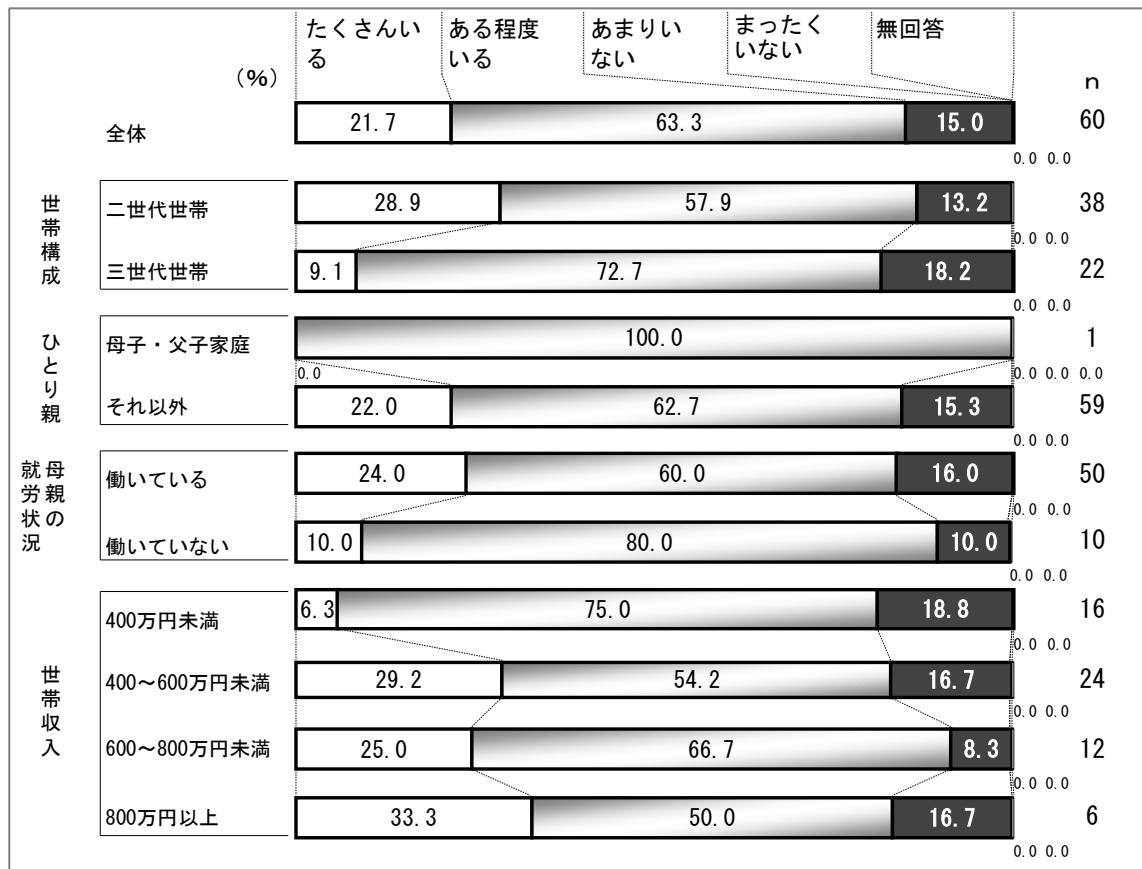
図表 B 学校の行事に参加しているか



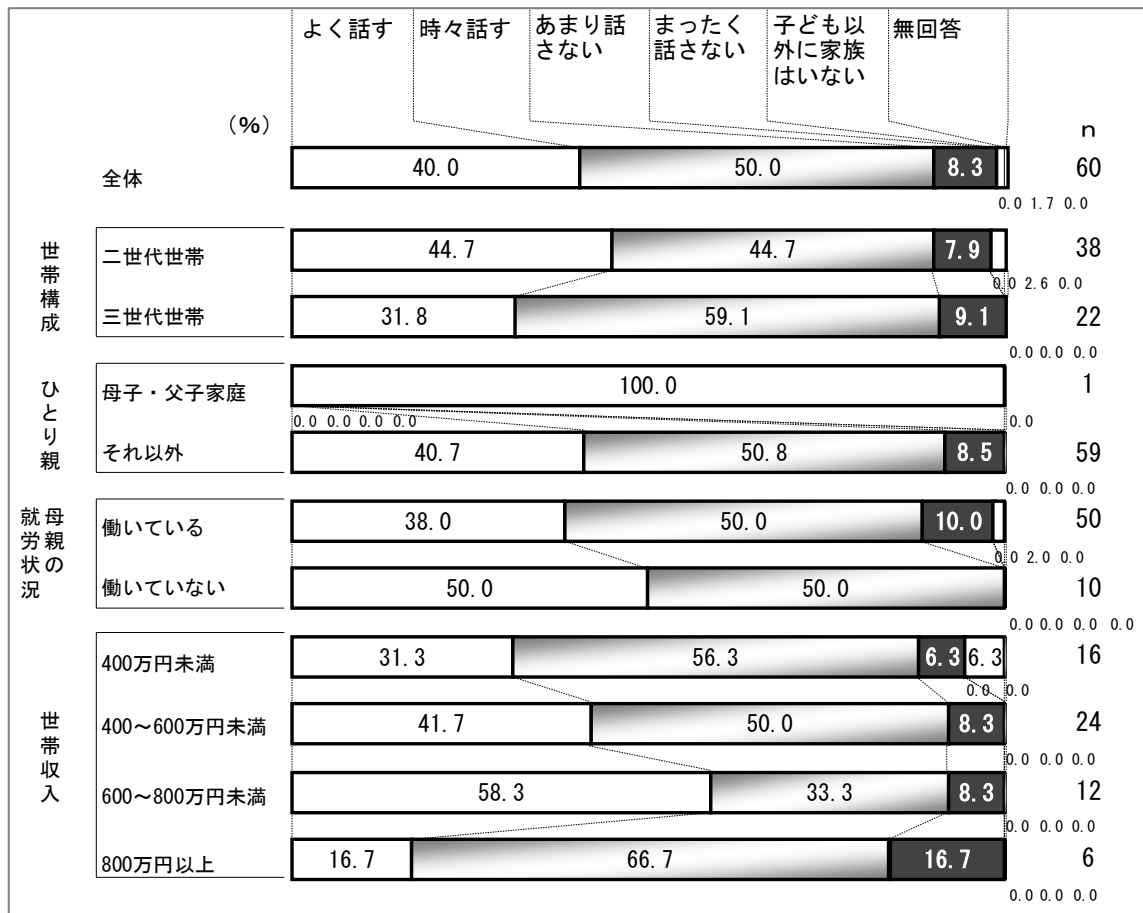
図表 C 悩みを相談したり頼ったりできる親戚はいるか



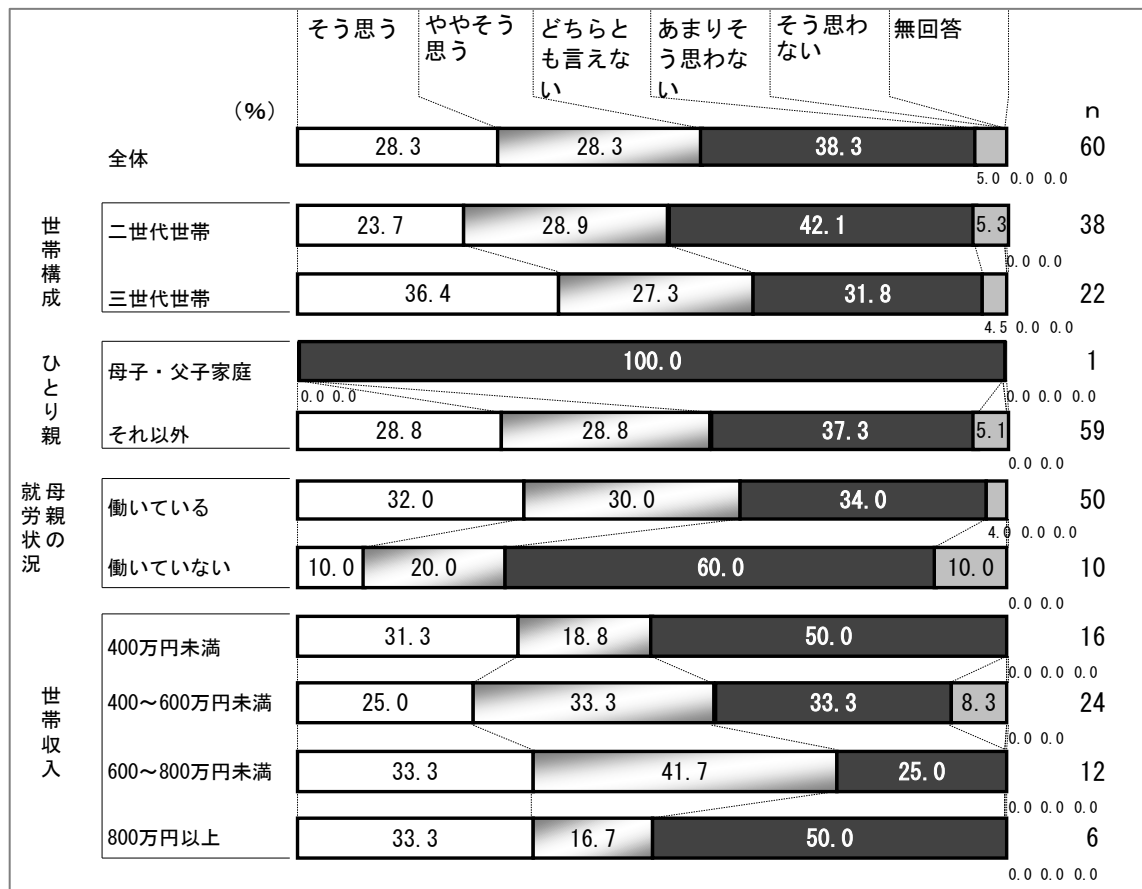
図表 D 悩みを相談したり頼ったりできる友人・知人はいるか



図表 E 家族で子育てや教育についてよく話をするか



図表 F 地域の人々は互いに協力すべきだと思うか



(2) 子どもを預かってくれる人の有無

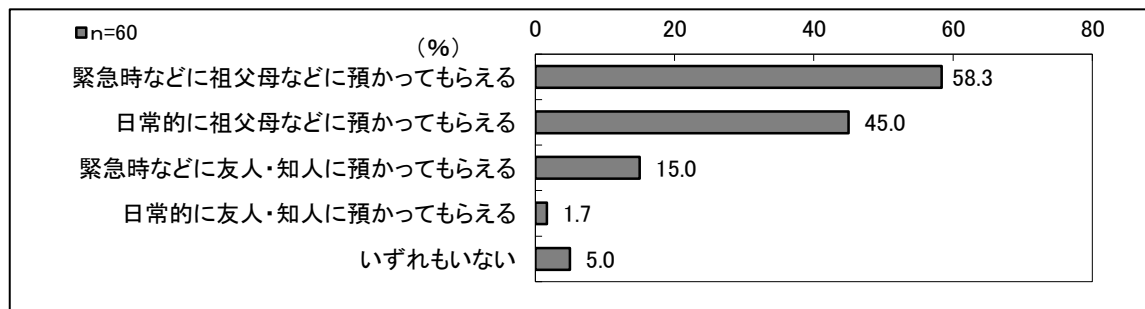
問 20 お子さんを預かってもらえる人の有無について教えてください。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)【複数回答】



- 「緊急時などに祖父母などに預かってもらえる」が第1位。

子どもを預かってくれる人の有無については、「緊急時などに祖父母などに預かってもらえる」(58.3%)が第1位となっており、次いで「日常的に祖父母などに預かってもらえる」(45.0%)、「緊急時などに友人・知人に預かってもらえる」(15.0%)、「日常的に友人・知人に預かってもらえる」(1.7%)となっている。なお、「いずれもない」は5.0%となっている。

図表 子どもを預かってくれる人の有無(全体/複数回答)



図表 子どもを預かってくれる人の有無

(全体・世帯構成・ひとり親・母親の就労状況・世帯収入—上位第3位／複数回答)

(単位：％)

		第1位	第2位	第3位
全体		緊急時などに祖父母などに預かってもらえる 58.3	日常的に祖父母などに預かってもらえる 45.0	緊急時などに友人・知人に預かってもらえる 15.0
世帯構成	二世帯世帯	緊急時などに祖父母などに預かってもらえる 63.2	日常的に祖父母などに預かってもらえる 39.5	緊急時などに友人・知人に預かってもらえる 15.8
	三世帯世帯	日常的に祖父母などに預かってもらえる 54.5	緊急時などに祖父母などに預かってもらえる 50.0	緊急時などに友人・知人に預かってもらえる 13.6
ひとり親	母子・父子家庭	日常的に祖父母などに預かってもらえる 100.0		
	それ以外	緊急時などに祖父母などに預かってもらえる 59.3	日常的に祖父母などに預かってもらえる 44.1	緊急時などに友人・知人に預かってもらえる 15.3
母親の就労状況	働いている	緊急時などに祖父母などに預かってもらえる 58.0	日常的に祖父母などに預かってもらえる 46.0	緊急時などに友人・知人に預かってもらえる 14.0
	働いていない	緊急時などに祖父母などに預かってもらえる 60.0	日常的に祖父母などに預かってもらえる 40.0	緊急時などに友人・知人に預かってもらえる 20.0
世帯収入	400万円未満	日常的に祖父母などに預かってもらえる 56.3	緊急時などに祖父母などに預かってもらえる 37.5	日常的に友人・知人に預かってもらえる／緊急時などに友人・知人に預かってもらえる 6.3
	400～600万円未満	緊急時などに祖父母などに預かってもらえる 66.7	日常的に祖父母などに預かってもらえる 29.2	緊急時などに友人・知人に預かってもらえる 12.5
	600～800万円未満	日常的に祖父母などに預かってもらえる 75.0	緊急時などに祖父母などに預かってもらえる 50.0	緊急時などに友人・知人に預かってもらえる 25.0
	800万円以上	緊急時などに祖父母などに預かってもらえる 83.3	日常的に祖父母などに預かってもらえる／緊急時などに友人・知人に預かってもらえる	33.3

5 健康について

(1) 回答者と子どもの健康状態について

問 21 あなたとお子さんの健康状態についてお伺いします。最も近いもの1つに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

- 回答者の健康状態については、“良い”が8割弱、“悪い”は1割未満となっている。子どもの健康状態については、“良い”が9割以上を占める。

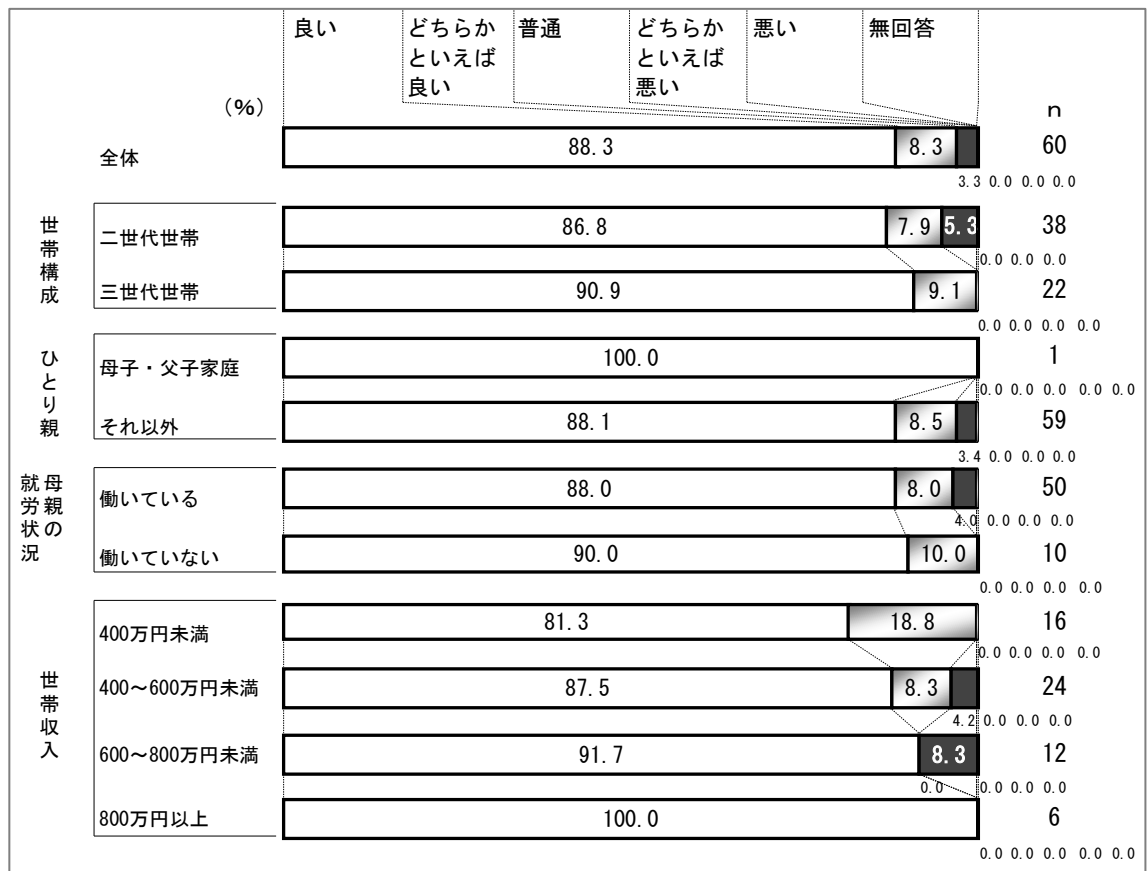
回答者の健康状態については、「良い」(46.7%)と「どちらかといえば良い」(31.7%)を合わせた“良い”は78.4%、「どちらかといえば悪い」(5.0%)と「悪い」(0.0%)を合わせた“悪い”は5.0%、「普通」は16.7%となっている。

子どもの健康状態については、“良い”が96.6%、“悪い”が0.0%、「普通」は3.3%となっている。

図表 A 回答者の健康状態

		良い	どちらか といえば 良い	普通	どちらか といえば 悪い	悪い	無回答	n
(%)								
全体		46.7	31.7	16.7	5.0	0.0	0.0	60
世帯構成	二世帯世帯	44.7	34.2	18.4	2.6	0.0	0.0	38
	三世帯世帯	50.0	27.3	13.6	9.1	0.0	0.0	22
	母子・父子家庭	100.0						1
ひとり親	それ以外	45.8	32.2	16.9	5.1	0.0	0.0	59
就業状況	働いている	44.0	30.0	20.0	6.0	0.0	0.0	50
	働いていない	60.0	40.0					10
世帯収入	400万円未満	43.8	37.5	18.8	0.0	0.0	0.0	16
	400～600万円未満	41.7	33.3	25.0	0.0	0.0	0.0	24
	600～800万円未満	41.7	25.0	33.3	0.0	0.0	0.0	12
	800万円以上	66.7	33.3					6

図表 B 調査対象の子どもの健康状態



(2) 回答者の心の状態について

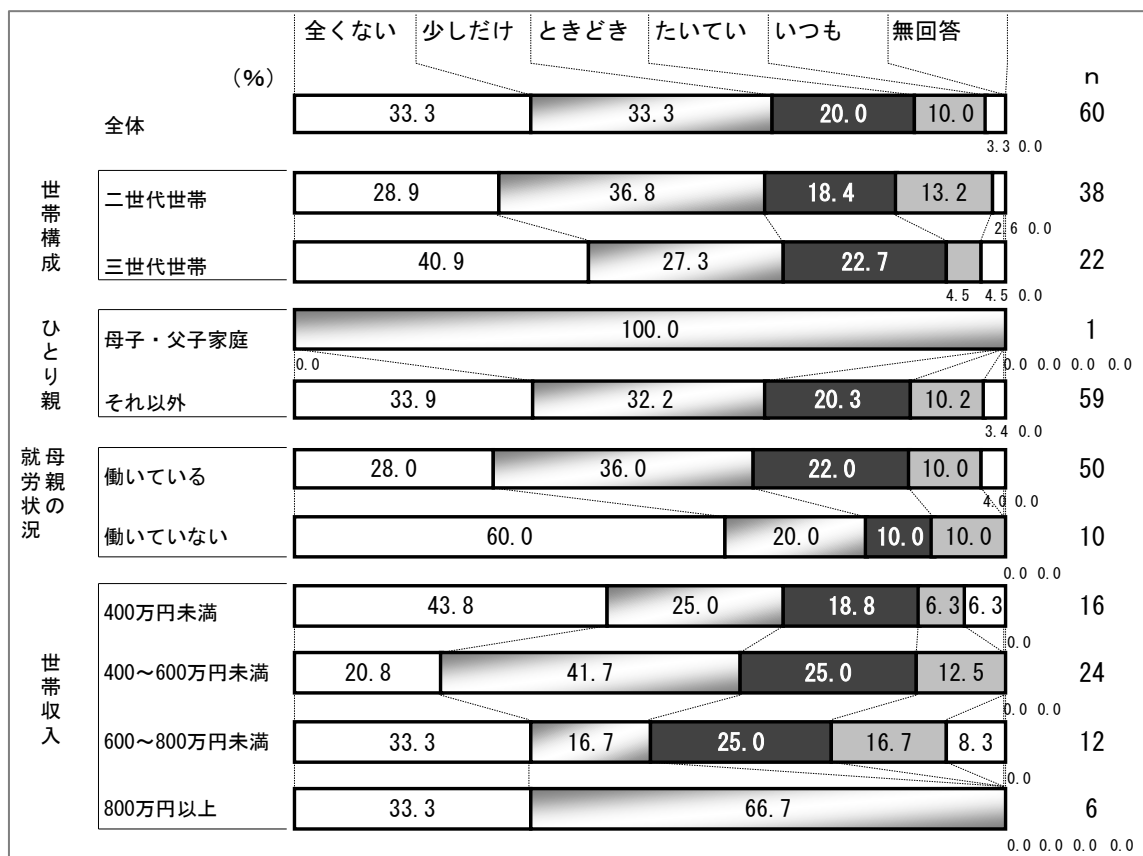
問 22 あなたの心の状態についてお聞きます。過去 30 日の間にどれくらいの頻度で次のことがありましたか。A～Jについて、あてはまるものに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

- 「理由もなく疲れ切ったように感じた」、「神経過敏に感じた」、「ゆううつに感じた」は「全くない」の割合が5割以下となっている。

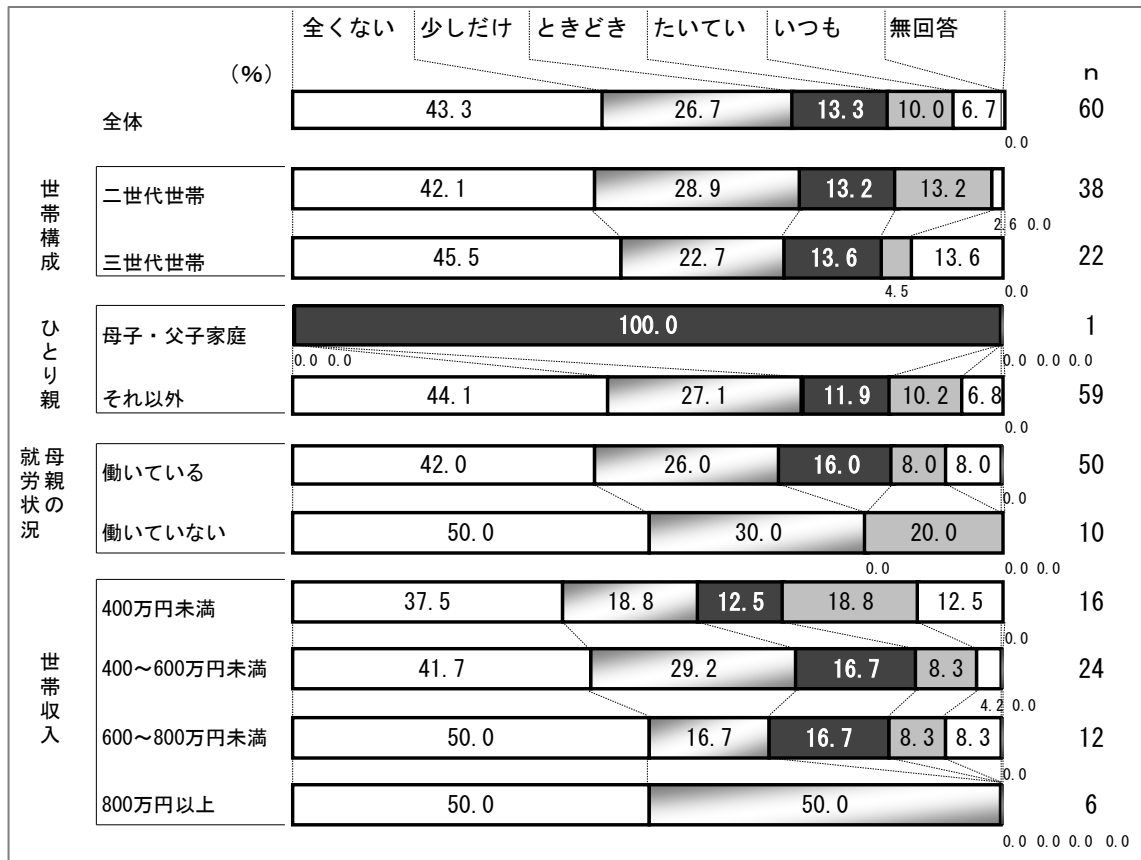
回答者の心の状態について、「全くない」の割合をみると、「理由もなく疲れ切ったように感じた」、「神経過敏に感じた」、「ゆううつに感じた」では5割以下となっている。

世帯構成でみると、「理由もなく疲れ切ったように感じた」では二世帯世帯では「全くない」が28.9%となっているのに対し、三世帯世帯では40.9%となっている。また、「ゆううつに感じた」では「全くない」が二世帯世帯では55.3%となっているのに対し、三世帯世帯では40.9%となっている。

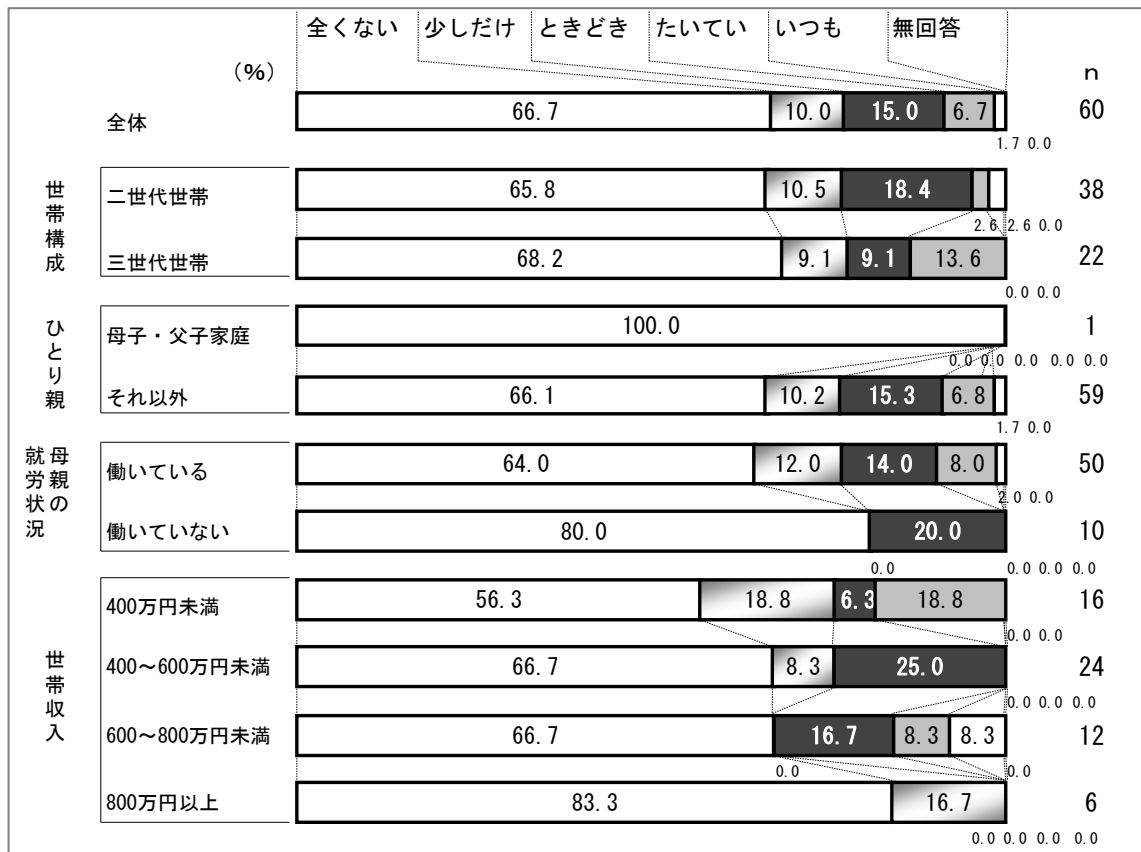
図表 A 理由もなく疲れ切ったように感じた



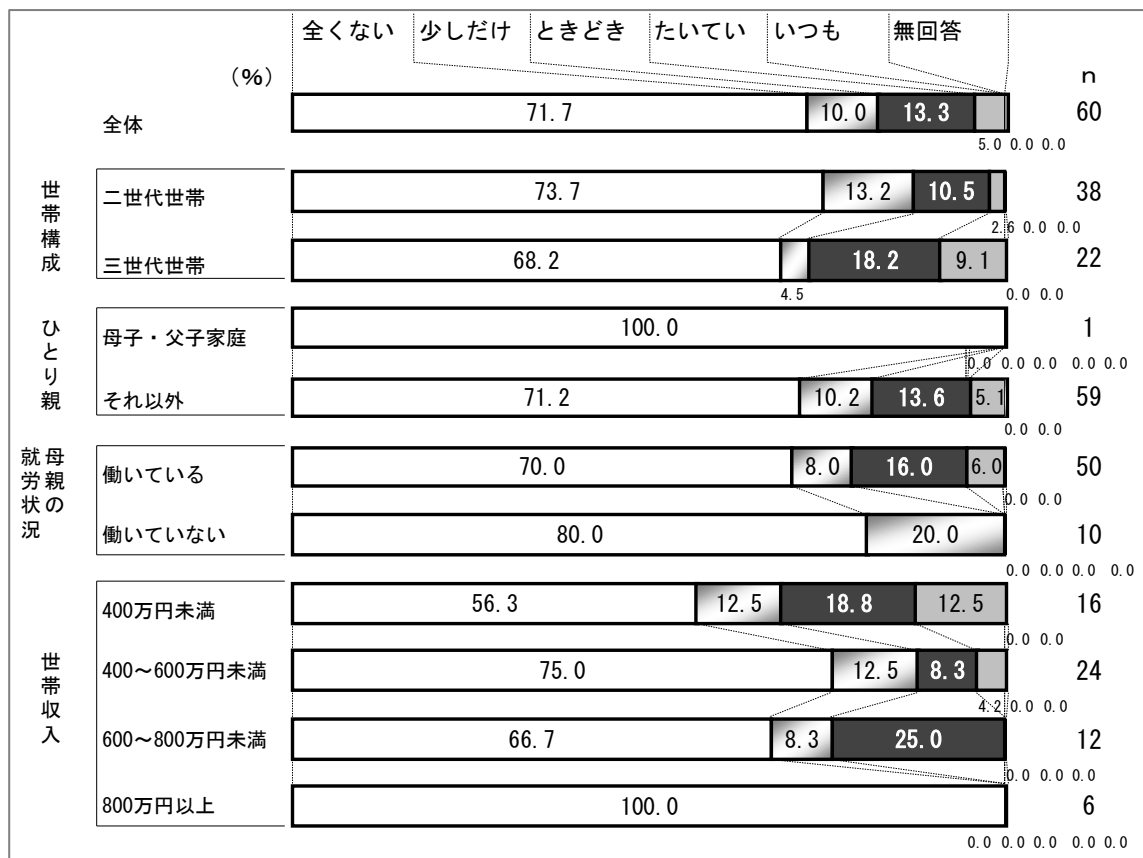
図表 B 神経過敏に感じた



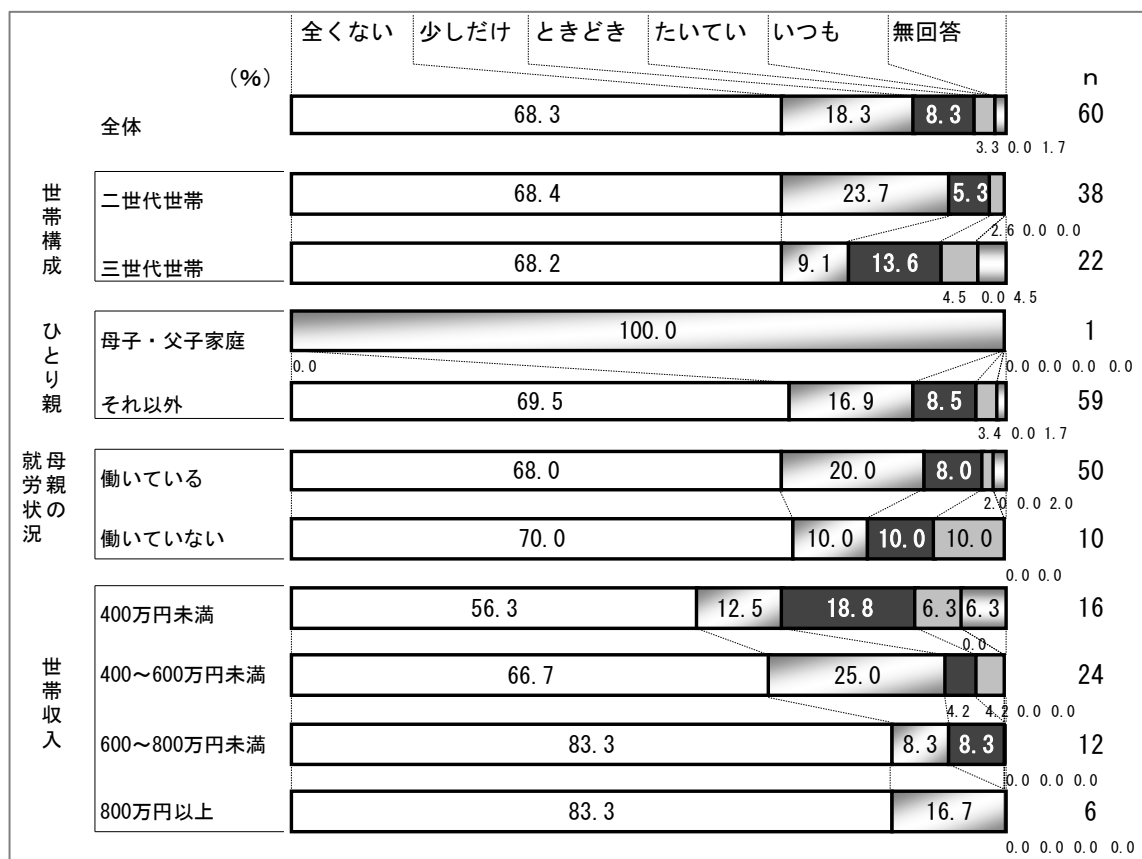
図表 C どうしても落ち着けないくらい神経過敏に感じた



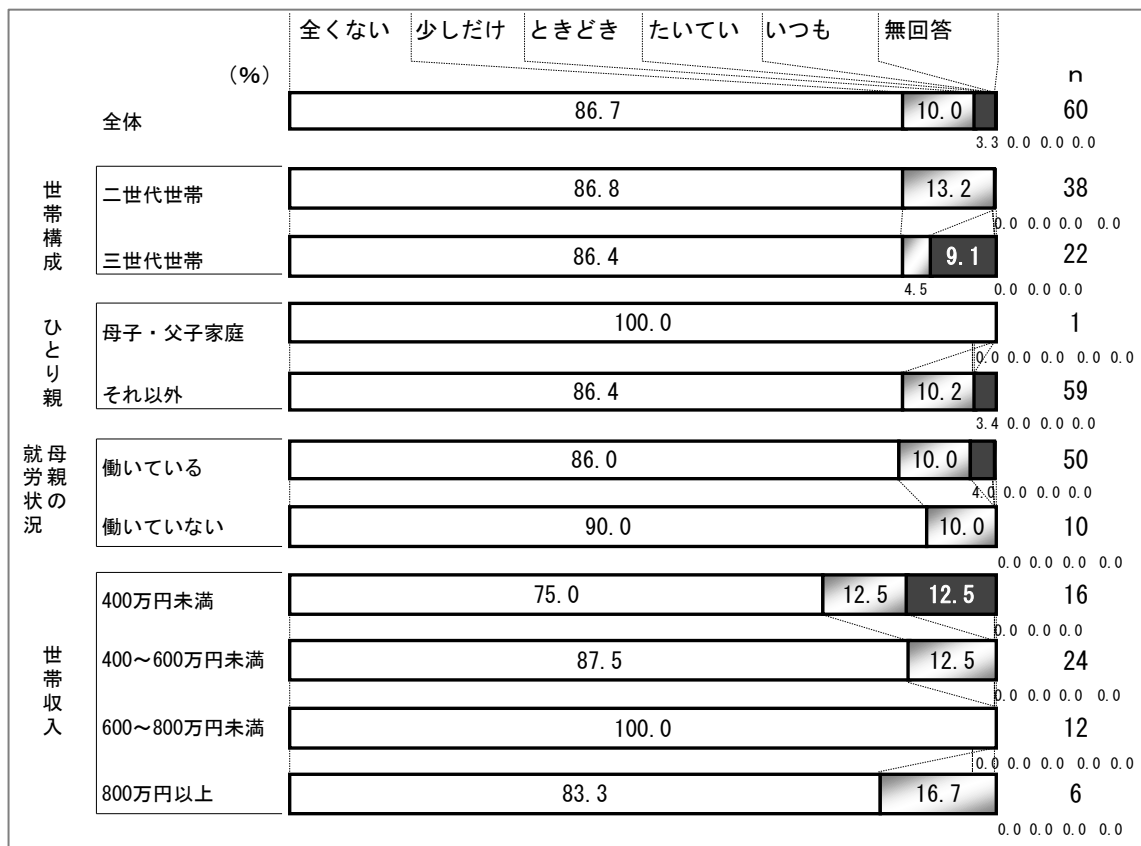
図表 D 絶望的だと感じた



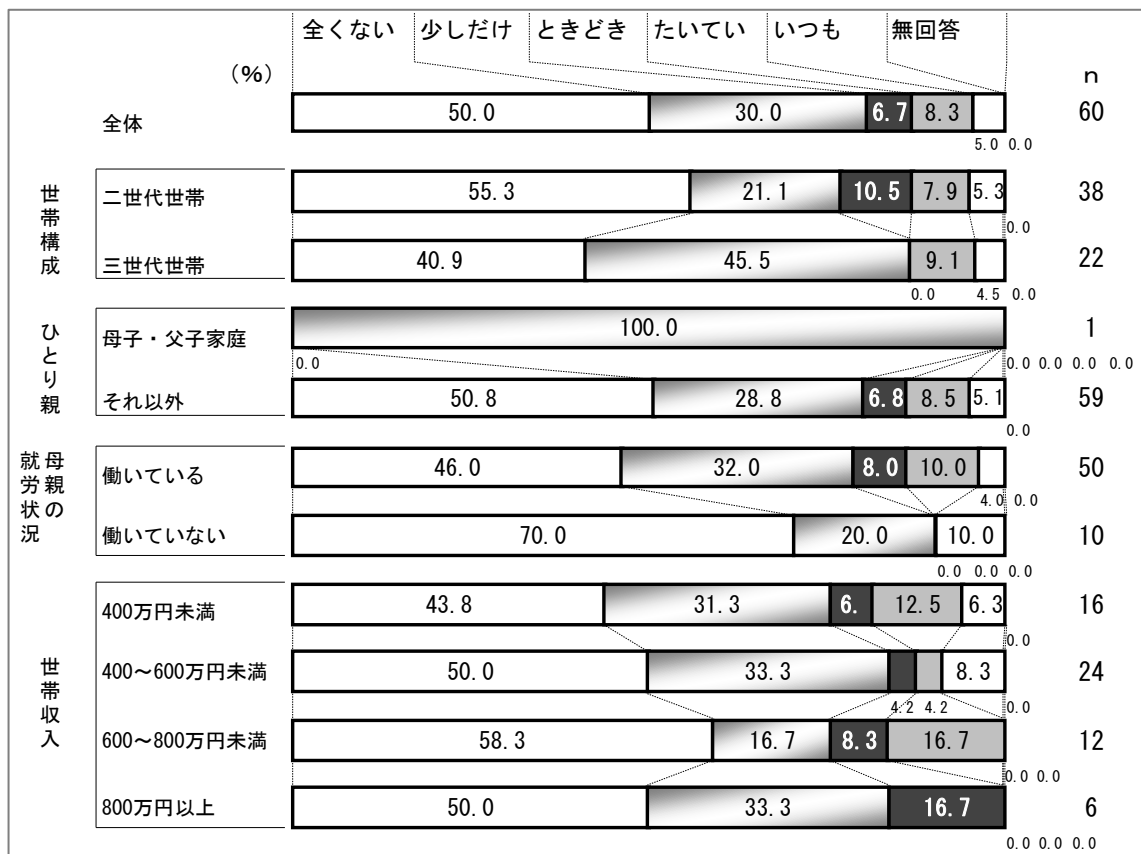
図表 E そわそわ落ち着かなく感じた



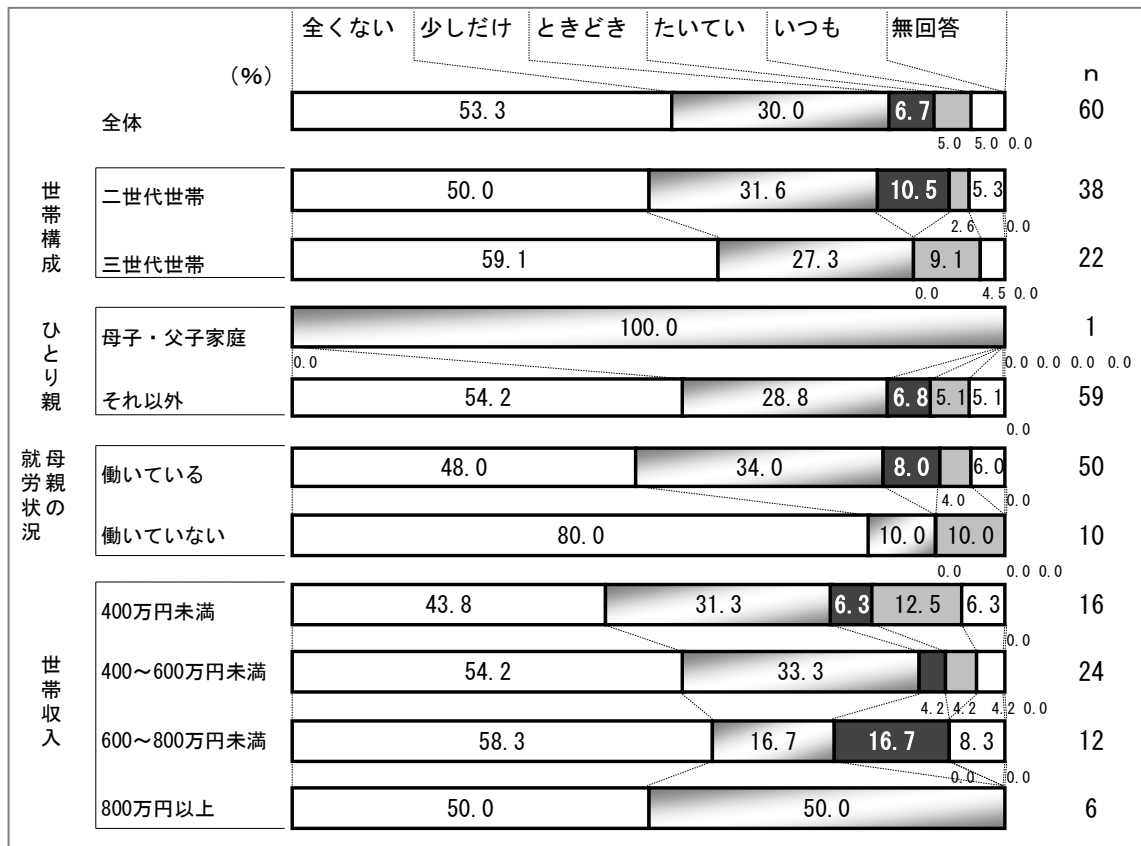
図表 F じっと座ってられないほど落ち着かなく感じた



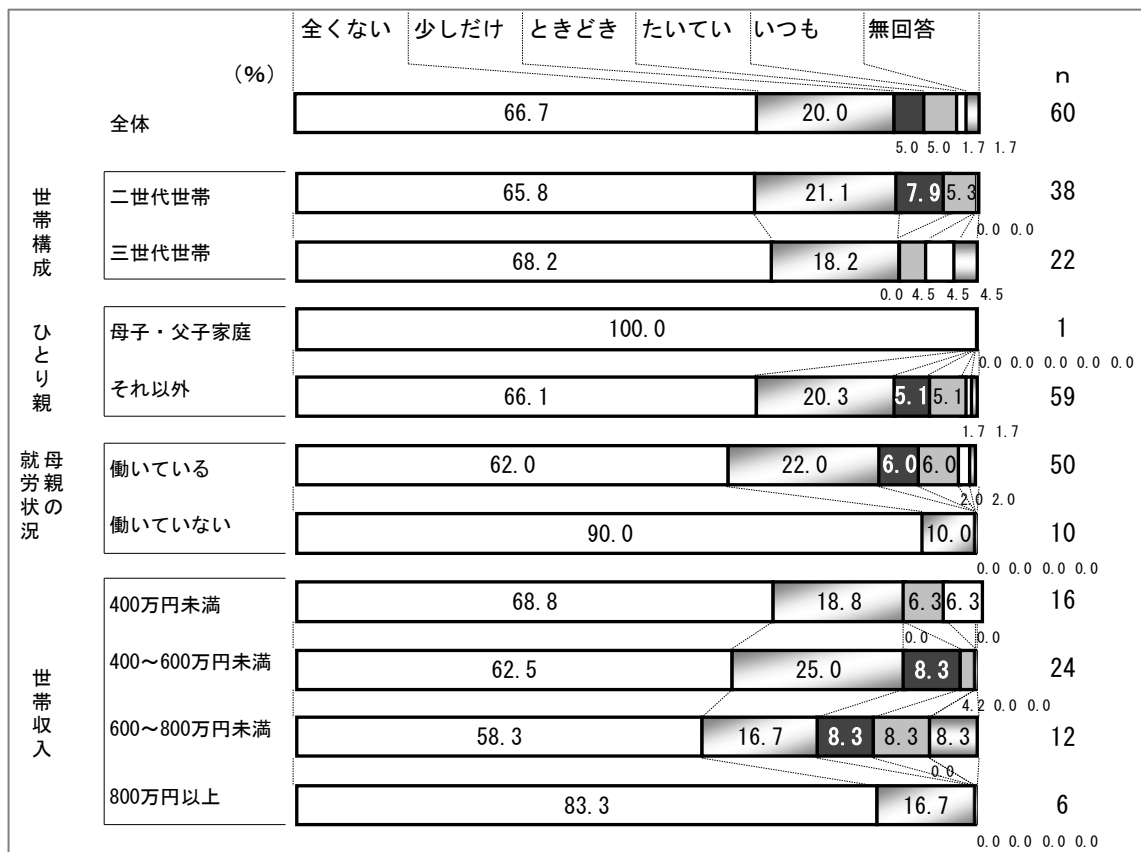
図表 G ゆううつに感じた



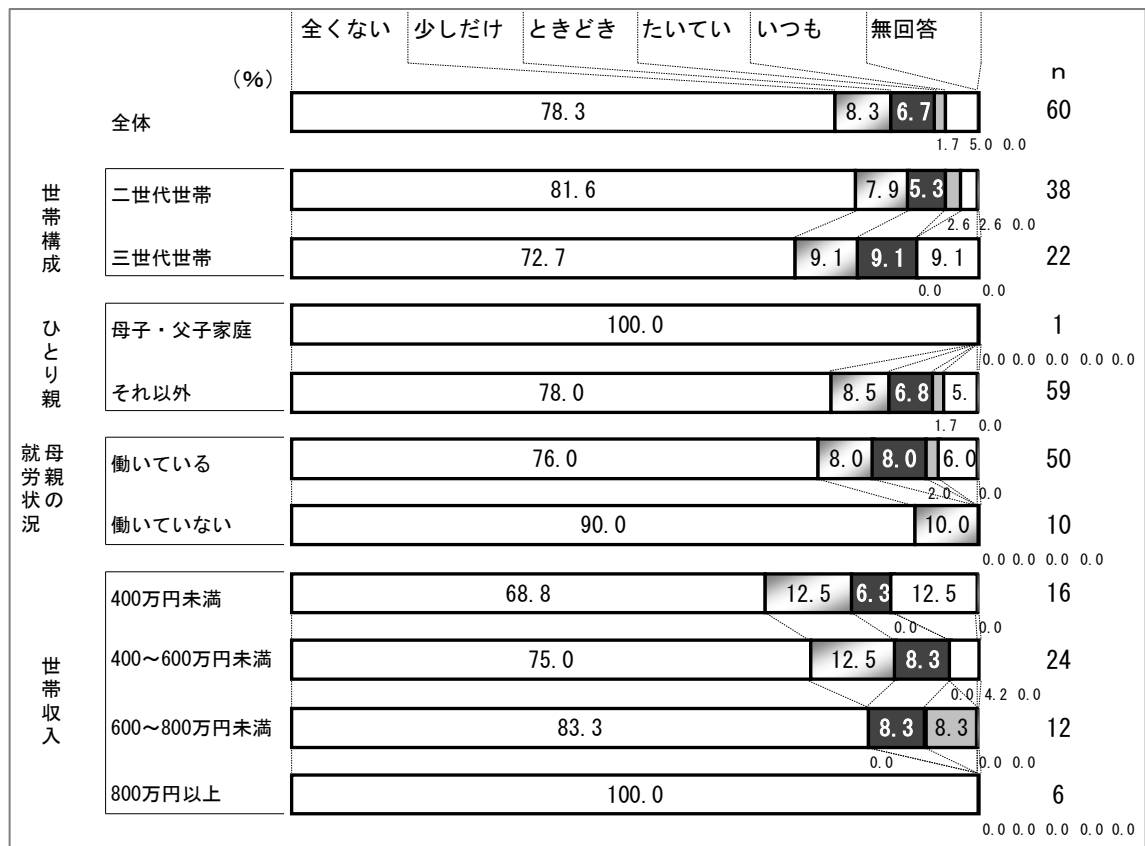
図表 H 気分が沈み何が起きても気が晴れないと感じた



図表 I 何をするのも骨折りだと感じた



図表 J 自分は価値のない人間だと感じた



(3) 子どもを医療機関に受診させなかったこと

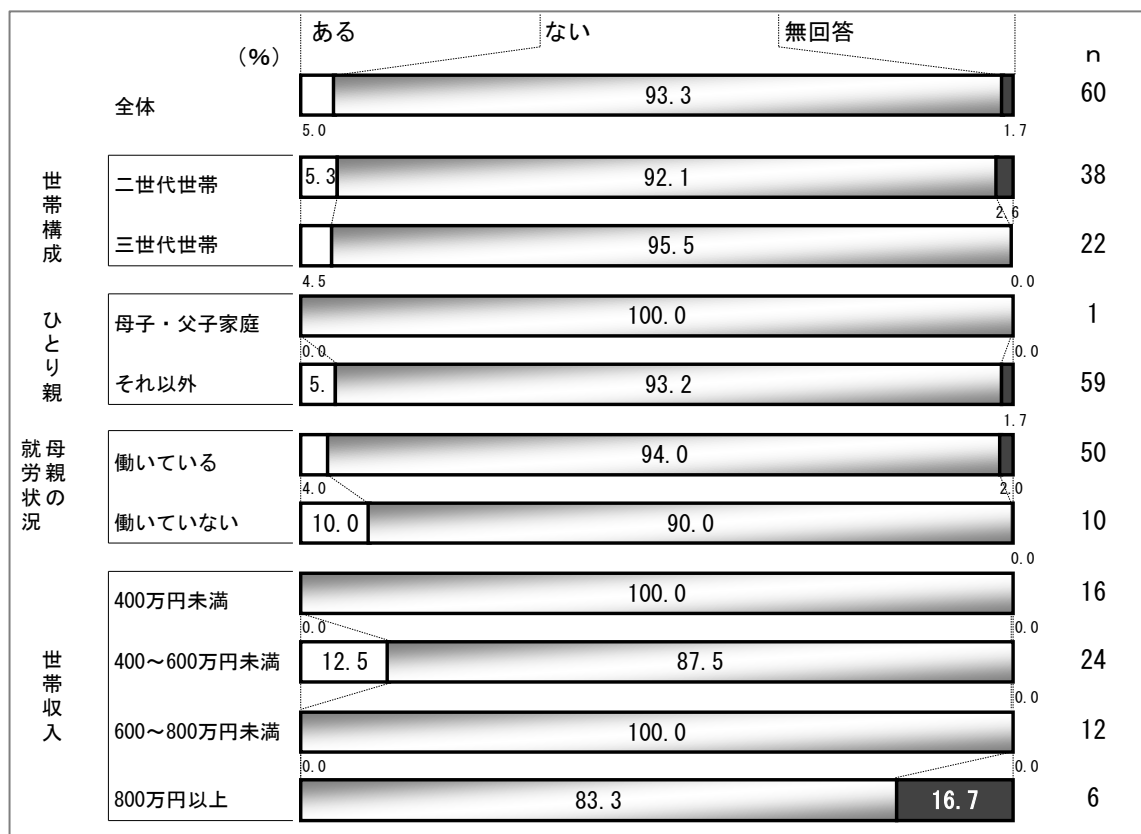
問 23 お子さんの状況について伺います。過去1年間に医療機関でお子さんを受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。あてはまるものに○をつけてください。(1つに○)

- 「ない」が9割強を占める。

子どもを医療機関に受診させなかったことについては、「ない」が93.3%、「ある」が5.0%となっている。

世帯収入で見ると、「400～600万円未満」では「ある」が12.5%となっている。

図表 子どもを医療機関に受診させなかったこと



(4) 子どもを受診させなかった理由

※問 23-1 は、問 23 で「1. ある」と回答した方にお伺いします。

問 23-1 その理由は何ですか。以下の1～7のうち、最も近いものに○をつけてください。(1つに○)

※「1. ある」は回答者が過小であったためグラフ非表示。(「多忙で医療機関に連れて行く時間がなかった」1名、「様子をみて受診させなくてもよいと判断した」2名。)

6 人生経験について

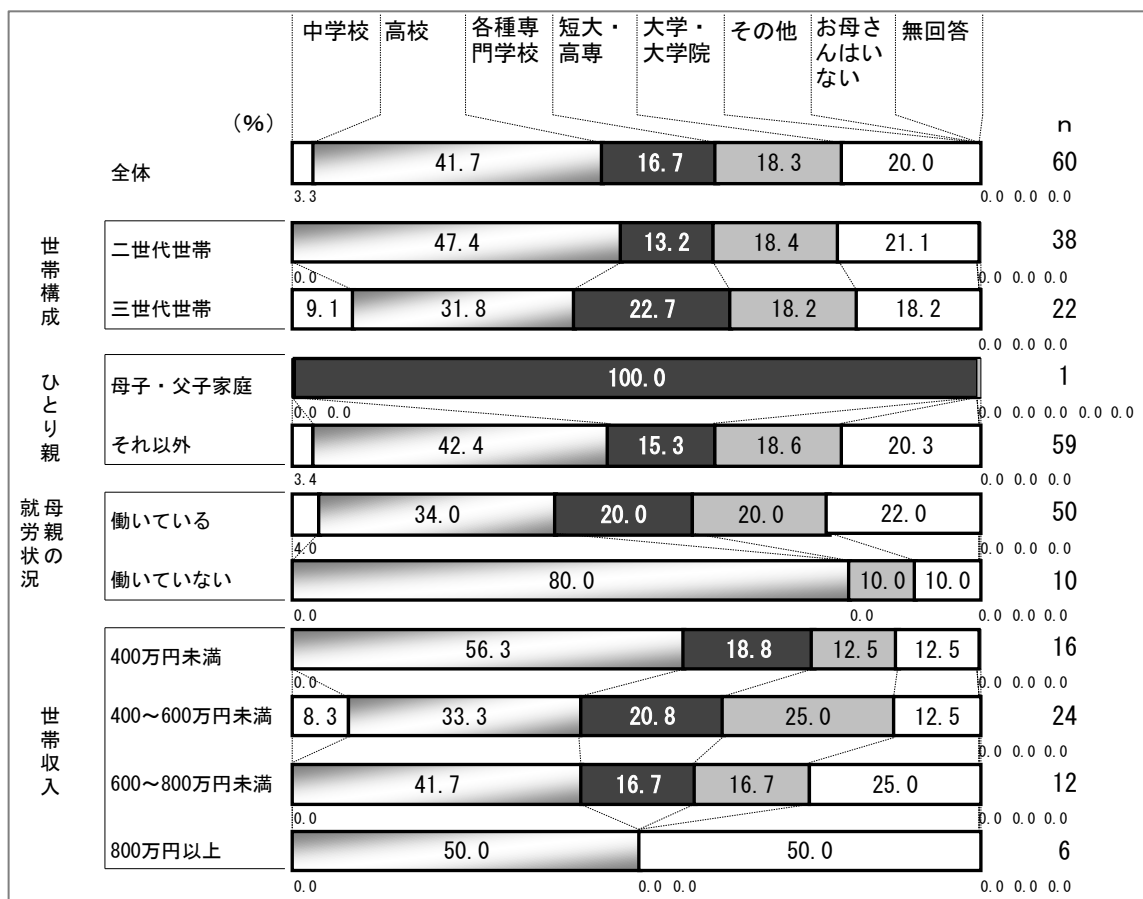
(1) 母親の最終学歴

問 24 お子さんのお母さん（またはお母さんに代わる方）の最終学歴を教えてください。あてはまるものに○をつけてください。（1つに○）

- 「高校」が4割強、「大学・大学院」が2割、「短大・高専」・「各種専門学校」がそれぞれ2割弱を占める。

母親の最終学歴については、「高校」が41.7%、「大学・大学院」が20.0%、「短大・高専」が18.3%、「各種専門学校」が16.7%、「中学校」が3.3%となっている。

図表 母親の最終学歴



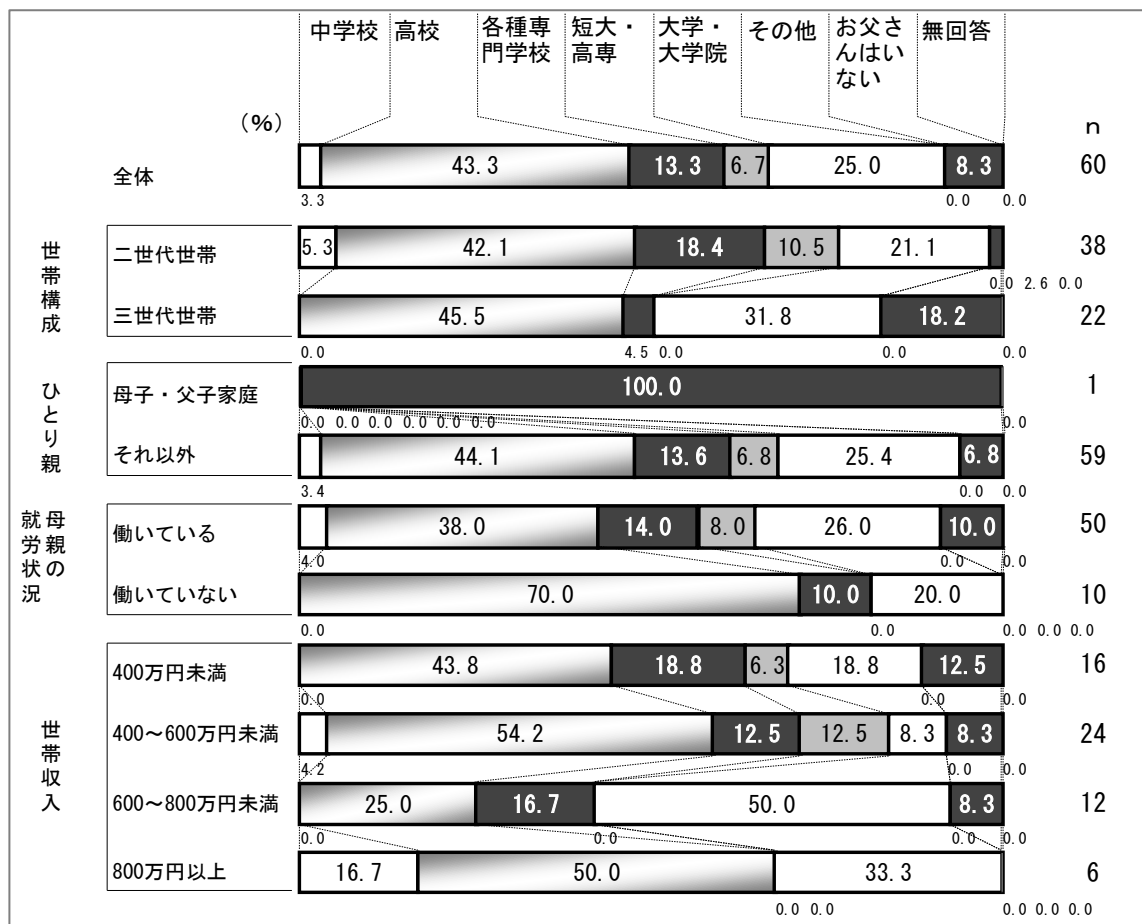
(2) 父親の最終学歴

問 25 お子さんのお父さん（またはお父さんに代わる方）の最終学歴を教えてください。あてはまるものに○をつけてください。（1つに○）

- 「高校」が4割強、「大学・大学院」が3割弱、「各種専門学校」が1割強を占める。

父親の最終学歴については、「高校」が43.3%、「大学・大学院」が25.0%、「各種専門学校」が13.3%、「短大・高専」が6.7%、「中学校」が3.3%となっている。

図表 父親の最終学歴



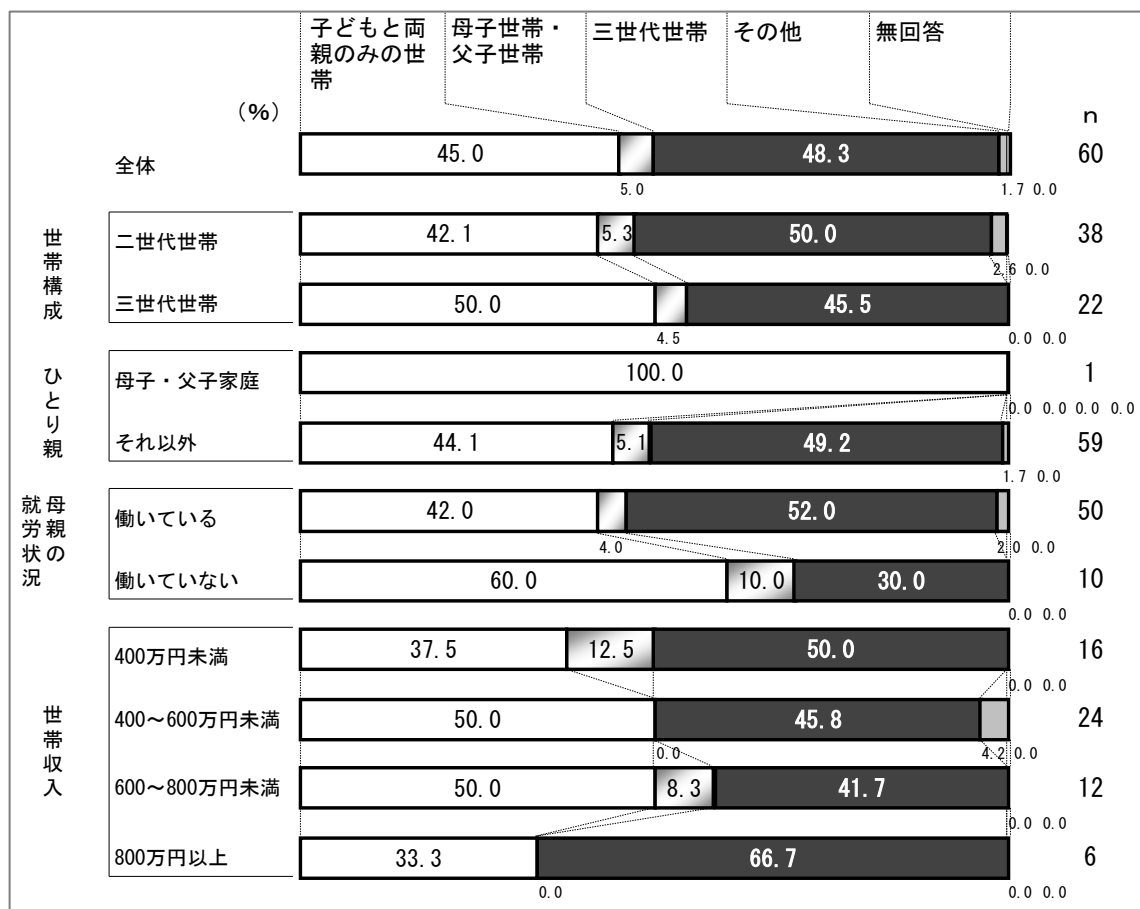
(3) 回答者が15歳頃の家庭の形態

問 26 あなたの15歳頃のご家庭は、次のどの形態でしたか。あてはまるものに○をつけてください。(1つに○)

- 「三世代世帯」、「子どもと両親のみの世帯」がともに5割弱を占める。

回答者が15歳頃の家庭の形態については、「三世代世帯」が48.3%、「子どもと両親のみの世帯」が45.0%、「母子世帯・父子世帯」が5.0%となっている。

図表 回答者が15歳頃の家庭の形態



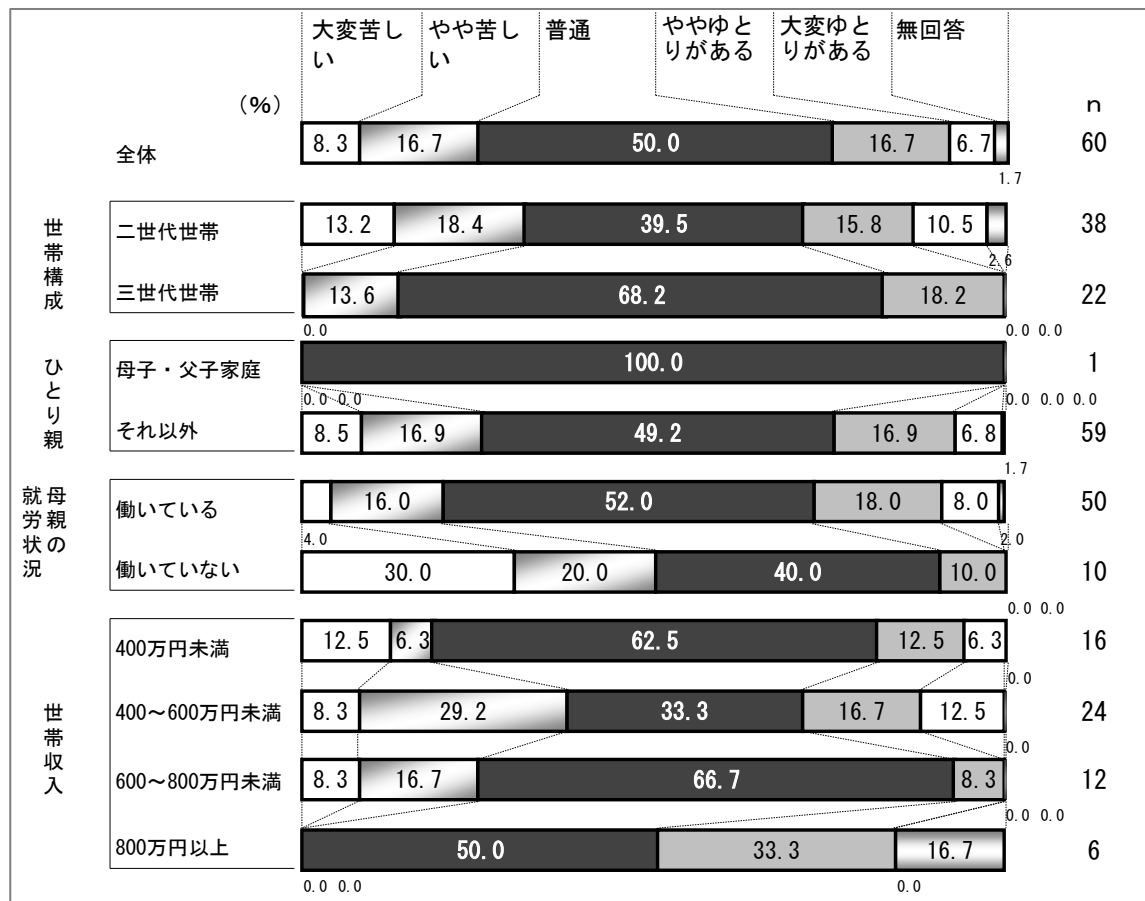
(4) 回答者が15歳頃の家庭の暮らし向き

問 27 あなたの15歳頃のご家庭の暮らし向きはどうだったと感じますか。あてはまるものに○をつけてください。(1つに○)

- 「普通」が5割を占める。

回答者が15歳頃の家庭の暮らし向きについては、「普通」が50.0%、「やや苦しい」・「ややゆとりがある」が16.7%、「大変苦しい」が8.3%、「大変ゆとりがある」が6.7%となっている。

図表 回答者が15歳頃の家庭の暮らし向き



7 現在の暮らしについて

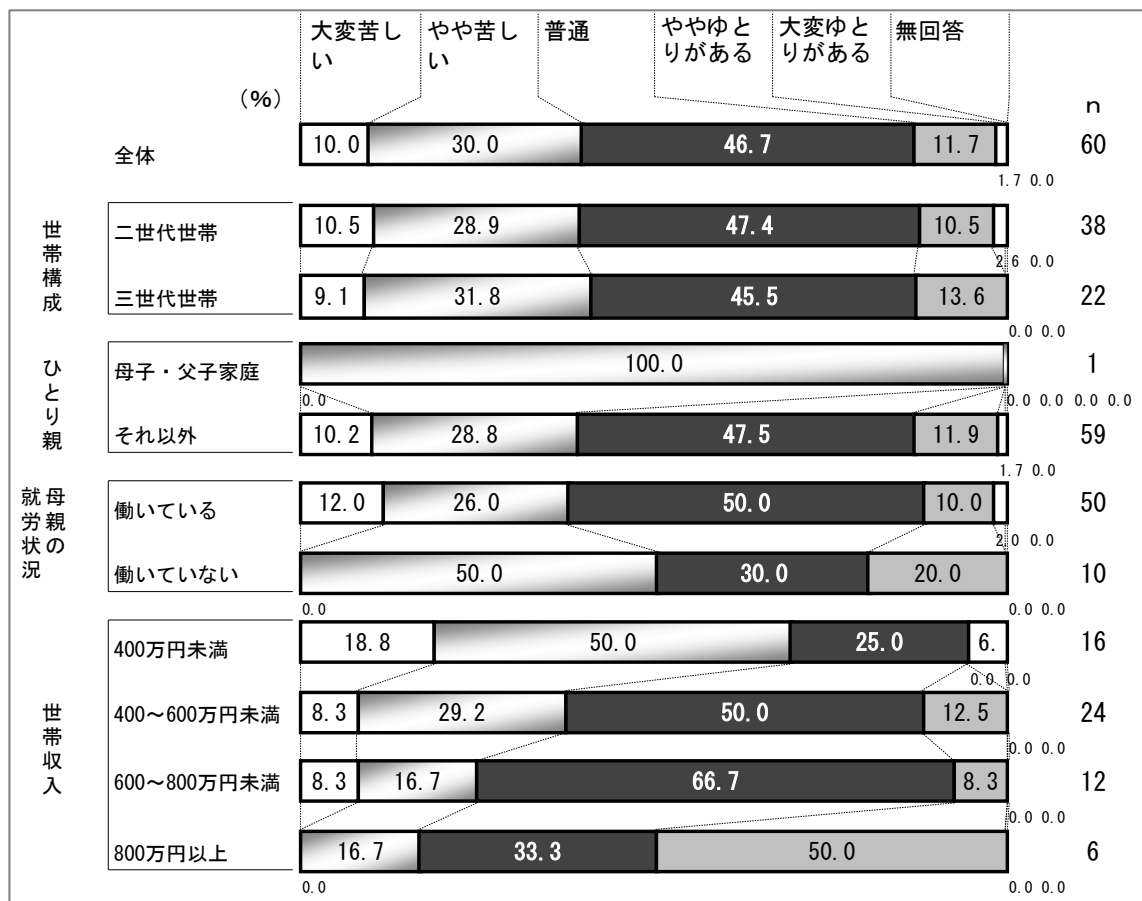
(1) 家庭の現在の暮らし向き

問 28 あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。あてはまるものに○をつけてください。(1つに○)

- 「普通」が5割弱、「苦しい」が4割を占める。「ゆとりがある」は1割強。

家庭の現在の暮らし向きについては、「普通」が46.7%を占めており、「やや苦しい」(30.0%)と「大変苦しい」(10.0%)を合わせた「苦しい」は40.0%となっている。また、「ややゆとりがある」(11.7%)と「大変ゆとりがある」(1.7%)を合わせた「ゆとりがある」は13.4%となっている。

図表 家庭の現在の暮らし向き



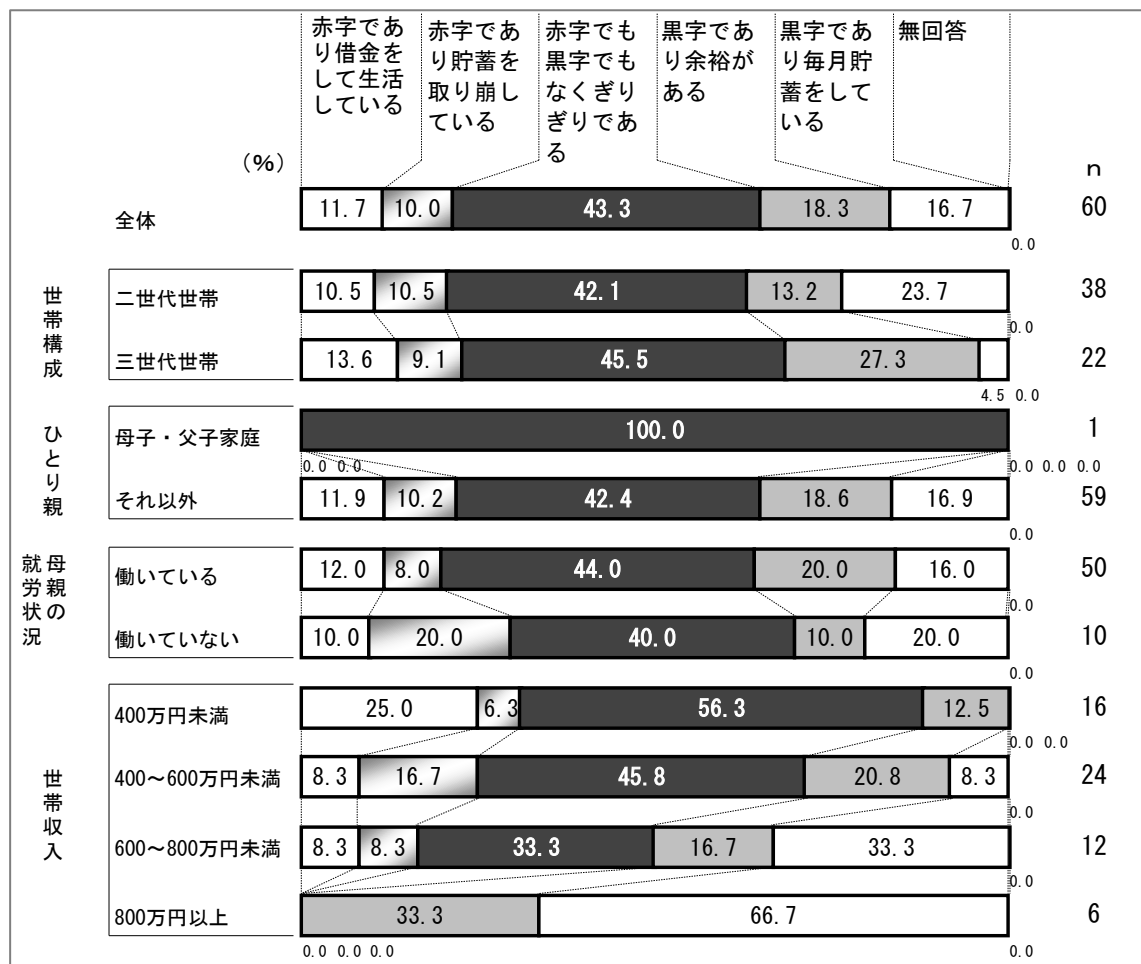
(2) 通常の家計の状況

問 29 あなたのご家庭の通常の家計の状況について、最も近いものに○をつけてください。
(1つに○)
※なお、住宅ローンの支払いなどは貯蓄ではなく、支出としてください。

- 「赤字でも黒字でもなくぎりぎりである」が4割強を占める。

通常の家計の状況については、「赤字でも黒字でもなくぎりぎりである」が43.3%、「黒字であり余裕がある」が18.3%、「黒字であり毎月貯蓄をしている」が16.7%、「赤字であり借金をして生活している」が11.7%、「赤字であり貯蓄を取り崩している」が10.0%となっている。

図表 通常の家計の状況



(3) 経済的な理由で必要とするものが買えないこと

問 30 あなたの世帯では、過去1年間の間に、経済的な理由で家族が必要とする食料や衣料（嗜好品は含みません）が買えないことがありましたか。あてはまるものに○をつけてください。（それぞれ1つに○）



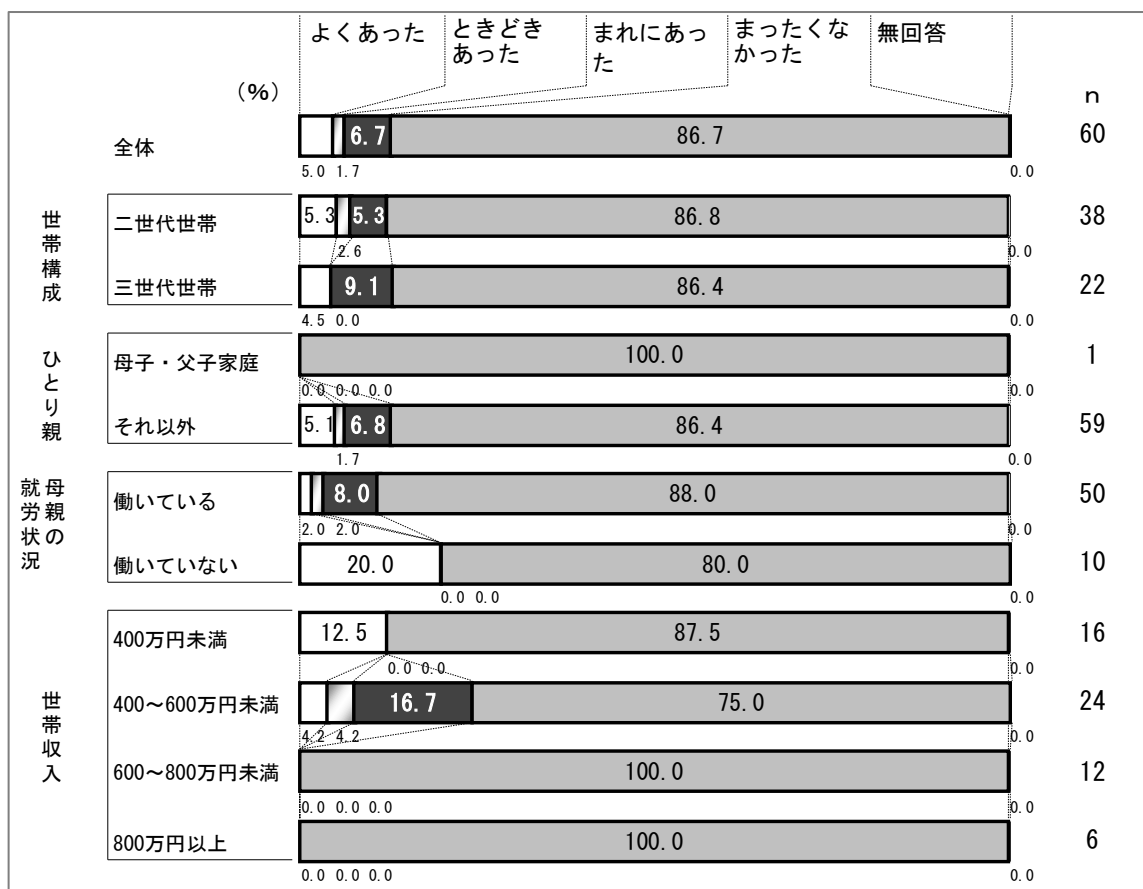
- “あった”の割合は、「食料が買えなかった経験」では1割強、「衣料が買えなかった経験」では2割を占めている。

経済的な理由で必要とするものが買えないことについて、「食料が買えなかった経験」では「まったくなかった」が86.7%、「まれにあった」が6.7%、「よくあった」が5.0%、「ときどきあった」が1.7%となっている。「よくあった」と「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた“あった”は13.4%となっている。

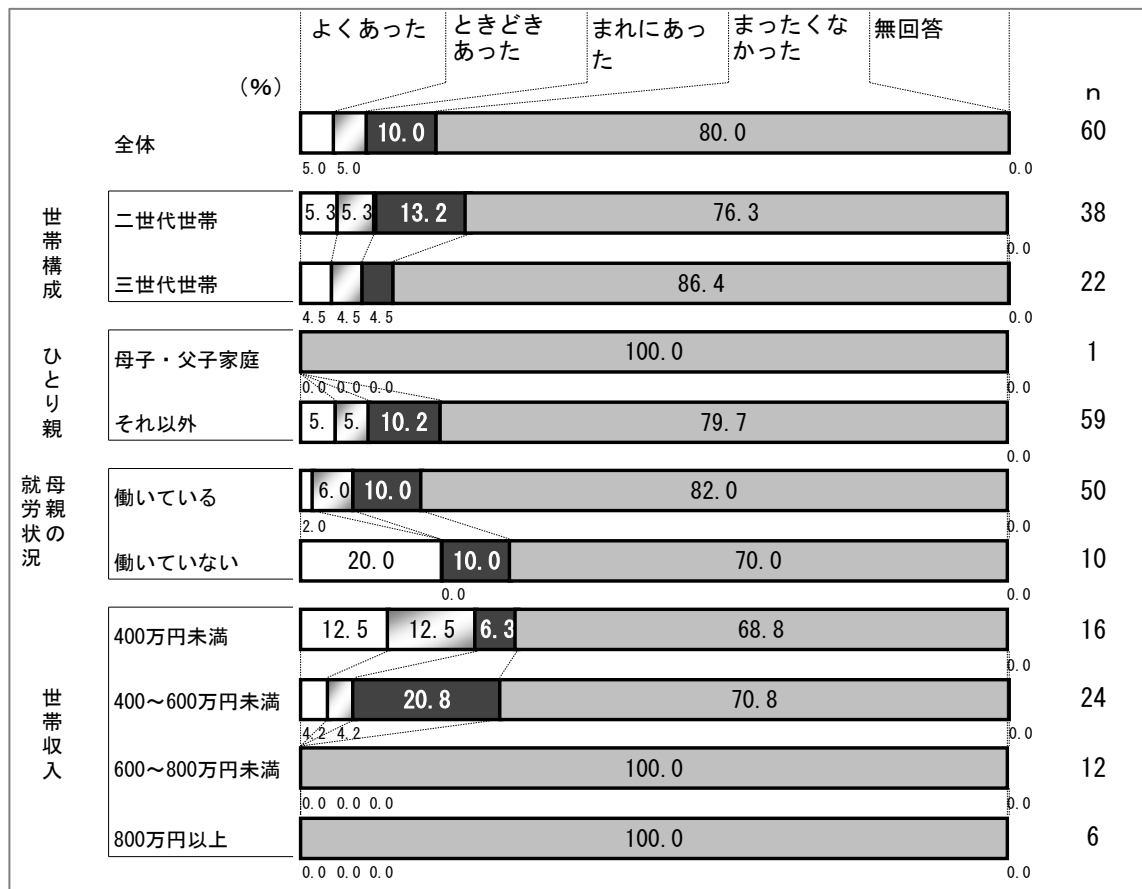
「衣料が買えなかった経験」では「まったくなかった」が80.0%、「まれにあった」が10.0%、「よくあった」・「ときどきあった」が5.0%となっている。“あった”は20.0%となっている。

世帯収入で見ると、600万円以上では「まったくなかった」が100.0%となっている。

図表 A 食料が買えなかった経験



図表 B 衣料が買えなかった経験



(4) 経済的な理由で月々の支払いができないこと

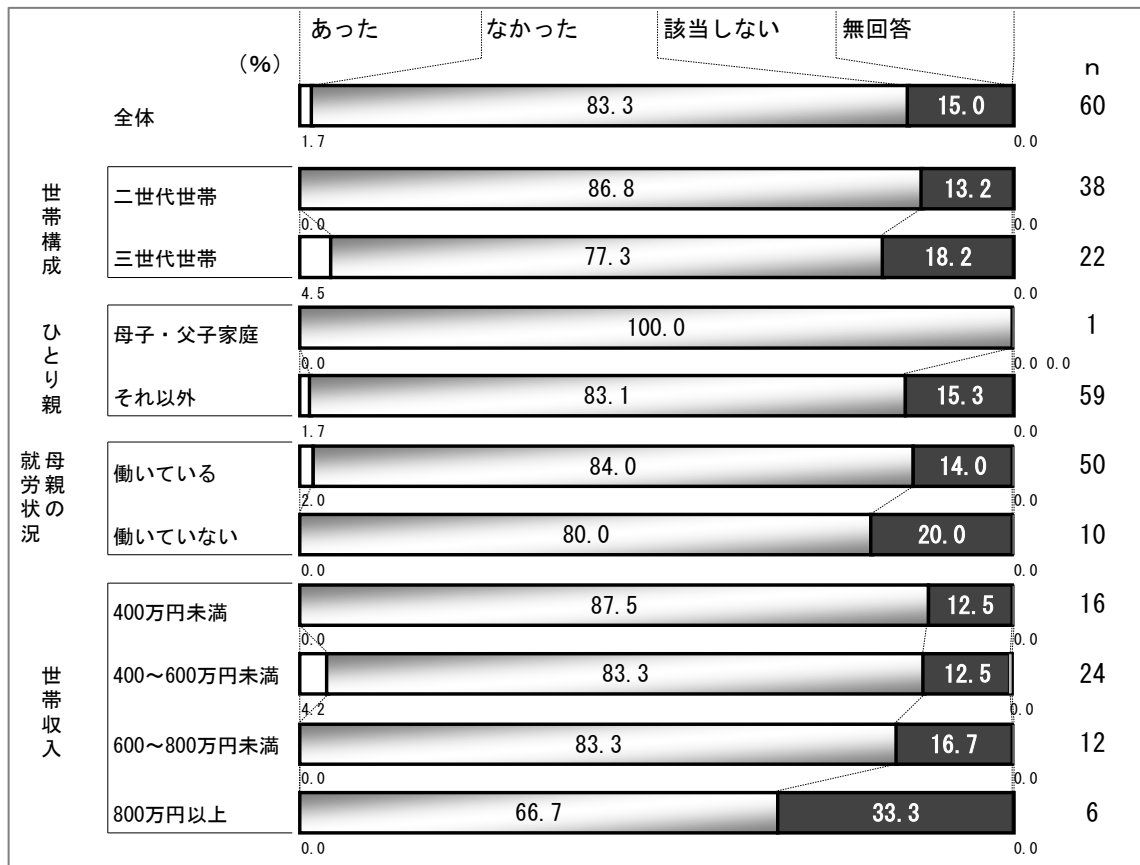
問 31 あなたの世帯では、過去1年間の間に、経済的な理由で月々の料金の支払い、家賃・住宅ローンの滞納、債務の返済ができないことがありましたか。A～Hについて、あてはまるものに○をつけてください。(それぞれ1つに○)

- 「あった」の割合が比較的高いのは「住宅ローンの滞納」と「その他の未払い」でともに5.0%を占める。

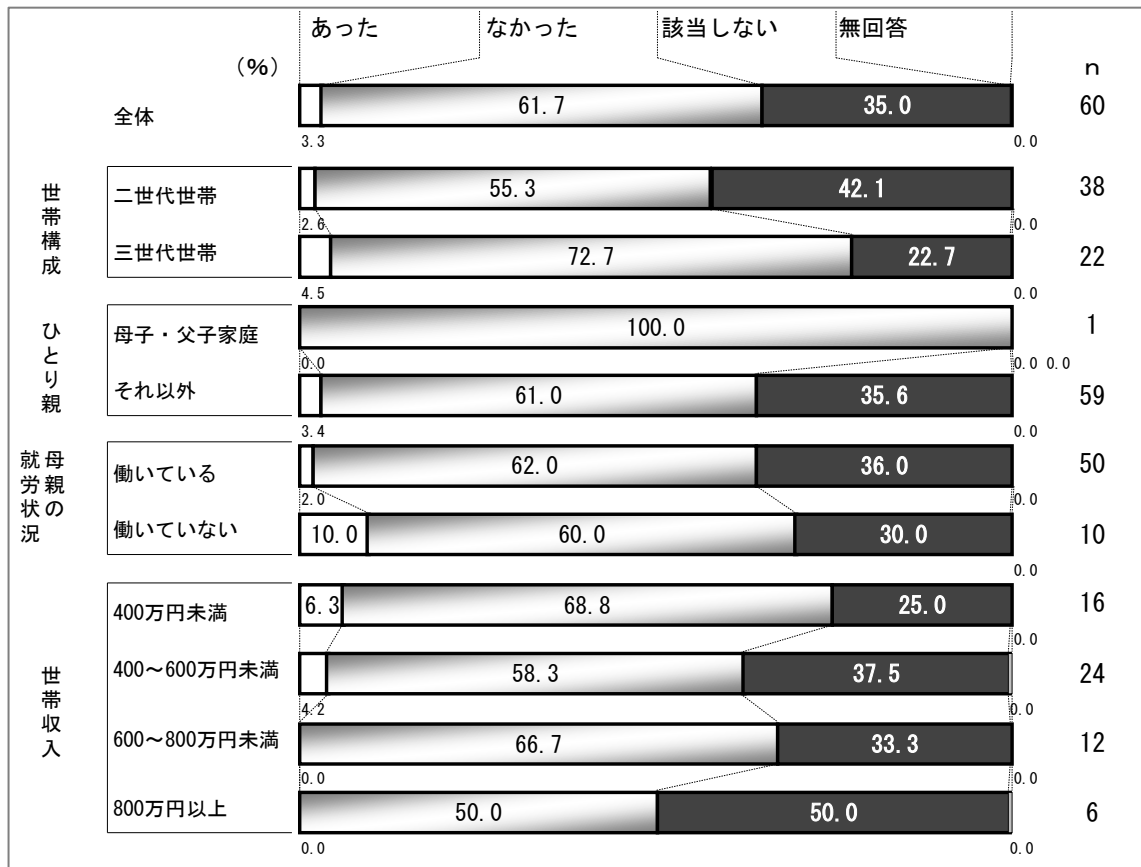
経済的な理由で月々の支払いができないことについては、すべての項目で「あった」が5%以下となっている。

世帯構成でみると「あった」が二世帯世帯より三世帯世帯で割合が高くなっている。

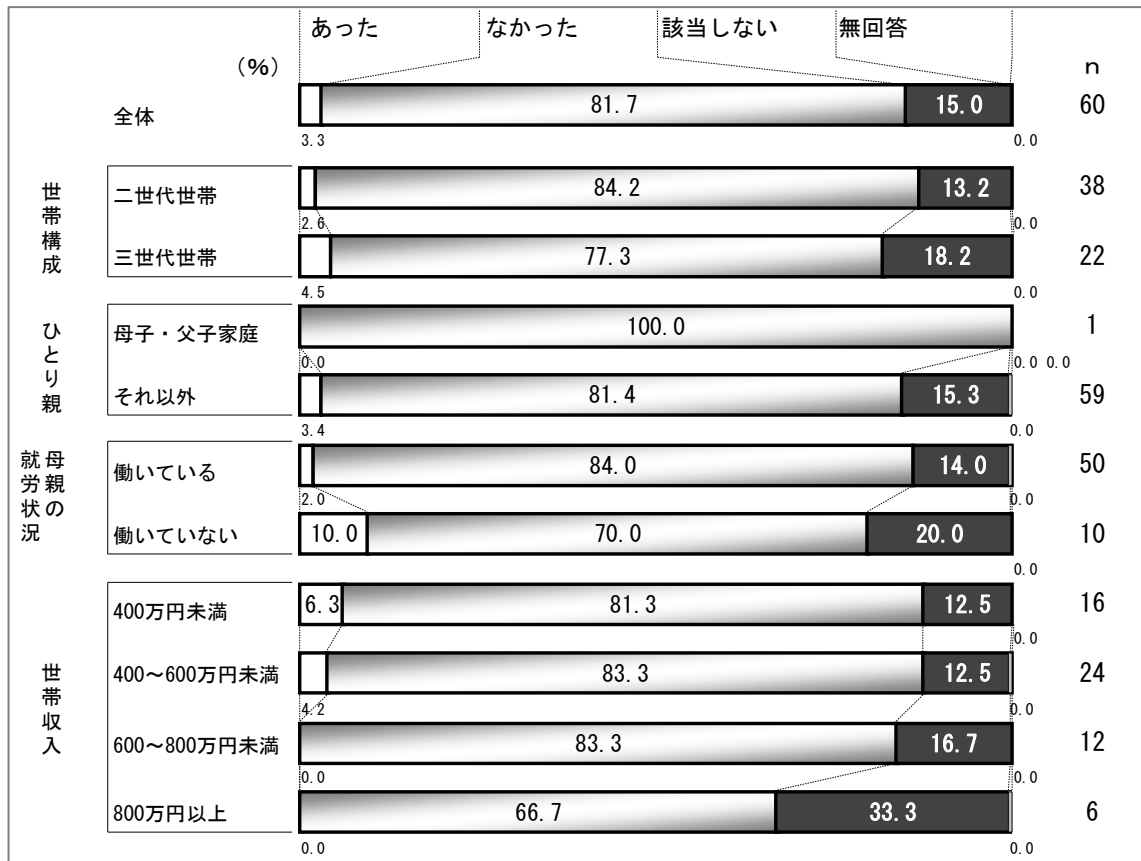
図表 A 電気料金の未払い



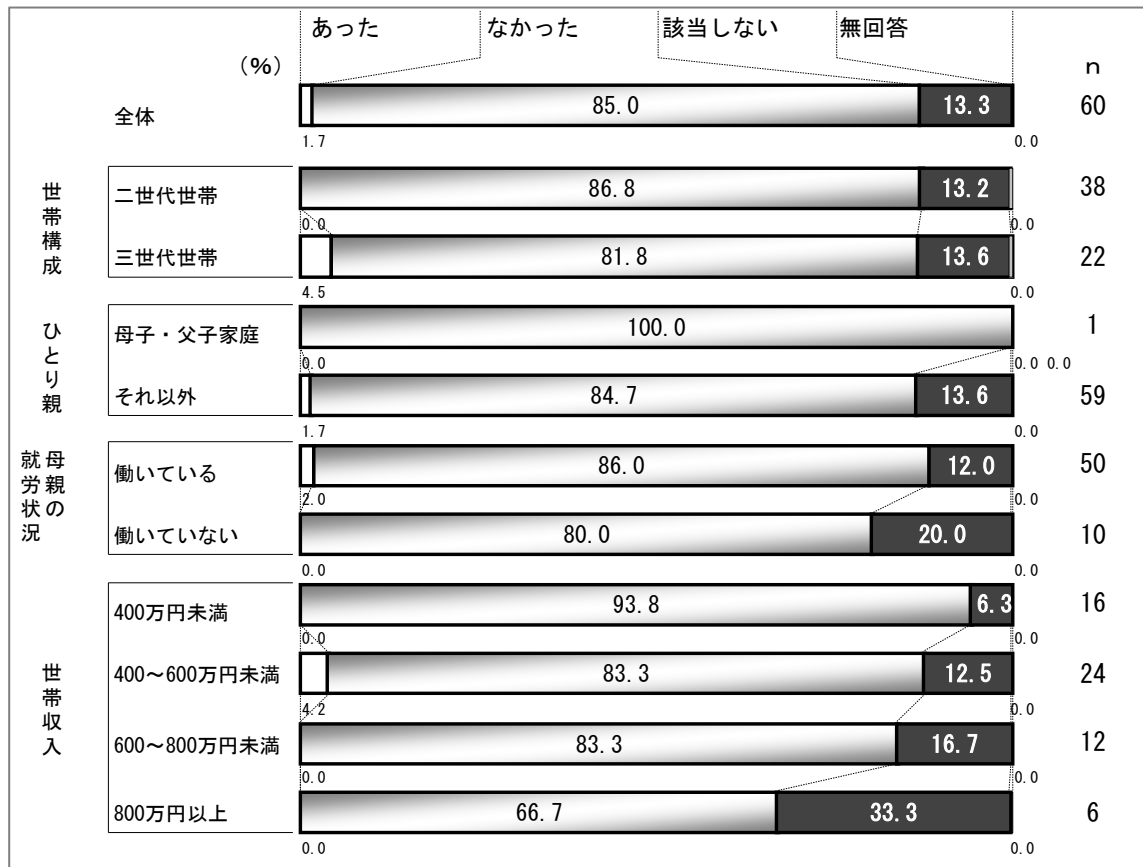
図表 B ガス料金の未払い



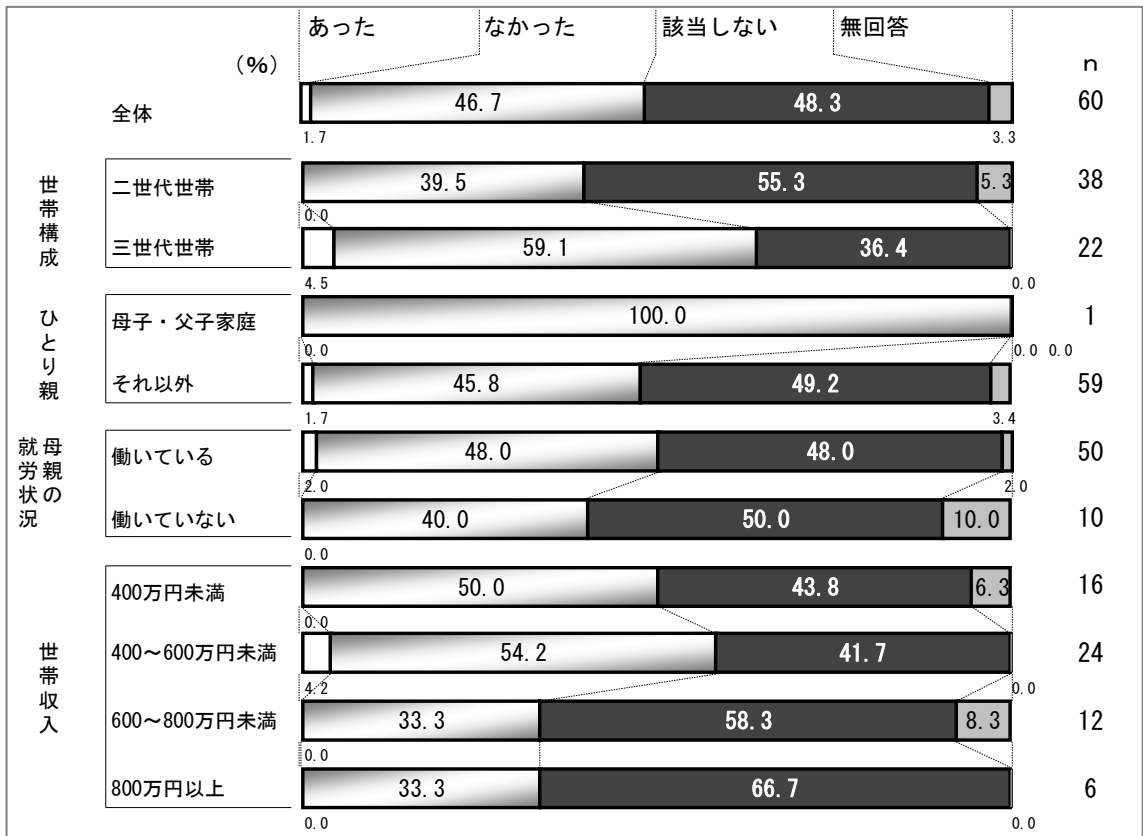
図表 C 水道料金の未払い



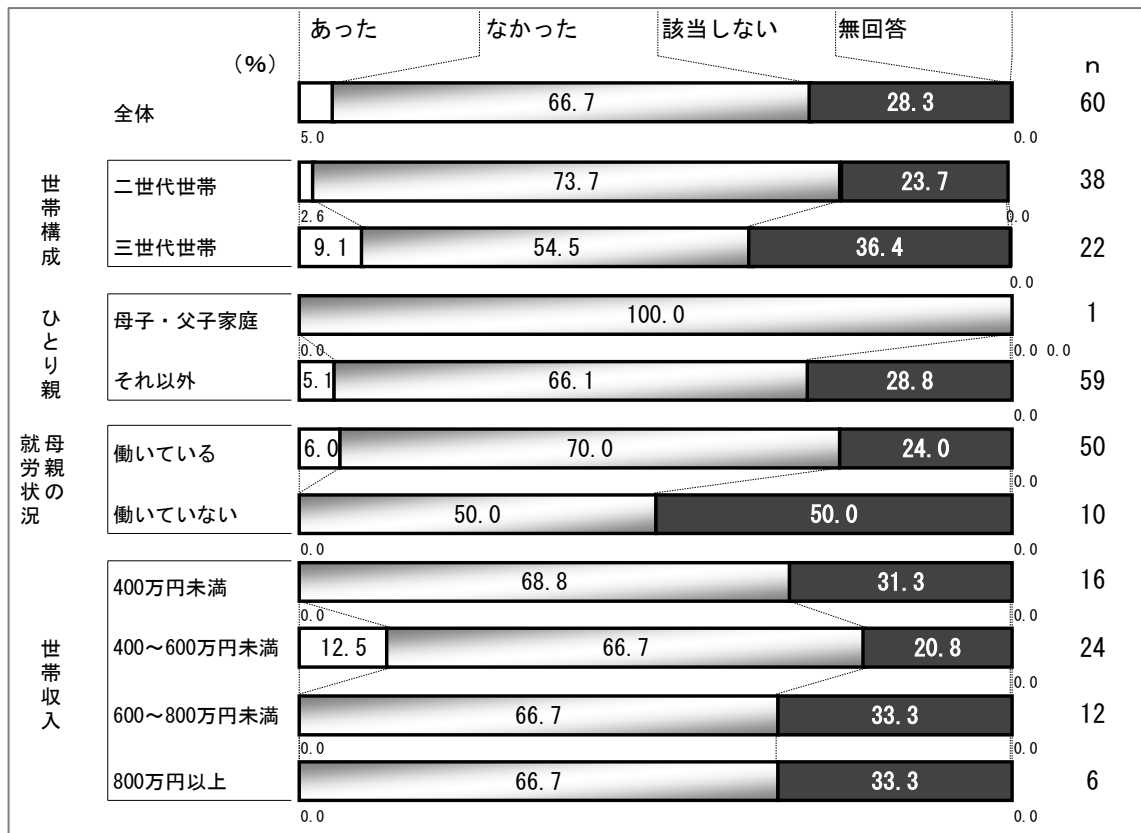
図表 D 電話料金の未払い



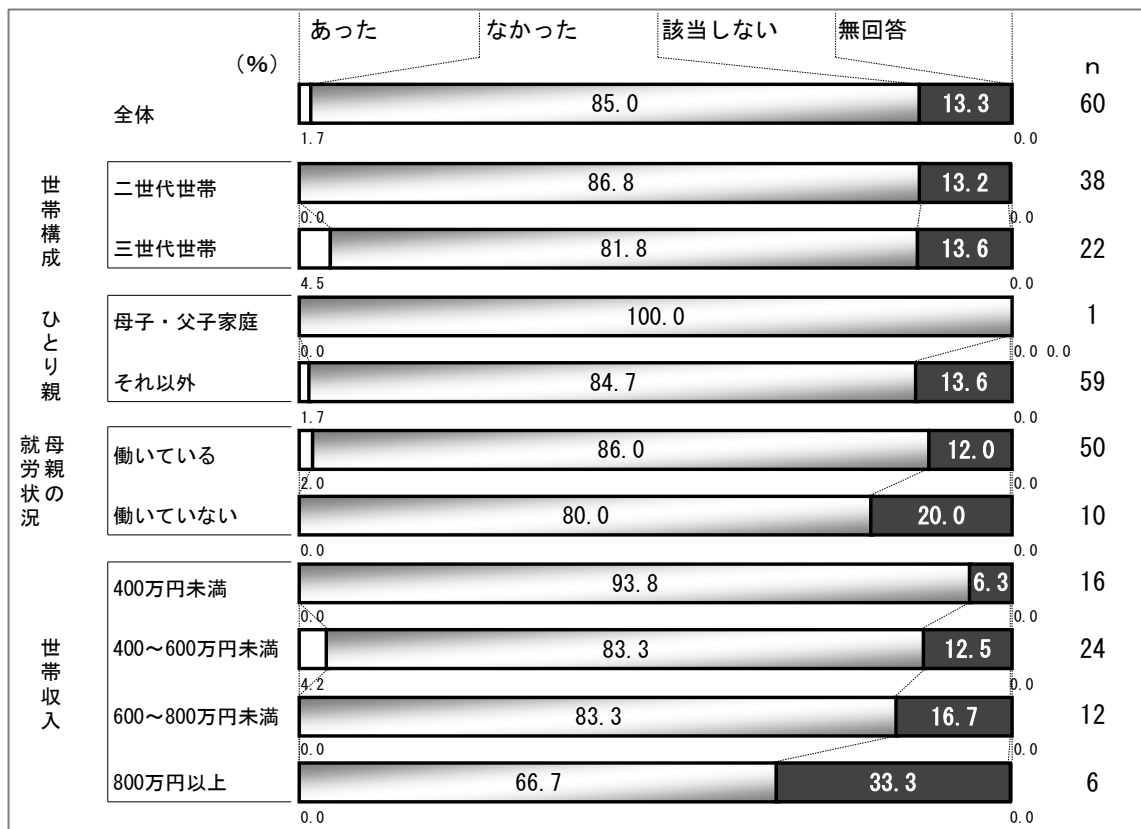
図表 E 家賃の滞納



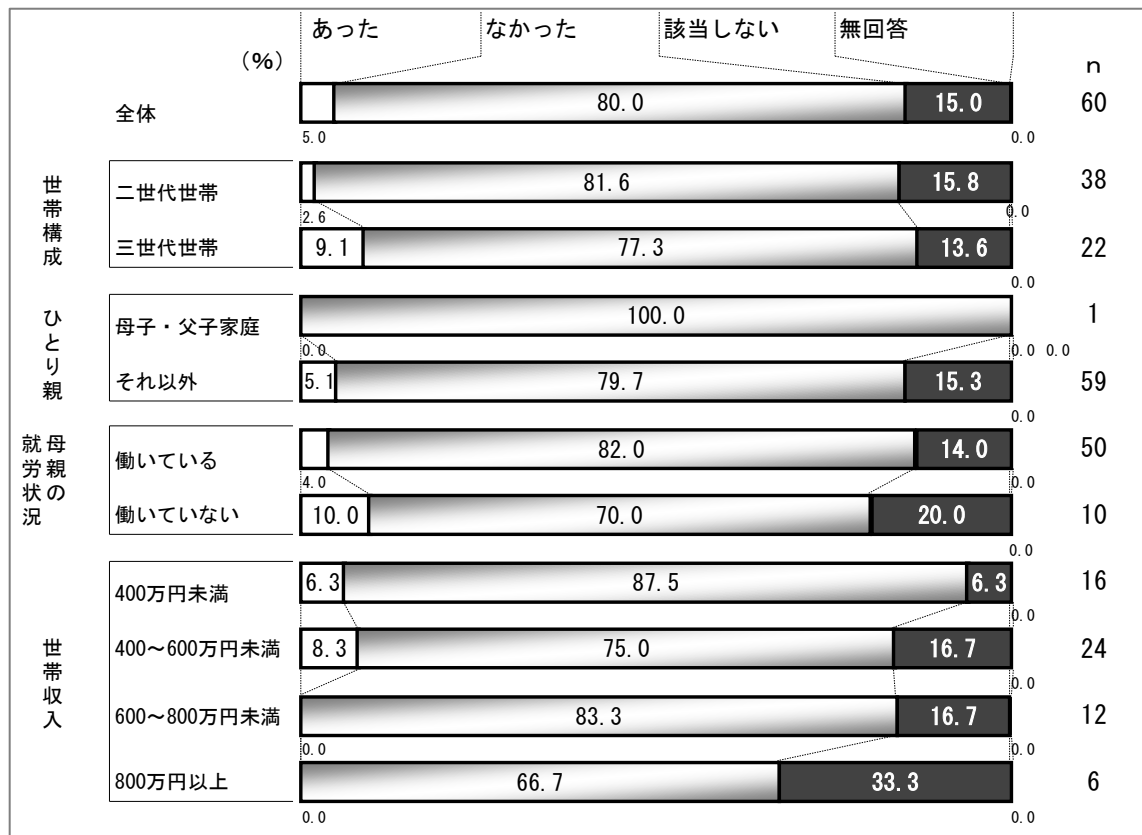
図表 F 住宅ローンの滞納



図表 G 給食費の滞納



図表 H その他の未払い



(5) 料金滞納のため電気、ガス、水道を止められたこと

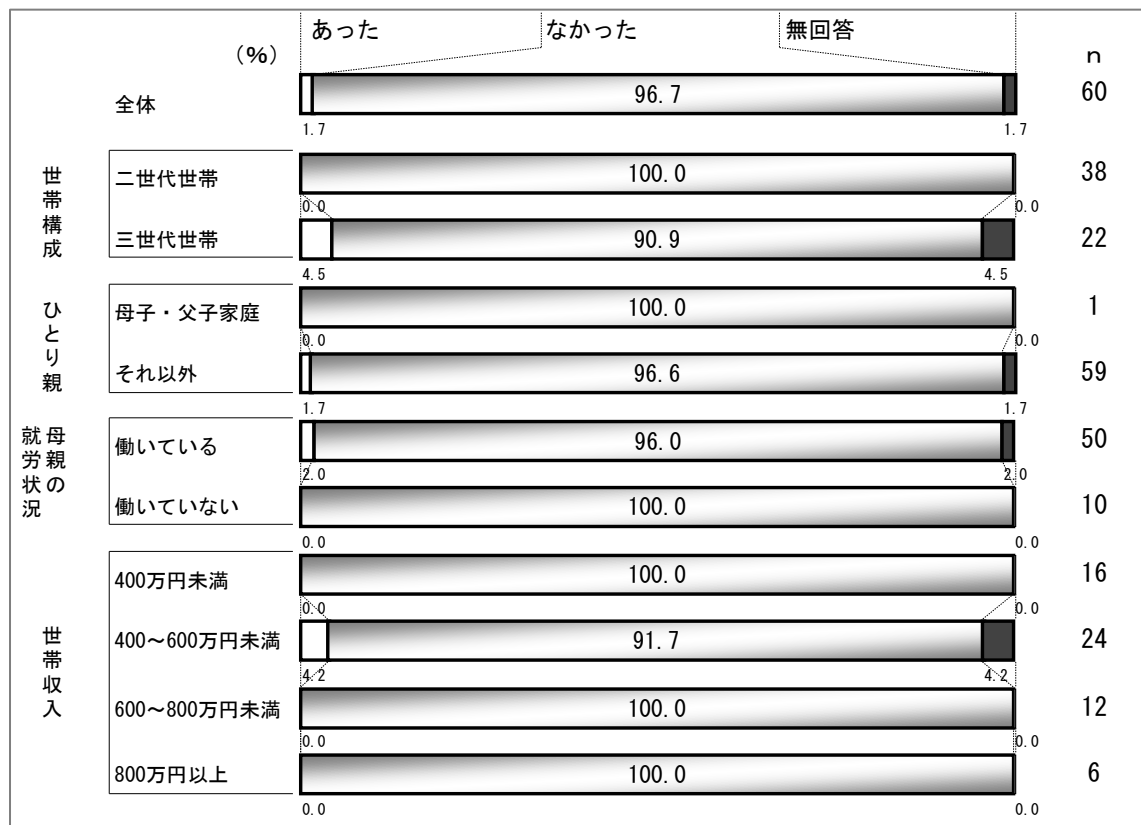
問 32 あなたの世帯では、過去 10 年の間に、経済的な理由による料金滞納のために、電気、ガス、水道を止められたことがありましたか。(1 つに○)

- 「なかった」が 96.7%を占める。

料金滞納のため電気、ガス、水道を止められたことについては、「なかった」が 96.7%、「あった」が 1.7%となっている。

世帯構成でみると、「あった」の割合は二世帯世帯よりも三世帯世帯で高くなっている。

図表 料金滞納のため電気、ガス、水道を止められたこと



(6) 子どものための公的制度の利用

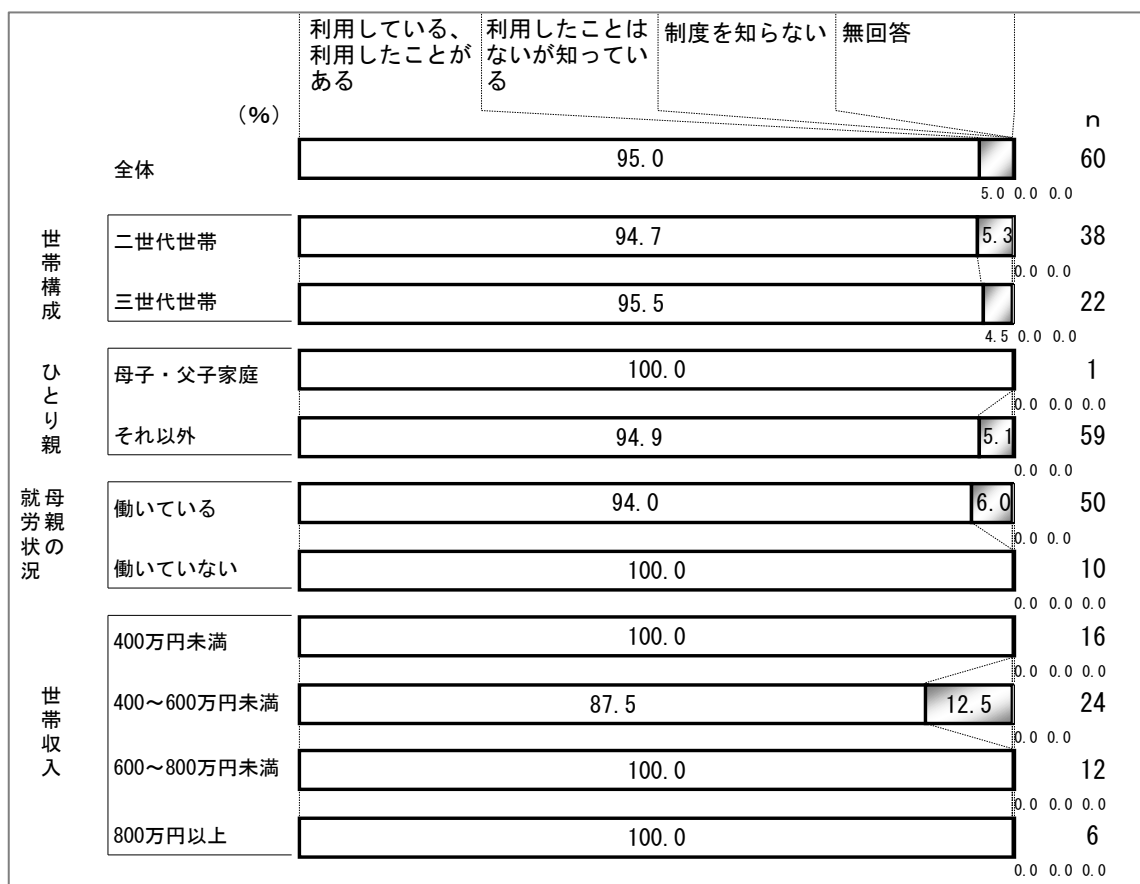
問 33 あなたはお子さんのために次の公的制度を利用した（または支援を受けた）ことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。（それぞれ1つに○）

- 「児童手当」については「利用している、利用したことがある」が9割以上を占める。その他の制度は「利用したことはないが知っている」、「制度を知らない」が大半を占める。

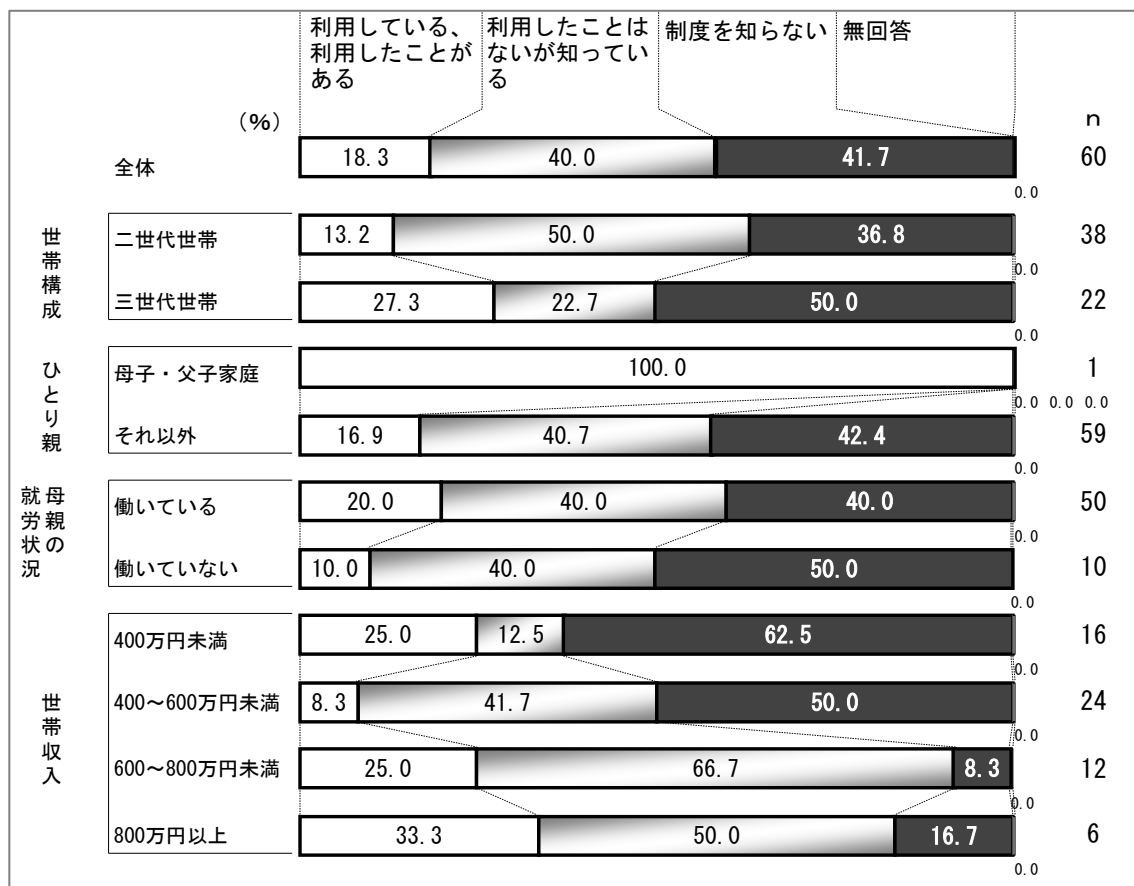
子どものための公的制度の利用について、「児童手当」では「利用している、使用したことがある」が95.0%、「利用したことはないが知っている」が5.0%となっている。

「制度を知らない」の割合が5割を超えているのは「就学援助」（50.0%）、「スクールソーシャルワーカー」（56.7%）、「高等学校等就学支援金」（58.3%）、「奨学のための給付金」（56.7%）、「母子父子寡婦福祉資金貸付金」（70.0%）、「生活福祉資金貸付金」（70.0%）となっている。

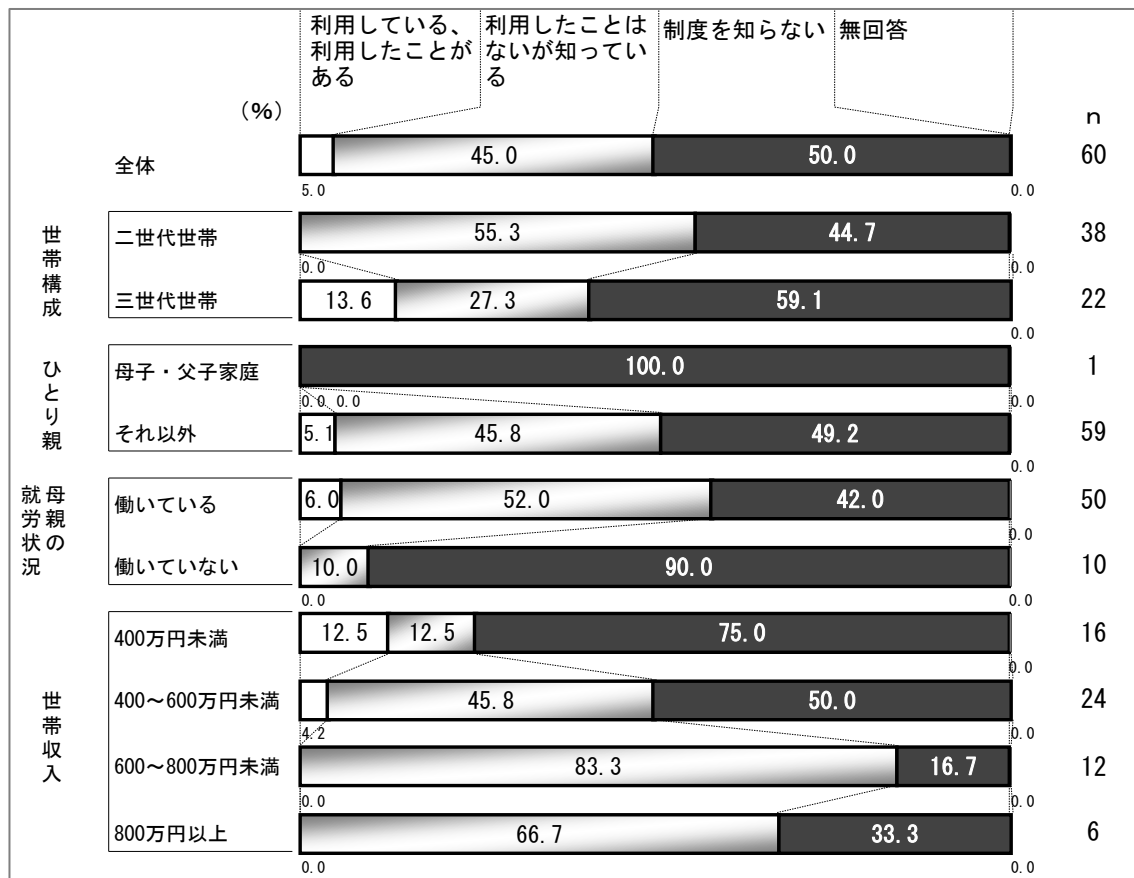
図表 A 児童手当



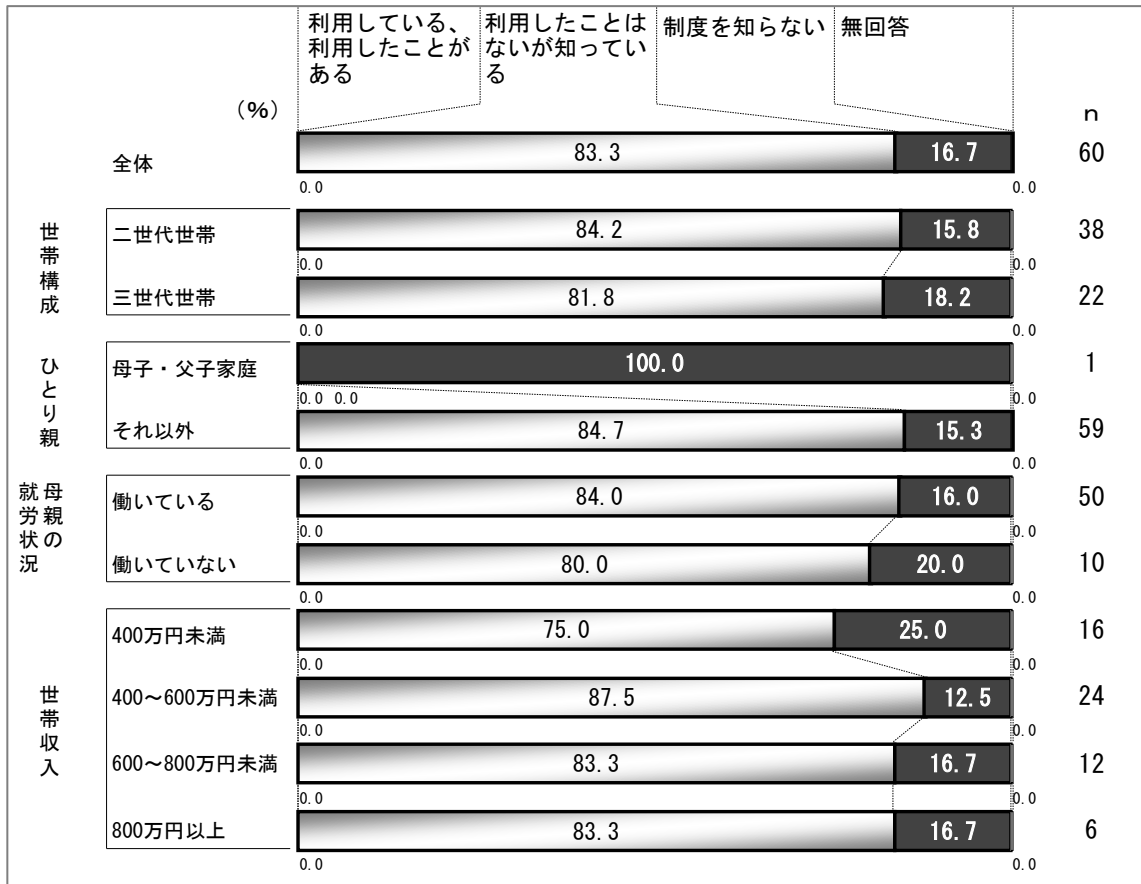
図表 B 児童扶養手当



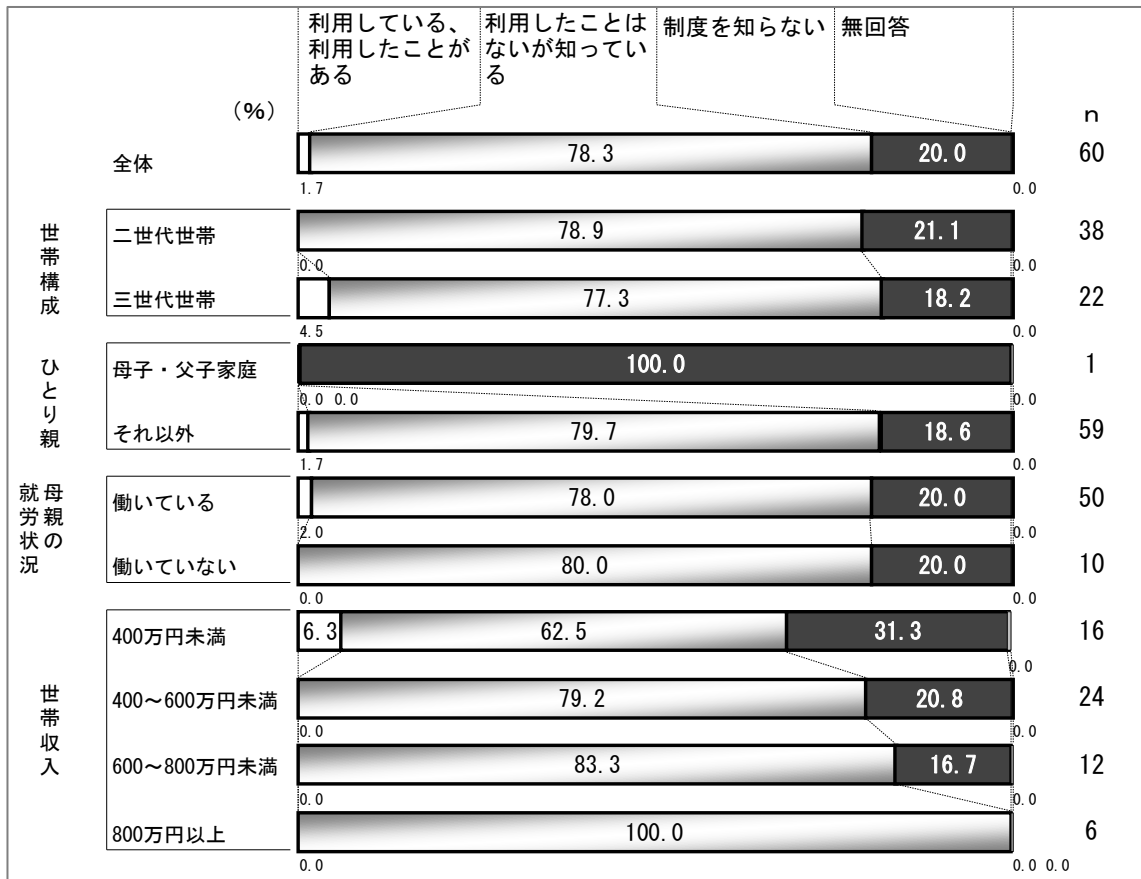
図表 C 就学援助



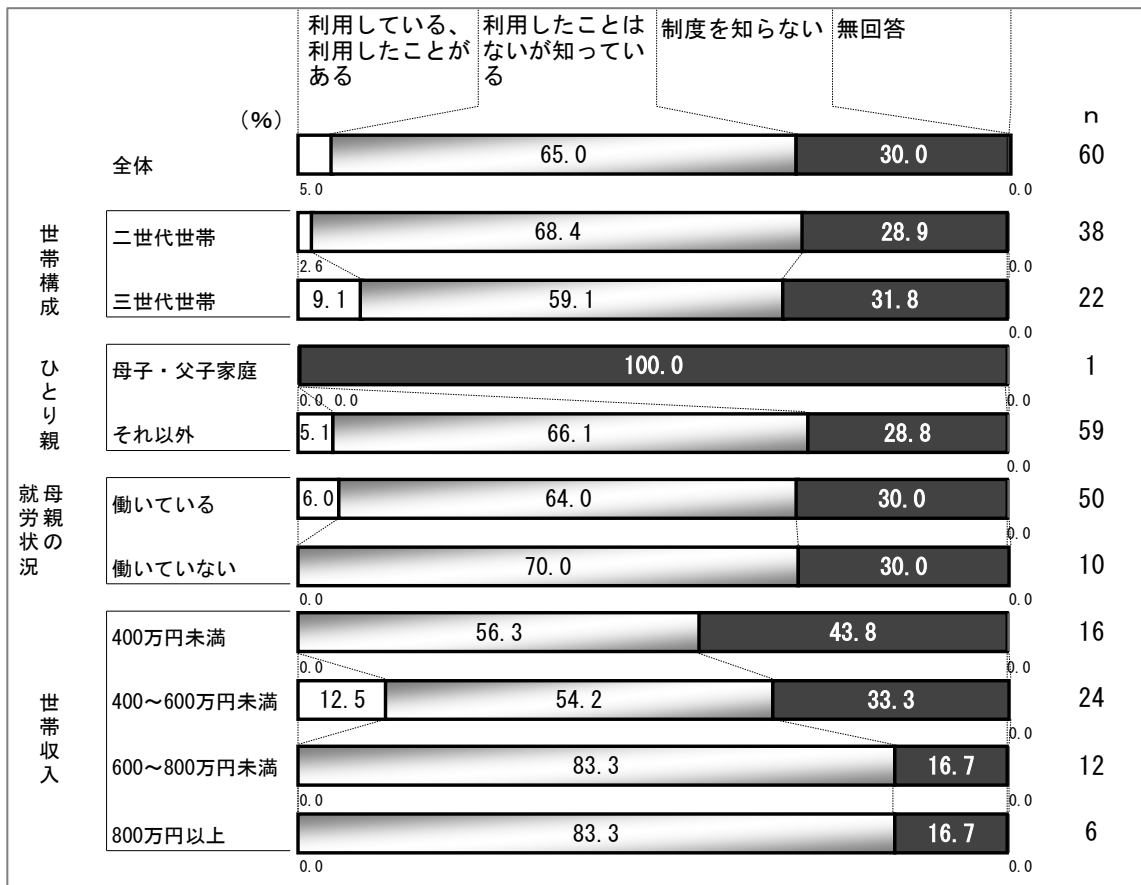
図表 D 生活保護



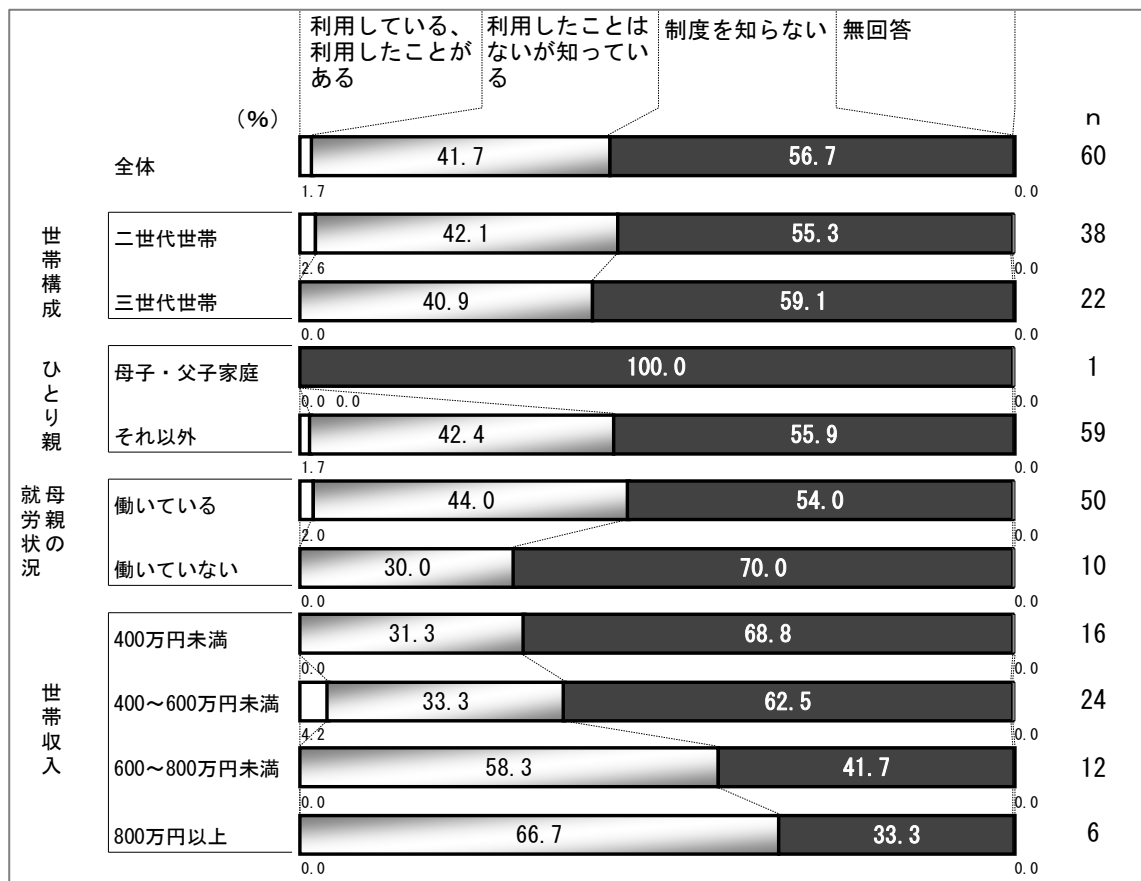
図表 E 児童相談所（児童福祉司）



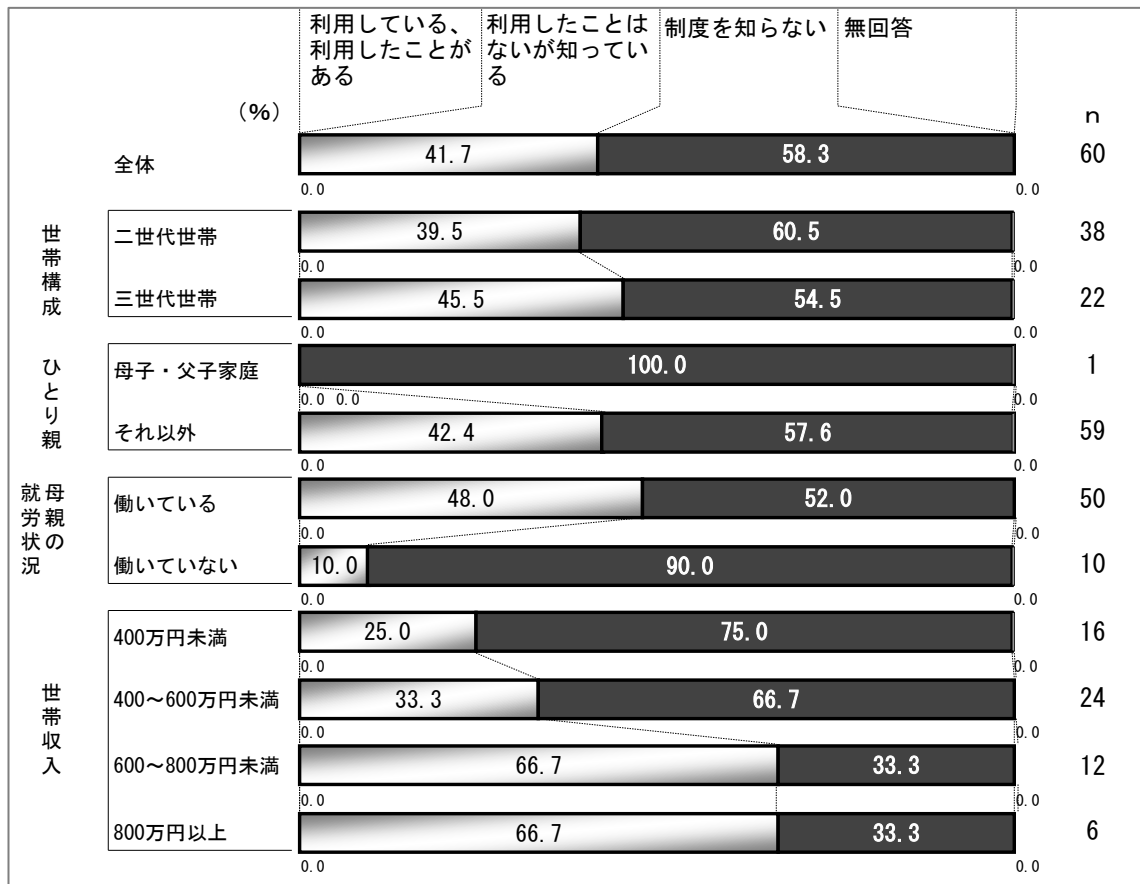
図表 F スクールカウンセラー



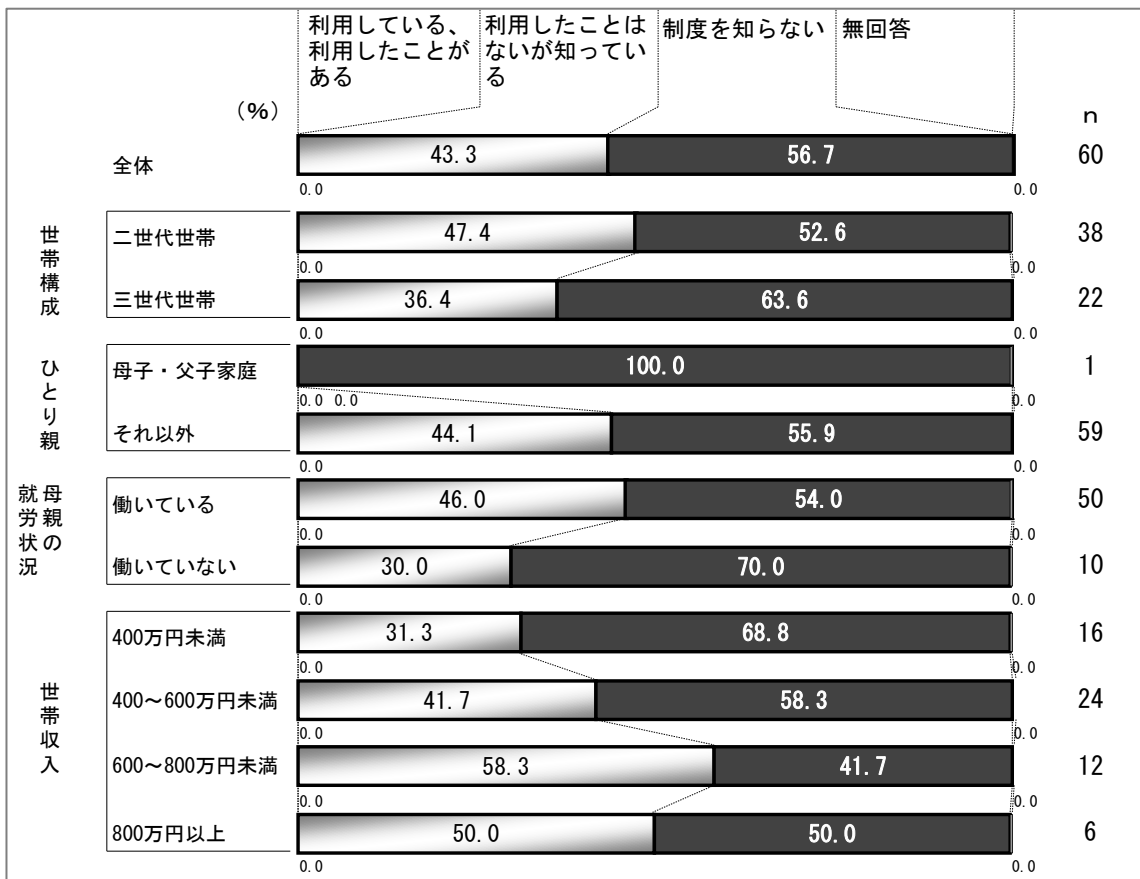
図表 G スクールソーシャルワーカー



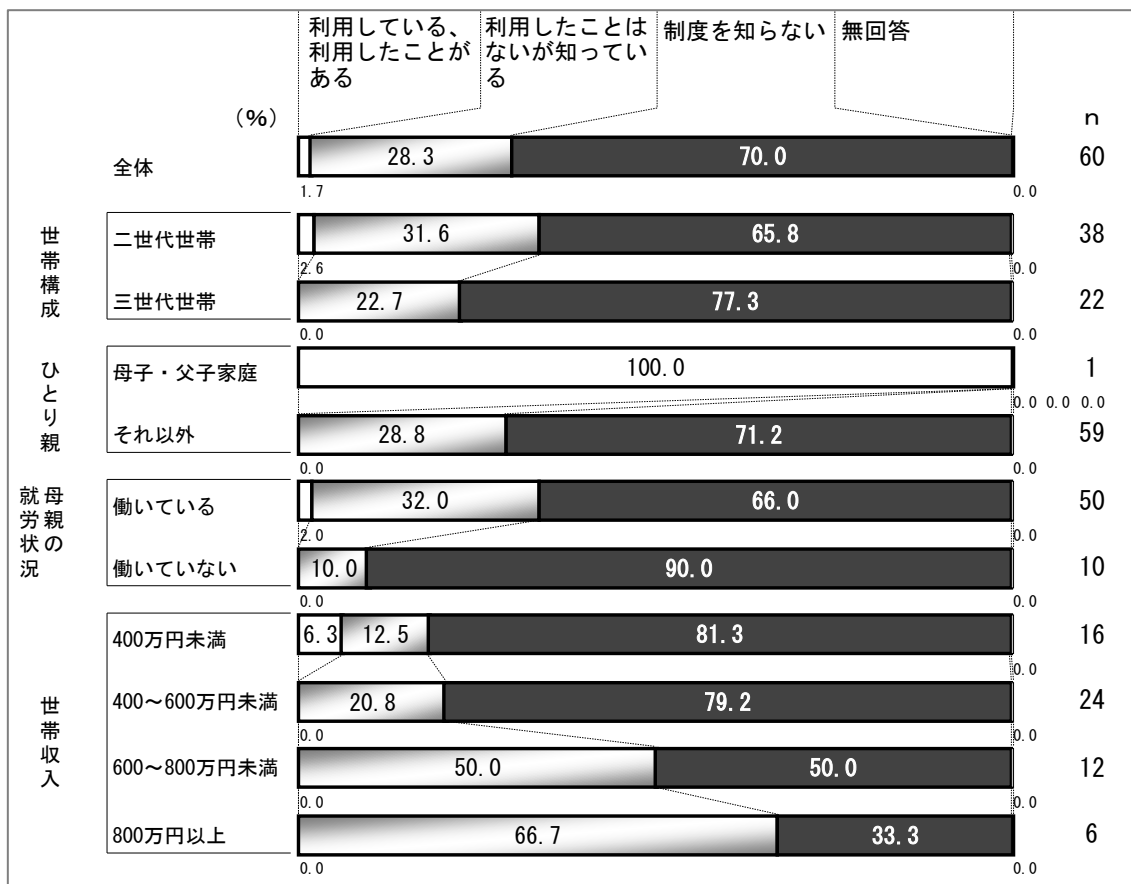
図表 H 高等学校等就学支援金



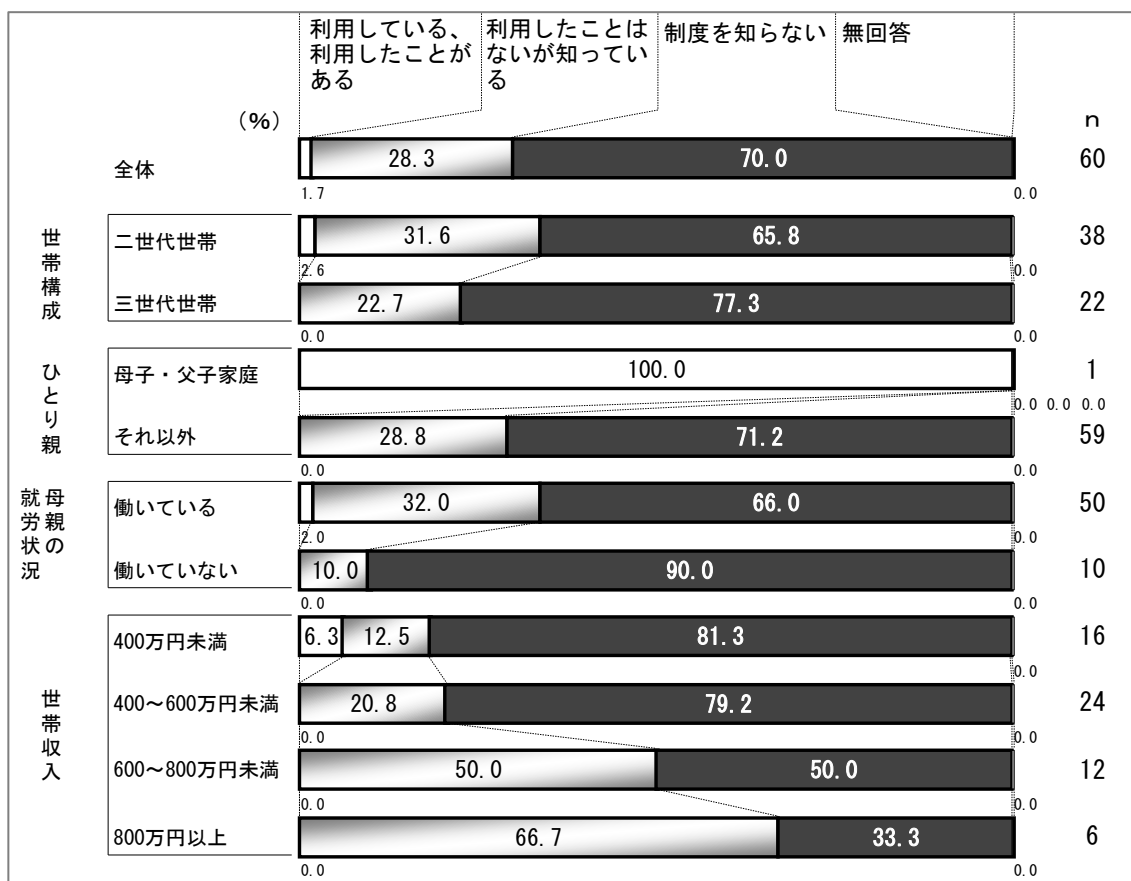
図表 I 奨学のための給付金



図表 J 母子父子寡婦福祉資金貸付金



図表 K 生活福祉資金貸付金



8 収入について

(1) 世帯収入（合算値）

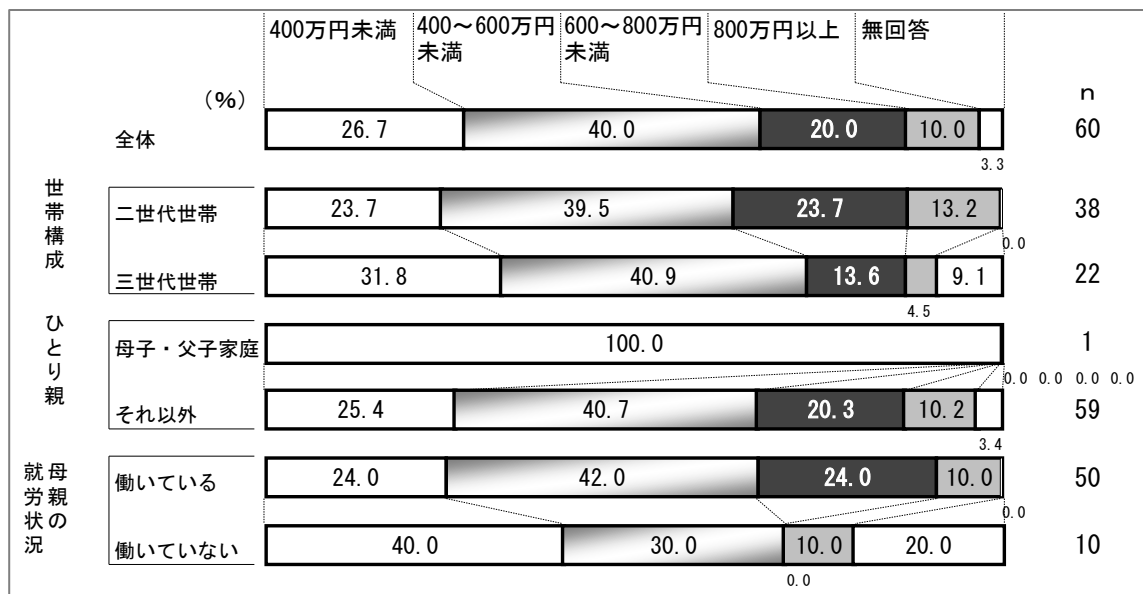
問 34 最近のあなたのご家庭の全員の収入を合わせた「世帯収入（年間のボーナス含む手取り額を教えてください。なお、単身赴任や進学などのために一時的に別居している方も含みます。あてはまるものに○をつけてください。（1つに○）



- 「400～600 万円未満」が4割を占める。

世帯収入（合算値）についてたずねたところ、「400～600 万円未満」が 40.0%、「400 万円未満」が 26.7%、「600～800 万円未満」が 20.0%、「800 万円以上」が 10.0%となっている。

図表 世帯収入（合算値）について



(2) 世帯収入のうち受給しているもの

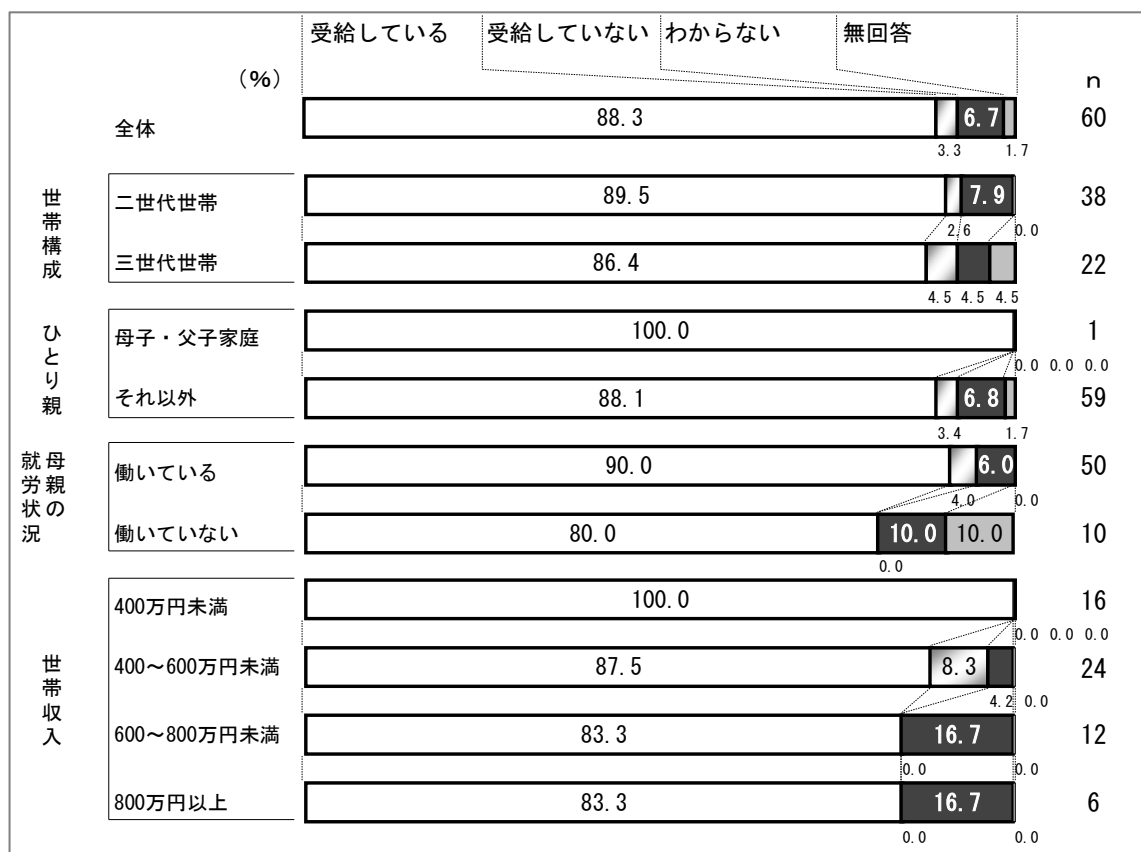
問 35 世帯収入（合算値）のうち、次のものについて、それぞれの額を教えてください。受給していない方は「2. 受給していない」に、不明な方は「3. わからない」に○をつけてください。（それぞれ1つに○）



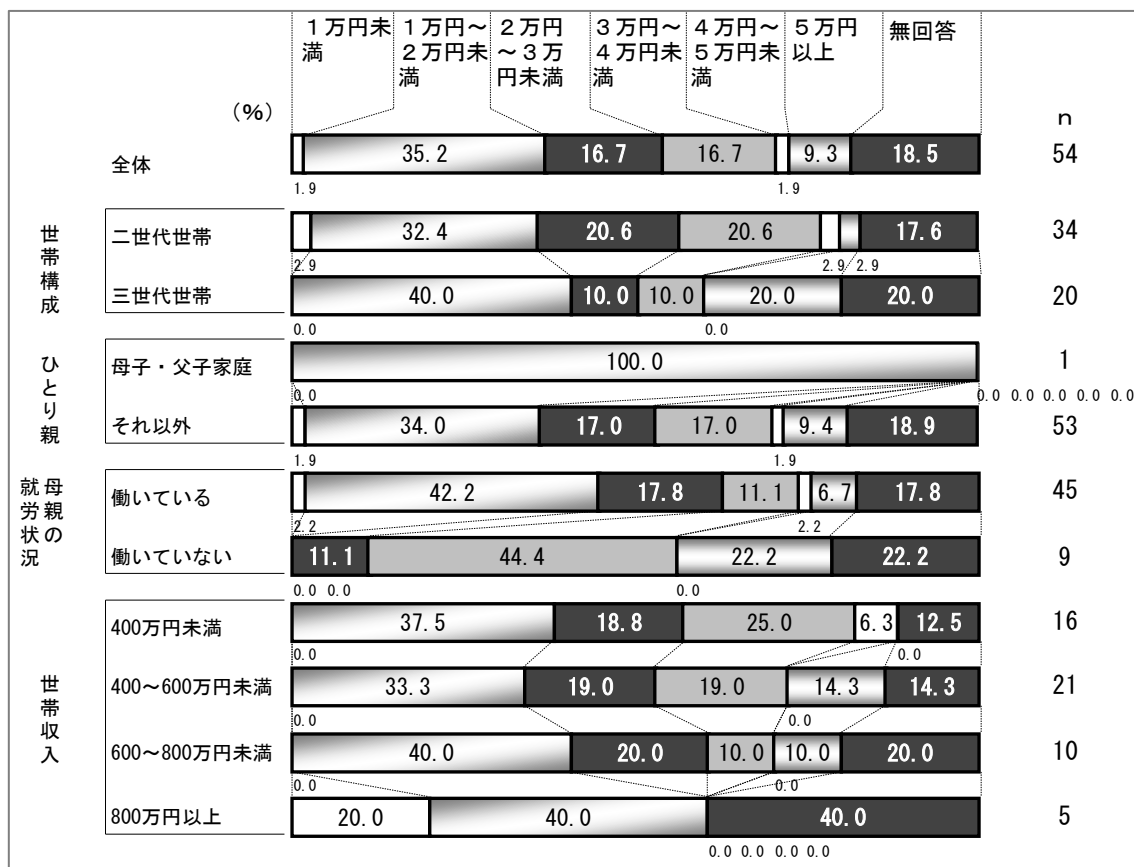
- 「児童手当」では、「受給している」が9割弱を占める。

世帯収入のうち受給しているものについて、「児童手当」では「受給している」が88.3%、「受給していない」が3.3%となっている。その他の制度は「受給していない」が過半数を占める。

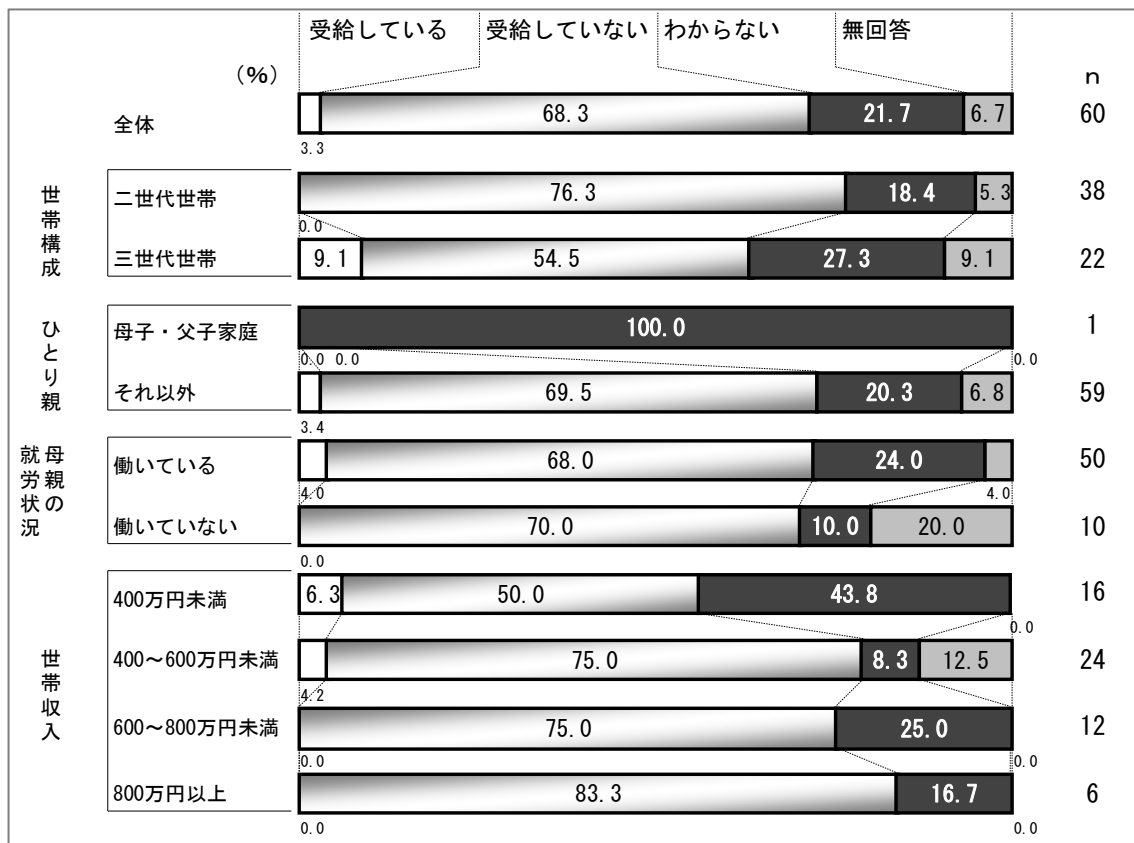
図表 A 児童手当



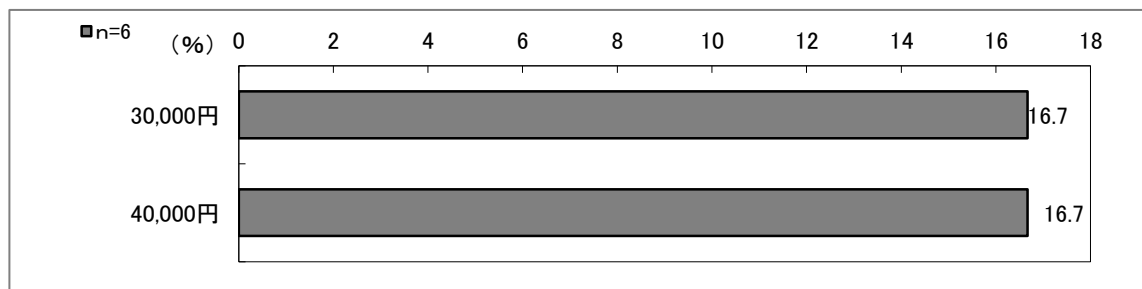
図表 A 児童手当月額



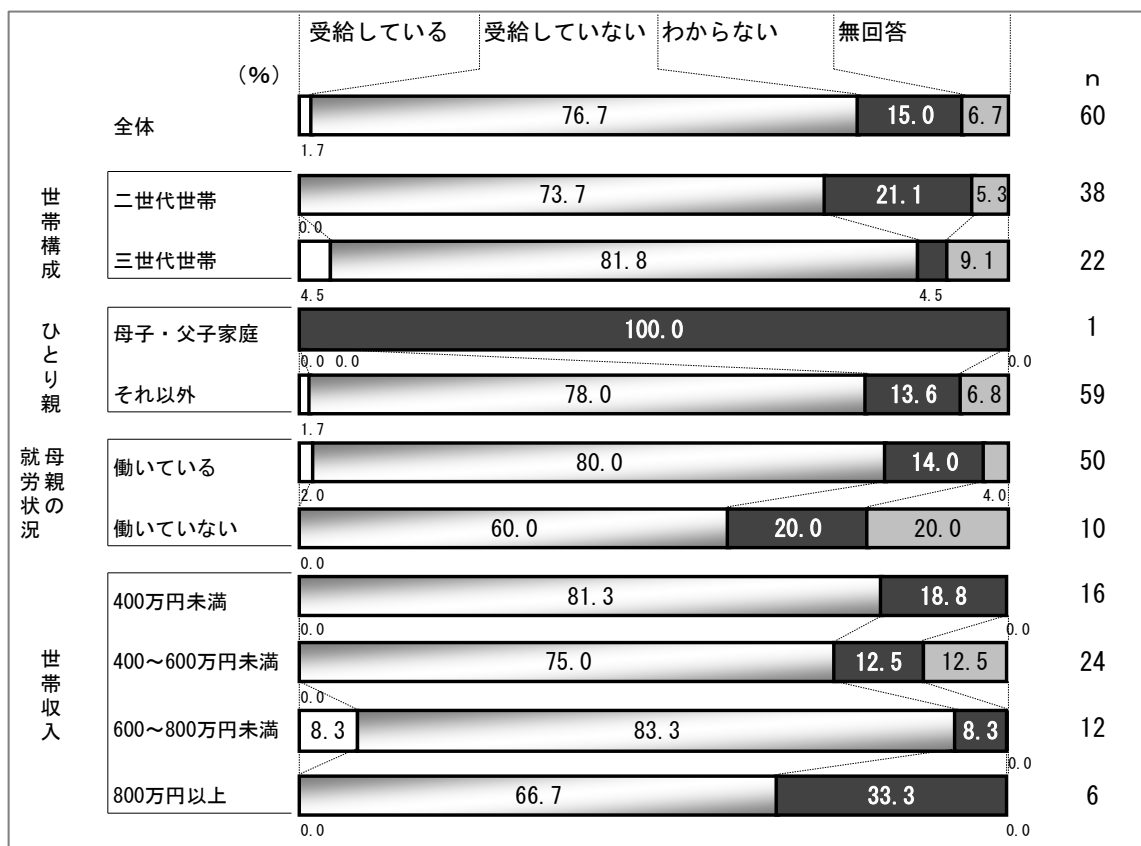
図表 B 児童扶養手当・特別児童扶養手当



図表 B 児童扶養手当・特別児童扶養手当月額



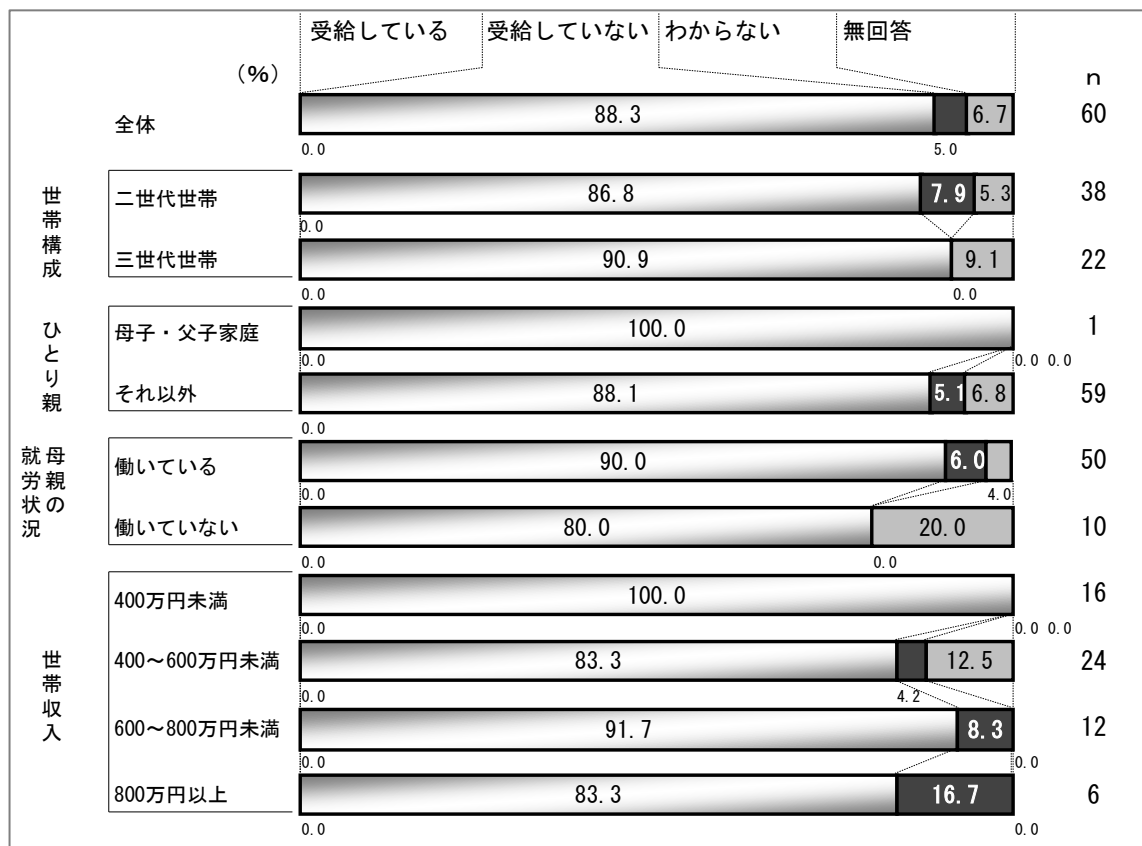
図表 C 公的年金



図表 C 公的年金月額

※「1. 受給している」の回答者は1名であったため図表は省略。

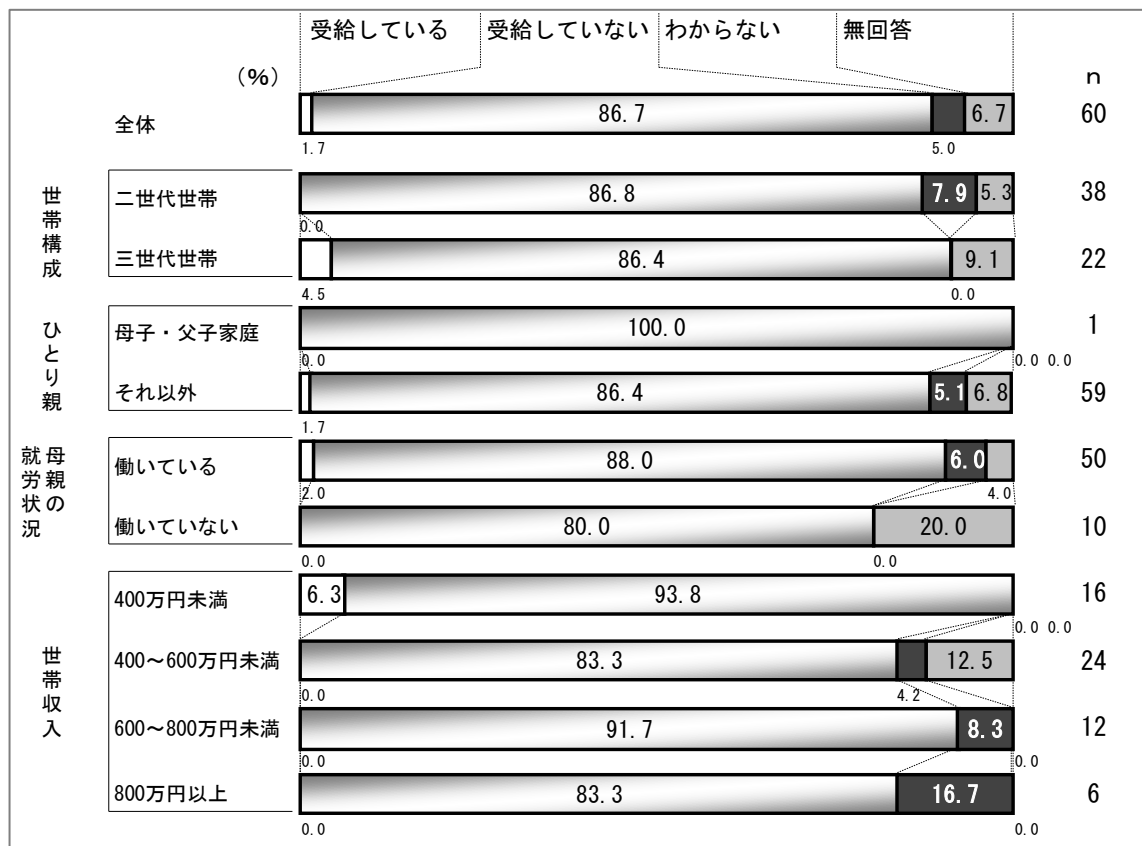
図表 D 生活保護・準要保護



図表 D 生活保護・準要保護月額

※「1. 受給している」の回答者がなかったため図表は省略。

図表 E その他(養育費・奨学金(貸付を含む)等))



図表 E その他(養育費・奨学金(貸付を含む)等))月額

※「1. 受給している」の回答者は1名であったため図表は省略。

(3) 保護者の年収

問 36 世帯収入（合算値）に含まれている、お子さんの親のおおよその年間収入を教えてください。お母さん、お父さんのそれぞれについて、あてはまるものに○をつけてください。（それぞれ1つに○）

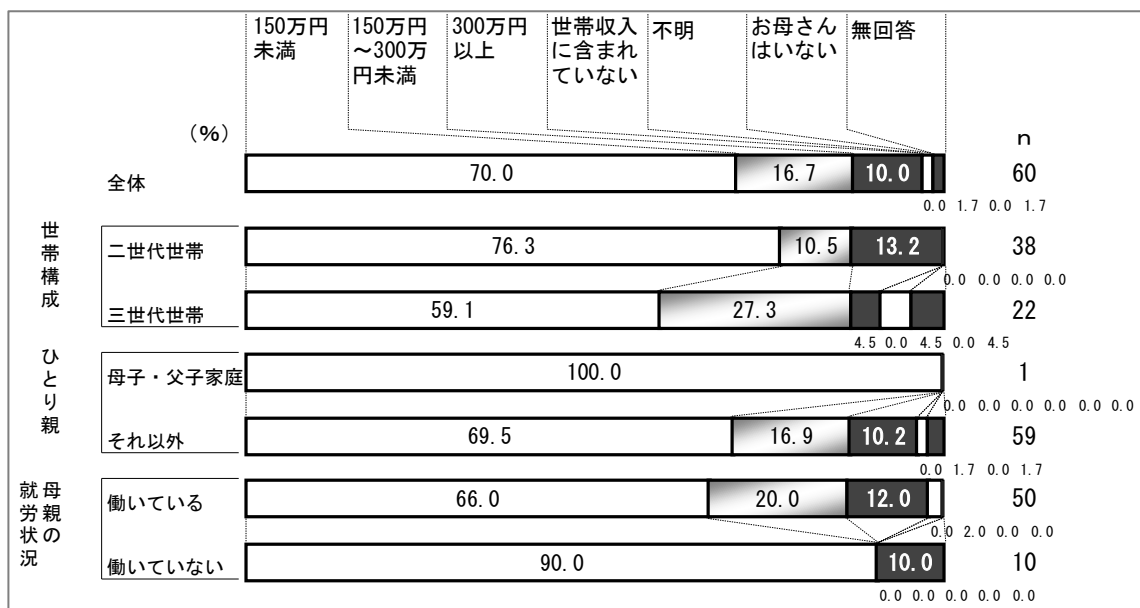


- 母親は「150 万円未満」が7割を占める。父親は「300 万円～400 万円未満」と「400 万円～500 万円未満」がそれぞれ3割弱を占める。

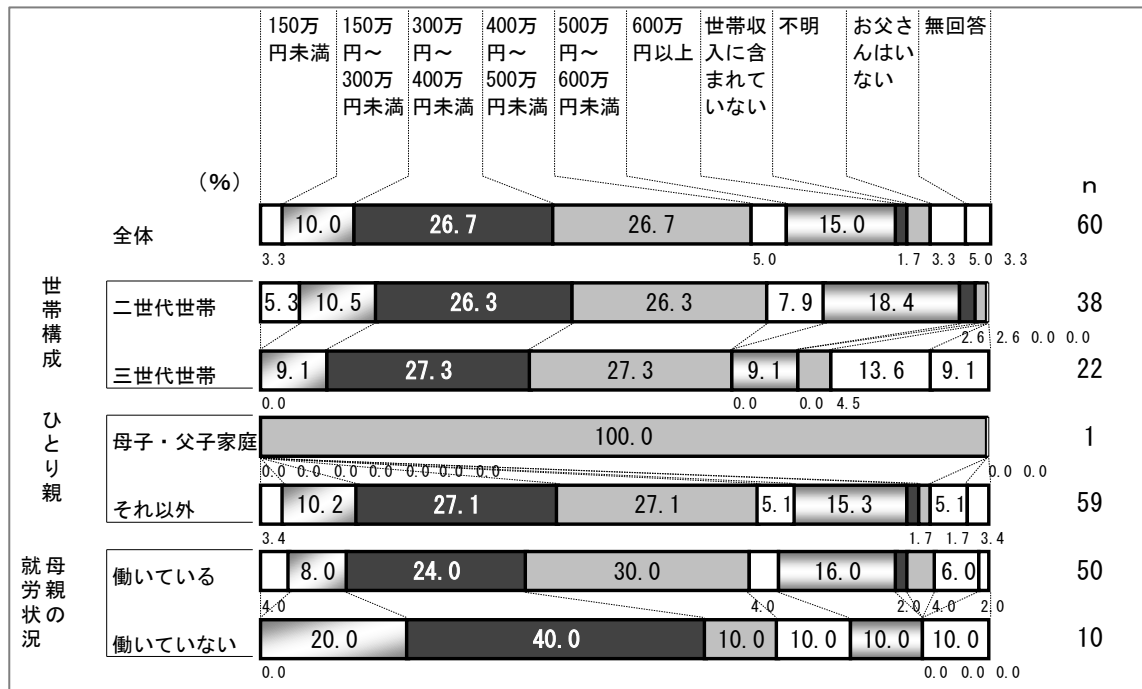
母親の年収については、「150 万円未満」が 70.0%、「150 万円～300 万円未満」が 16.7%、「300 万円以上」が 10.0%となっている。世帯構成をみると、二世帯世帯では「150 万円未満」が 76.3%となっているのに対し、三世帯世帯では 59.1%となっている。

父親の年収については、「300 万円～40 万円未満」・「400 万円～500 万円未満」が同率で 26.7%となっている。「600 万円以上」が 15.0%、「150 万円～300 万円未満」が 10.0%、「500 万円～600 万円未満」が 5.0%、「150 万円未満」が 3.3%となっている。

図表 母親の年収



図表 父親の年収



9 支出について

(1) 世帯の月平均支出額

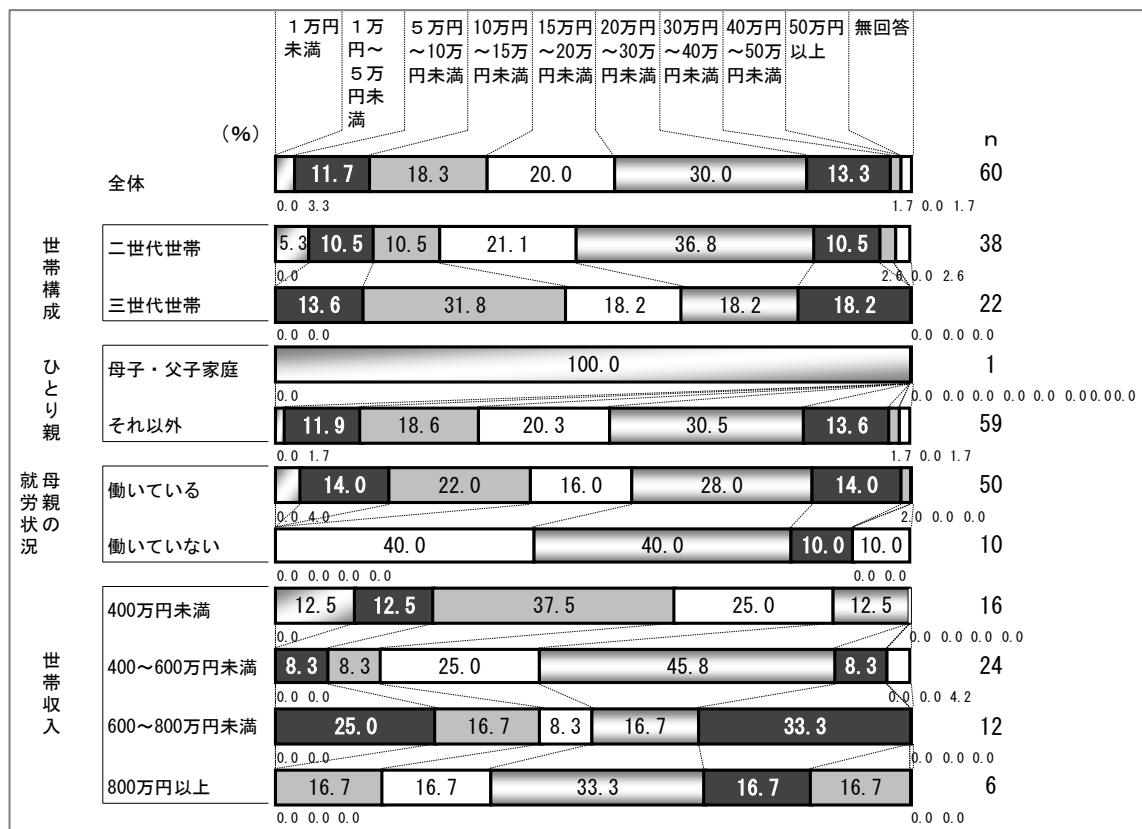
問 37 あなたの世帯（生計を共にしている方）の1ヶ月の平均的な支出（住宅ローン等の借金返済含む・税額等は含まない）はどれくらいですか。あてはまるものに○をつけてください。（1つに○）



- 「20万円～30万円未満」が3割を占める。

世帯の月平均支出額については、「20万円～30万円未満」が30.0%、「15万円～20万円未満」が20.0%、「10万円～15万円未満」が18.3%、「30万円～40万円未満」が13.3%、「5万円～10万円未満」が11.7%などとなっている。

図表 世帯の月平均支出額



(2) 1ヶ月の食費

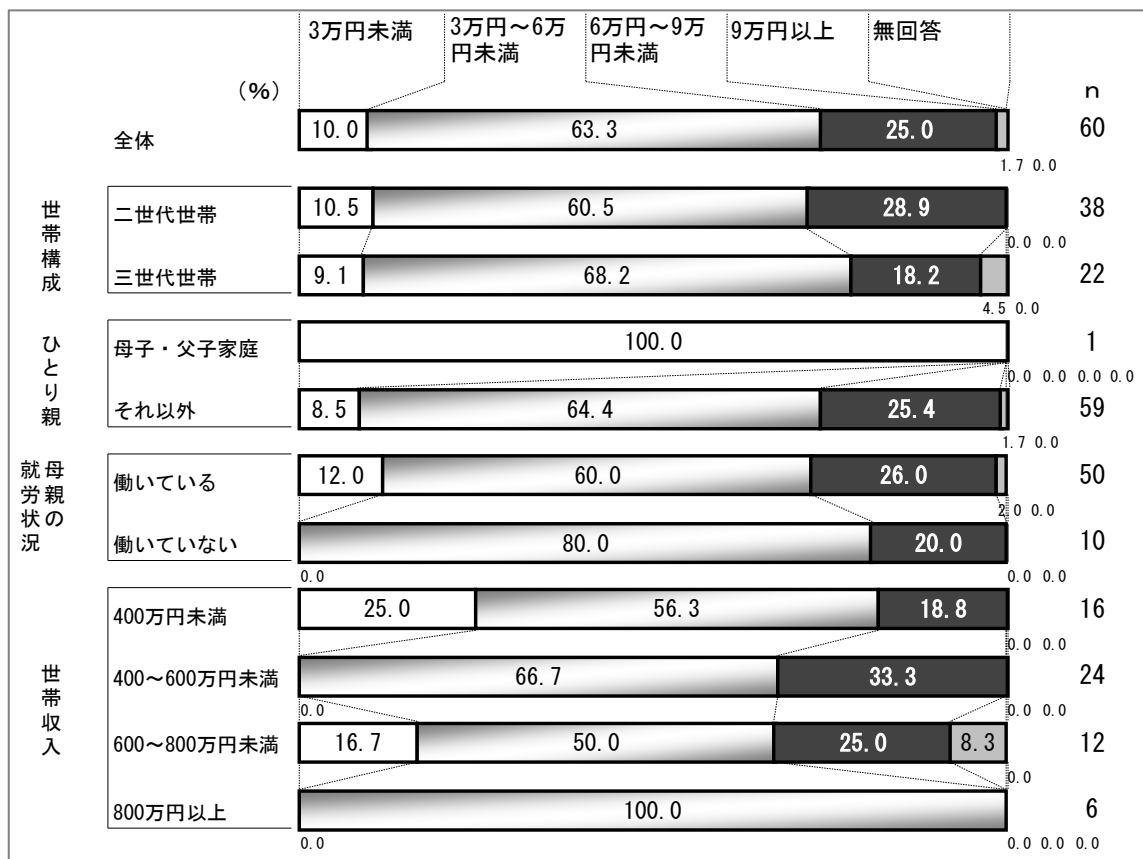
問 38 あなたの世帯（生計を共にしている方）の1ヶ月の食費について、平均的な支出はどれくらいですか。あてはまるものに○をつけてください。（1つに○）



- 「3万円～6万円未満」が6割強を占める。

1ヶ月の食費については、「3万円～6万円未満」が63.3%、「6万円～9万円未満」が25.0%、「3万円未満」が10.0%、「9万円未満」が1.7%となっている。

図表 1ヶ月の食費



(3) 1ヶ月の住居費

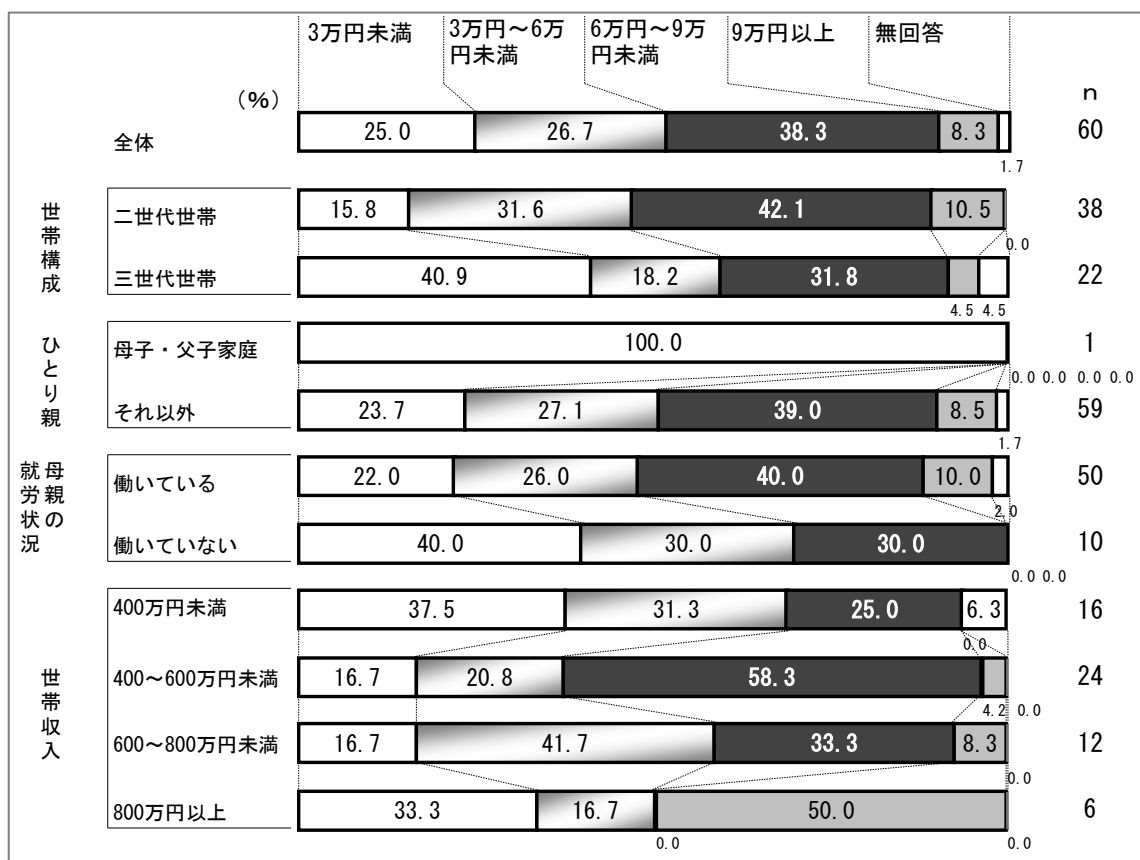
問 39 あなたの世帯（生計を共にしている方）の1ヶ月の住居費（家賃・住宅ローン）について、平均的な支出はどれくらいですか。あてはまるものに○をつけてください。（1つに○）



- 「6万円～9万円未満」が4割弱を占める。

1ヶ月の住居費については、「6万円～9万円未満」が38.3%、「3万円～6万円未満」が26.7%、「3万円未満」が25.0%、「9万円以上」が8.3%となっている。

図表 1ヶ月の住居費



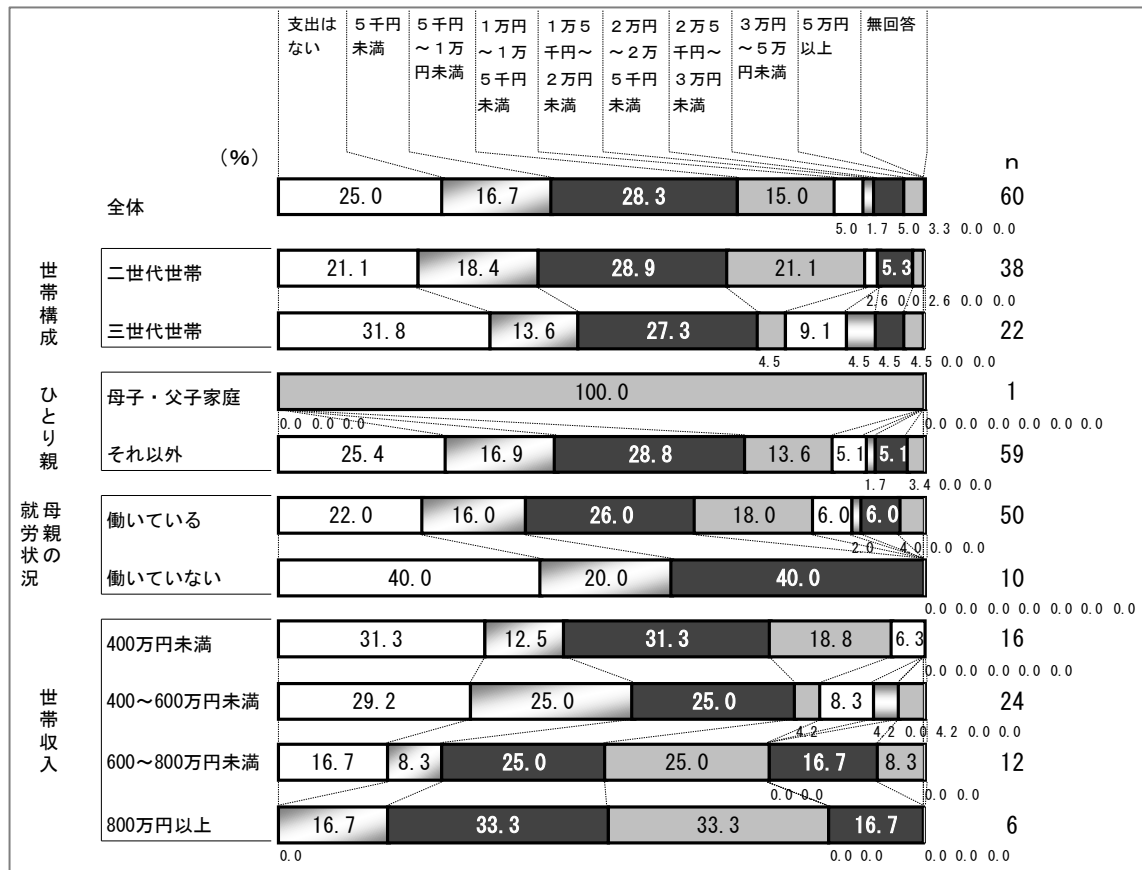
(4) 1ヶ月あたりの学校以外の教育費

問 40 このアンケート調査の対象となっているお子さん1人について、学校以外の教育（学習塾や習い事）にかける1ヶ月あたりの平均の支出はどれくらいですか。あてはまるものに○をつけてください。（1つに○）

● 「5千円～1万円未満」が3割弱を占める。「支出はない」は25.0%。

1ヶ月あたりの学校以外の教育費については、「5千円～1万円未満」が28.3%、「支出はない」が25.0%、「5千円未満」が16.7%、「1万円～1万5千円未満」が15.0%などとなっている。

図表 1ヶ月あたりの学校以外の教育費



10 子どもへの支援について

(1) 利用したいと思うもの

問 41 次のうち、利用したいと思うものについて、あてはまるものに○を付けてください。
(それぞれ1つに○)

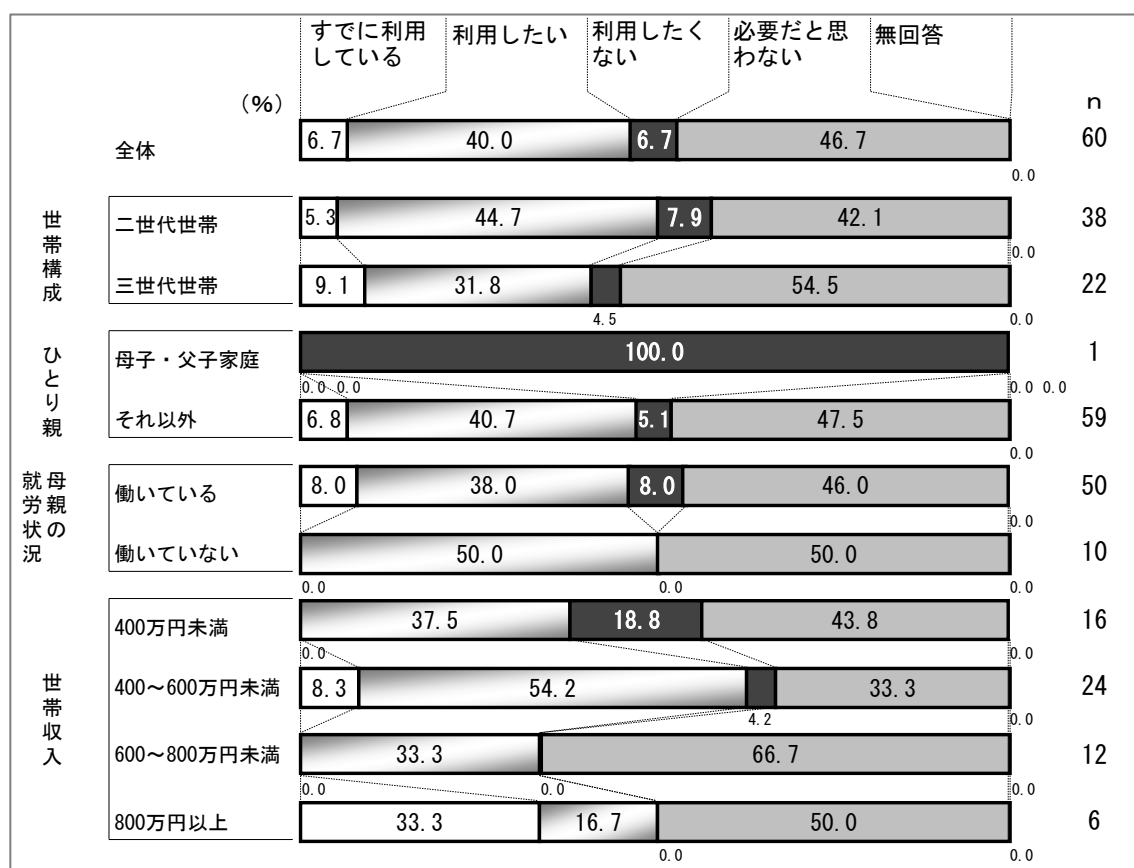
- 「子どものための無料の学習塾」、「子どものための無料の体験活動」は「利用したい」が約9割を占める。

子ども食堂については、「必要だと思わない」が46.7%、「利用したい」が40.0%、「すでに利用している」と「利用したくない」が6.7%となっている。

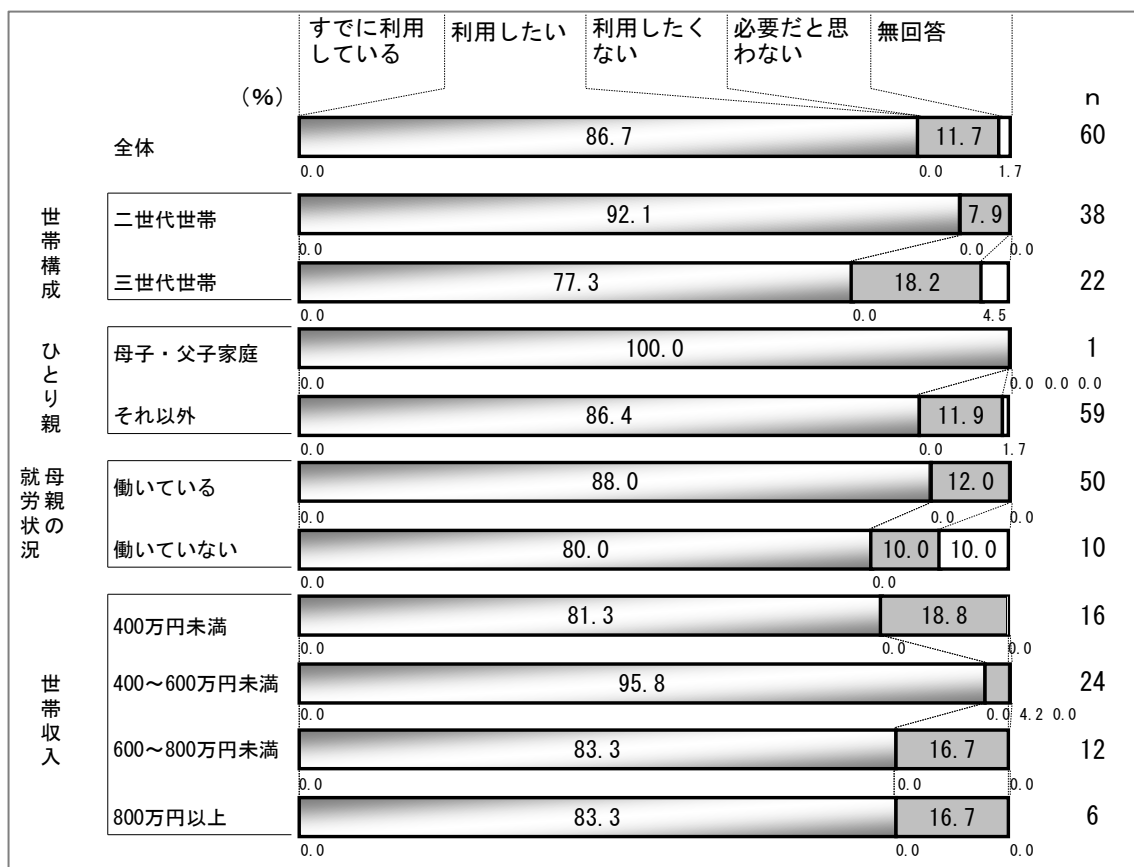
子どものための無料の学習塾については、「利用したい」が86.7%、「必要だと思わない」が11.7%となっている。

子どものための無料の体験活動については、「利用したい」が93.3%、「必要だと思わない」が3.3%、「すでに利用している」が1.7%となっている。

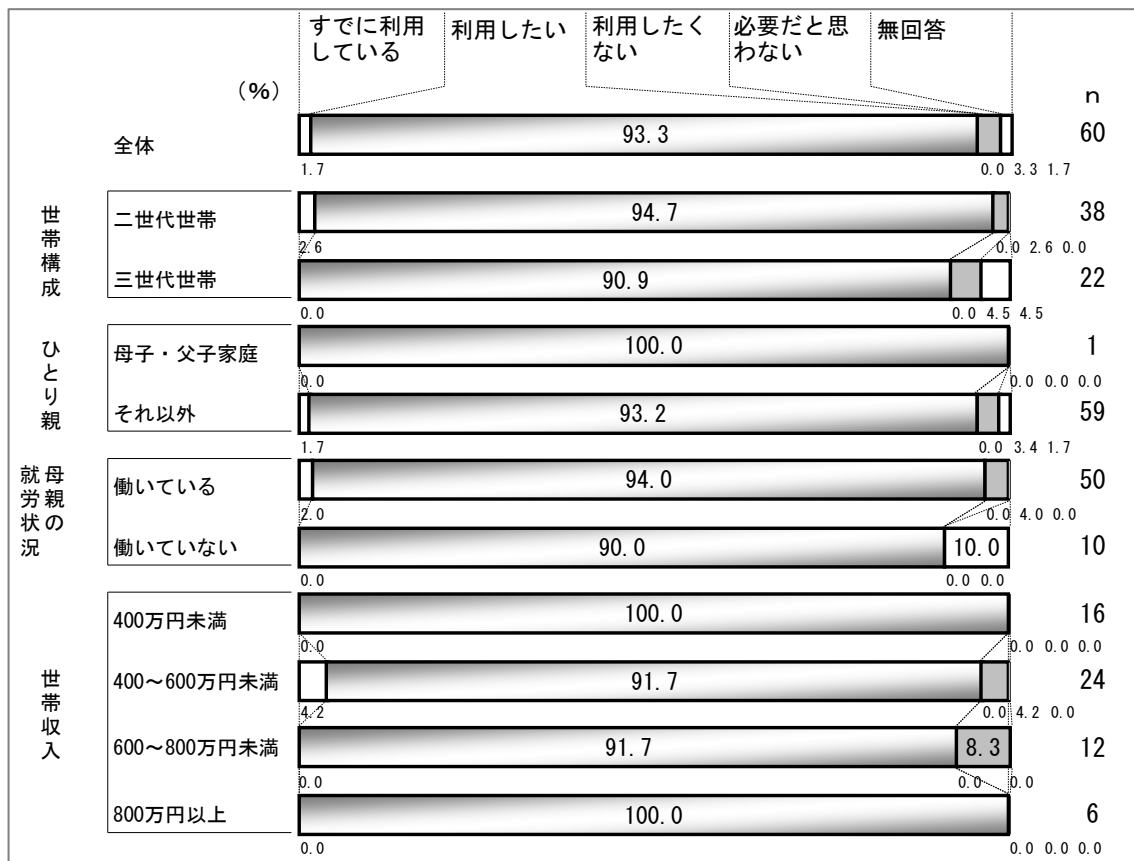
図表 A 子ども食堂



図表 B 子どものための無料の学習塾



図表 C 子どものための無料の体験活動



(2) 利用したくない理由

※問 41-1 は問 41 で「3. 利用したくない」、「4. 必要だと思わない」と回答した方にお伺いします。

問 41-1 その理由としてあてはまるものに○をつけてください。(○はいくつでも)【複数回答】

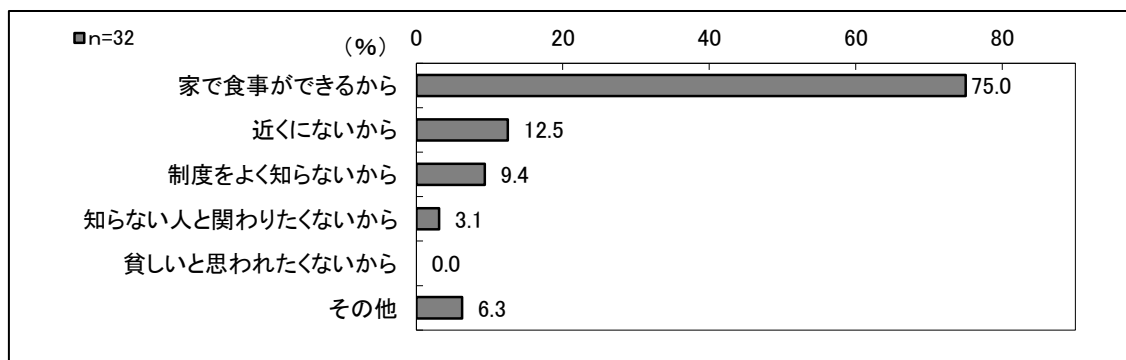


- 「子ども食堂を利用しない理由」では、「家で食事ができるから」が他に大きく差をつけて第1位。

子ども食堂を利用しない理由については、「家で食事ができるから」(75.0%)が第1位、次いで「近くにないから」(12.5%)、「制度をよく知らないから」(9.4%)、「知らない人と関わりたくないから」(3.1%)となっている。

子どものための無料の学習塾を利用しない理由については、「制度をよく知らないから」(28.6%)が第1位、次いで「有料の塾に通っているから」・「近くにないから」・「知らない人と関わりたくないから」(同率 14.3%)となっている。

図表 A 子ども食堂を利用しない理由（全体／複数回答）



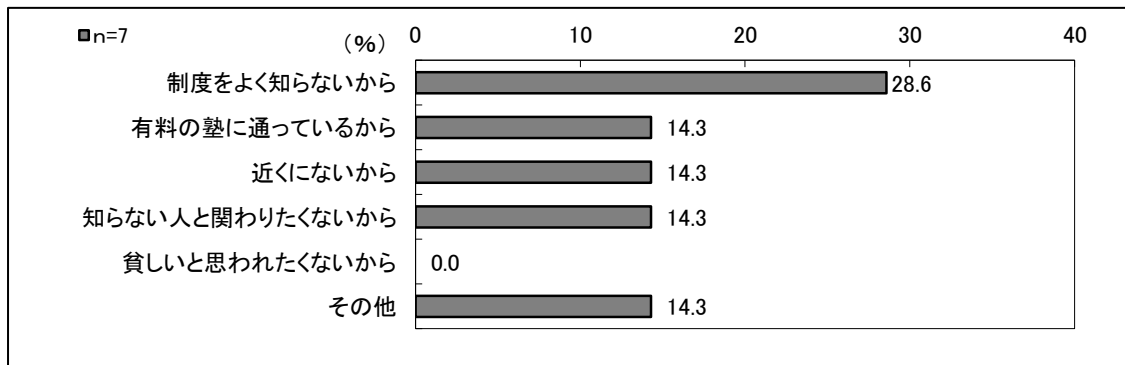
図表 子ども食堂を利用しない理由

(全体・世帯構成・ひとり親・母親の就労状況・世帯収入—上位第3位／複数回答)

(単位：％)

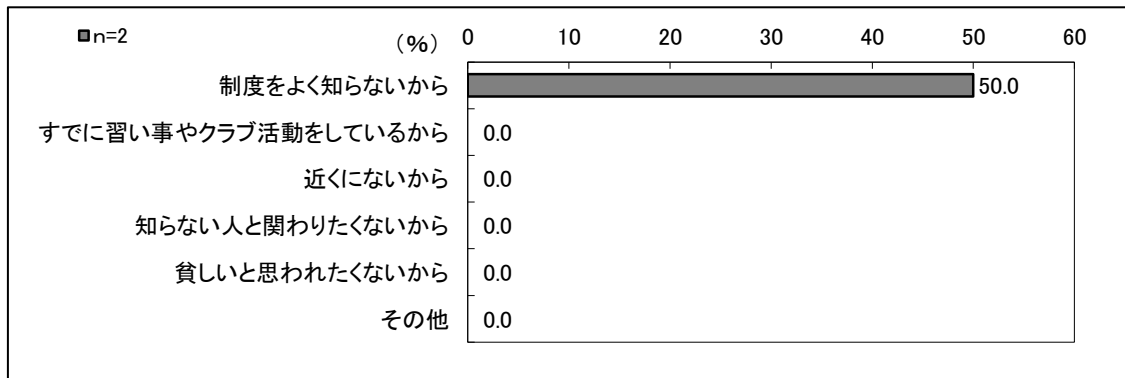
		第1位	第2位	第3位
全体		家で食事ができるから 75.0	近くにないから 12.5	制度をよく知らないから 9.4
世帯構成	二世帯世帯	家で食事ができるから 68.4	近くにないから 10.5	制度をよく知らないから ／知らない人と関わりたくないから 5.3
	三世帯世帯	家で食事ができるから 84.6	制度をよく知らないから／近くにないから 15.4	
ひとり親	母子・父子家庭	制度をよく知らないから 100.0		
	それ以外	家で食事ができるから 77.4	近くにないから 12.9	制度をよく知らないから 6.5
母親の就労状況	働いている	家で食事ができるから 74.1	近くにないから 11.1	制度をよく知らないから 7.4
	働いていない	家で食事ができるから 80.0	制度をよく知らないから／近くにないから 20.0	
世帯収入	400万円未満	家で食事ができるから 80.0	制度をよく知らないから／近くにないから 10.0	
	400～600万円未満	家で食事ができるから 77.8	制度をよく知らないから／近くにないから 22.2	
	600～800万円未満	家で食事ができるから 75.0	知らない人と関わりたくないから 12.5	
	800万円以上	家で食事ができるから／近くにないから 33.3		

図表 B 子どものための無料の学習塾を利用しない理由（全体／複数回答）



※「3. 利用したくない」は回答者なし。

図表 C 子どものための無料の体験活動を利用しない理由（全体／複数回答）



※「3. 利用したくない」は回答者なし。

(3) 子育てについての情報の入手先

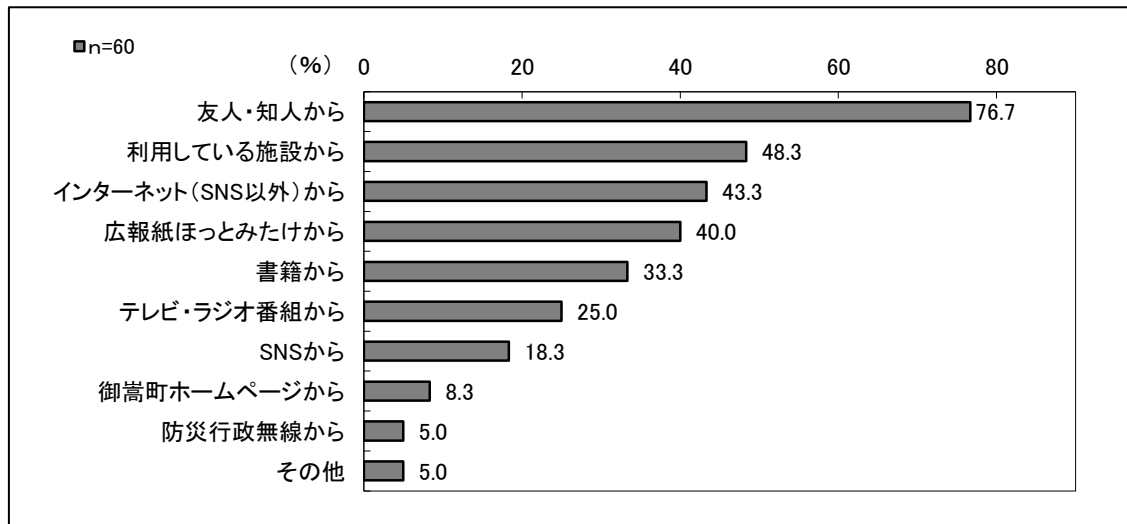
問 42 子育てについての情報はどこから入手していますか。(〇はいくつでも)【複数回答】



- 「友人・知人から」が他に大きく差をつけて第1位。

子育てについての情報の入手先について、「友人・知人から」(76.7%)が第1位となっている。次いで、「利用している施設から」(48.3%)、「インターネット(SNS以外)から」(43.3%)、「広報紙ほっとみたけから」(40.0%)、「書籍から」(33.3%)、「テレビ・ラジオ番組から」(25.0%)、「SNSから」(18.3%)、「御嵩町ホームページから」(8.3%)、「防災行政無線から」(5.0%)となっている。

図表 子育てについての情報の入手先(全体/複数回答)



図表 子育てについての情報の入手先

(全体・世帯構成・ひとり親・母親の就労状況・世帯収入—上位第3位／複数回答)

(単位：％)

		第1位	第2位	第3位
全体		友人・知人から 76.7	利用している施設から 48.3	インターネット（SNS 以外）から 43.3
世帯構成	二世帯世帯	友人・知人から 78.9	インターネット（SNS 以外）から 47.4	広報紙ほっとみたけから／利用している施設から 44.7
	三世帯世帯	友人・知人から 72.7	利用している施設から 54.5	インターネット（SNS 以外）から 36.4
ひとり親	母子・父子家庭	友人・知人から 78.0	利用している施設から 49.2	インターネット（SNS 以外）から 44.1
	それ以外			
母親の就労状況	働いている	友人・知人から 74.0	利用している施設から 50.0	インターネット（SNS 以外）から 42.0
	働いていない	友人・知人から 90.0	広報紙ほっとみたけから 60.0	インターネット（SNS 以外）から 50.0
世帯収入	400 万円未満	友人・知人から 56.3	利用している施設から 50.0	インターネット（SNS 以外）から／広報紙ほっとみたけから 37.5
	400～600 万円未満	友人・知人から 83.3	広報紙ほっとみたけから／利用している施設から 62.5	
	600～800 万円未満	友人・知人から 83.3	インターネット（SNS 以外）から 66.7	テレビ・ラジオ番組から 50.0
	800 万円以上	友人・知人から 83.3	インターネット（SNS 以外）から／利用している施設から 50.0	